

令和3年度使用
中学校教科用図書調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査員会

目 次

国 語	1
書 写	9
社会（地理的分野）	15
社会（歴史的分野）	18
社会（公民的分野）	23
地 図	27
数 学	29
理 科	43
音楽（一般）	52
音楽（器楽合奏）	54
美 術	56
保健体育	66
技術・家庭（技術分野）	70
技術・家庭（家庭分野）	76
英 語	82
特別の教科 道徳	100

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	国語	4	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
基礎・基本の 定着	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ・教材の終わりの「てびき」の部分に「言葉の力」として身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めの「問いかけ」と終わりの「てびき」の部分に目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・371字 ・脚注に行数、音訓を示している。 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ・教材の終わりの「学びの道しるべ」の部分に「思考の方法」として、身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・427字 ・脚注に行数と本文中の読みを示 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、課題を考えるためのキーワードと単元名を示している。 ・単元の扉の最後に、学びの振り返りとして、身に付ける資質・能力を示した「言葉の地図」を見るよう促している。 ・教材の初めに目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・396字 ・新出漢字が出た行の真下の脚注 	<p>1 単元・教材の目標の示し方</p> <p>○目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に、単元名と単元の目標を示している。 ・教材の終わりの「学習」の部分に「学習の窓」として、身に付ける資質・能力を示している。 ・教材の初めと終わりに目標を示している。 <p>2 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・390字 ・脚注に行数、音訓、本文中の読

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「新出漢字一覧」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> している。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学ぶ漢字字典」としてページ数、音訓、中学で学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> に漢字のみを示し、本文中にルビがふってある。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> みを示している。 ・教材末にページ数、音訓を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。
基礎・基本の 定着	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「日本語探検」として、文法は「文法の窓」として単元の中で1～2ページ程度でまとめている。 ・巻末に、文法解説を17ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、情報活用に関する単元を設定し、1作品を掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉発見」として単元の中で1～4ページにまとめている。文法は「文法の窓」「語彙を豊かに」として単元の中で1ページにまとめている。 ・巻末に「文法のまとめ」として12ページで解説をしている。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「情報に関係づける」という単元を設定し、資料を2つ掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉の小窓」、文法は「文法の小窓」として、単元の中に1ページ程度でまとめている。 ・巻末の「言葉と文法」に、詳しい言語解説を7ページと文法解説を18ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「メディアと表現」を設定し、1学年は4つ、2・3学年は3つ掲載している。 	<p>○言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉」、文法は「文法への扉」として、単元の中や単元末に1～3ページ程度でまとめている。 ・巻末に、詳しい文法解説を17ページで示している。 <p>3 読書と情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「情報社会を生きる」を設定し、教材を掲載している。 ・各学年とも、資料編の中に、情

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、資料編に情報活用に係る教材を掲載している。著作権は1・2学年で扱っている。 ○読書単元の設定及び書籍紹介 ・読書単元「読書への招待」3回を設定して3作品を掲載している。資料編に2作品を掲載している。 ・書籍紹介は、読書単元末の「読書案内」、資料編の「本の世界を楽しもう」に古典作品を掲載している。 ・学習の手引き中や脚注の「読書案内」。 ・書籍紹介数 361冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、資料編に「情報を活用する」とし「情報探しの方法」「引用と著作権」を掲載している。 ○読書単元の設定及び書籍紹介 ・読書単元「読みを深め合う」を設定して、詩と小説2作品を掲載し、関連して「ブッククラブ」などの読書活動を示している。資料編の前に「読書の広場」として古典作品を掲載している。 ・書籍紹介は、学習の手引き中の「私の本棚」「私の読書体験」、「資料編」の「小さな図書館」を掲載している。 ・書籍紹介数 285冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「メディアと表現」教材「学びナビ」の中で、学習を踏まえた解説を加え、情報の扱い方を説明している。著作権は2学年のみ扱っている。 ○読書単元の設定及び書籍紹介 ・読書単元「読書への招待」2回を設定して2作品を掲載し、学習の手引きにポップづくりなど読書活動を示している。巻末「言葉の自習室」に全学年で古典を含む4作品を掲載している。 ・書籍紹介は、学習の手引き中の「読んでみよう」「広がる本の世界」、資料編の「各学年のための読書案内」を掲載している。 ・作品解説。 ・書籍紹介数 274冊 	<ul style="list-style-type: none"> 報整理の方法として、『情報処理のレッスン』一覧、情報と情報の関係を『思考のレッスン』一覧』として掲載している。著作権は1・3学年で扱っている。 ○読書単元の設定及び書籍紹介 ・読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設定し2作品を掲載。読んだ本の紹介などの読書活動を示している。資料編では1・2学年2作品、3学年4作品。「読書記録をつける」などの読書活動に係る教材がある。 ・書籍紹介は、読書単元末の「本の世界を広げよう」、筆者紹介の脚注の「広がる読書」、「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」中の「続きはこちら」を掲載している。 ・書籍紹介数 277冊
主体的に 学習に 取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」） ・「調べて分かったことを伝えよう『食文化』のレポート」では、 	<ul style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」） ・レポート「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」では、 	<ul style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」） ・「材料を整理して案内文を書く」では、題材を決め、必要な情報 	<ul style="list-style-type: none"> 1 問題解決的な学習を実施するための工夫（1学年「書く」） ・「根拠を示して説明しよう 資料

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
工夫	<p>「食文化」について個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、調べてわかったことをレポートに書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段に学習の流れ、下段に具体的な例を示している。 ・完成例や途中段階の例、対話例が示されている。 ・「観察・分析して論じよう『ポスター』の批評文」では、参考資料（広報誌）、批評の対象例（ポスター数3）、観察・分析のメモ例、批評文の完成例（数2）、問題（新聞記事、ポスター数3）が示されている。 	<p>課題を身近なもの等から決め、情報カードに記録して整理した後、レポートの形式で書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の多様な方法の説明が最初に示してある。 ・学習に必要な力が、「思考の方法」や「語彙を豊かに」で示されている。 ・完成例や途中段階の例が示されている。 ・「批評文 観察・分析をとおして評価する」では、思考の方法例、批評文の例が示されている。 	<p>を集め、整理した後、相手や目的を意識しながら案内文を書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」「学習活動」「完成例」を各1ページで構成している。 ・「学習ナビ」は上段で示した情報を整理する手順を下段で図解している。 ・「学習活動」は上段に学習の流れ、下段に学習のヒントを示している。 ・「説得力のある批評文を書く」では、批評の対象例（ポスター 数2）、批評文の完成例（スマートフォン）が示されている。 	<p>を引用してレポートを書く」では、中学生の生活から課題を決め、実態調査やアンケート等の結果を整理した後、課題に関連する資料を引用しながらレポートを書く活動を取り上げている。</p> <p>2 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段にわけ、上段に学習の流れ、下段に具体的な例を示している。 ・見開き1ページで学習の流れの一覧を示し、「生かす」では、関連する既習事項を、「つなぐ」では、日常生活、学校生活、将来の3つの視点で生かせる場の具体的な例を示している。 ・「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」では、題材の例（広告）、分析例、批評文の例が示されている。

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本編」、「基礎編」、「資料編」の3部構成。 ・年間7単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 45 「書くこと」 71 「読むこと」 246 「伝統的な言語文化」 70 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本編」と「資料編」の2部構成。 ・1・2学年9単元、3学年8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 45 「書くこと」 71 「読むこと」 318 「伝統的な言語文化」 79 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編と巻末付録の2部構成。 ・1・2学年9単元、3学年8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。また、SDGsを国語科の視点で教材化した教材「持続可能な未来を創るために」を新設している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 46 「書くこと」 49 「読むこと」 404 「伝統的な言語文化」 76 「言葉の特徴やきまり・情報の 	<p>1 単元・教材等の配列</p> <p>○構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編と巻末資料の2部構成。 ・年間8単元。各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ・古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 <p>○分量 (領域ごとの3年間のページ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」 46 「書くこと」 55 「読むこと」 265 「伝統的な言語文化」 83 「言葉の特徴やきまり・情報の

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>扱い方・漢字・読書」 316</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 231</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「読書の広場」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、「資料編」に、古典により親しむための教材等を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 240</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「巻末付録」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>	<p>扱い方・漢字・読書」 232</p> <p>○ 発展的な学習の示し方</p> <p>・「巻末資料」に読み比べたり読み広げたりできる教材や、古典により親しむための教材を掲載している。</p>
<p>内容の 表現・表記</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 3 教材 19 ページ。</p> <p>・ 図表等は、 絵 (4 点)、 写真 (1 点)、 グラフ (2 点) の 3 種類 7 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「基礎編」「資料編」として全学年に示している。</p> <p>・「学びを支える言葉の力」では、言葉の力を「論理的な言葉の力」「文学的な言葉の力」「対話的な言葉の力」の 3 項目 6 種類に分</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 3 教材 18 ページ。</p> <p>・ 図表等は 絵 (5 点)、 写真 (1 点)、 グラフ (2 点) の 3 種類 8 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」として全学年に示している。</p> <p>・「読書の広場」では読み物教材が 5 編、29 ページで掲載している。「社会生活に生かす」では、メ</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 4 教材 28 ページ。</p> <p>・ 図表等は 絵 (2 点)、 写真 (15 点)、 図 (4 点) の 3 種類 21 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「言葉と文法 (解説編)」「漢字」「言葉の自習室」として全学年に示している。</p> <p>・「学習に必要な用語 (索引)」が 2 ページある。また、「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言</p>	<p>1 本文記述と関連付けがなされた図表等 (1 学年説明的な文章)</p> <p>・ 5 教材 28 ページ。</p> <p>・ 図表等は、 写真 (6 点)、 図 (10 点)、 グラフ (5 点)、 表 (1 点) の 4 種類 22 点。</p> <p>2 巻末資料の示し方 (第 2 学年)</p> <p>・「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」として全学年に示している。</p> <p>・学習の窓として「文学的な文章を読むために」や「思考のレッスン」、「情報整理のレッスン」</p>

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>類し、学年に応じて系統的に 24 ページと折込 4 ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 112。 	<p>モノの取り方など生活で使う具体例を 10 ページ示している。「学習用語辞典」として 6 ページ掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ数 128。 	<p>葉」は、折込 4 ページある。読書は 4 編 12 ページとなっている。また、「近代文学史年表」を 3 ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 84。 	<p>など基本的な学習用語がまとめられている。(7 + 折込 4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 98。
言語活動の 充実	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 3 単元ずつ設定しており、全学年「聞く」「話す」「話し合う」の順番で構成されている。 ・1 学年「話し合いで理解を深めよう『グループディスカッション』」では、身の回りの良さについてグループで出し合い分類することを通して共通の良さを見つけ、お互いの発言を結びつけ、グループの考えを適切な一言に 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 3 単元ずつ設定しており、全学年 1 単元目は「グループディスカッション」を設定している。 ・全学年、情報教材「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」を設定し、テーマは全て別。 ・全学年「読書活動」で本に関して自分の考えを伝える活動を掲載している。 ・各学年の第 1 単元にグループディスカッションを設定している。1 学年「グループディスカッション『話題や展開にそって話し合いをつなげる』」では、「話し合いのこつ」を意識してグループで話し合ったり観察し合っ 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」を 1 学年 4 単元、2・3 学年 5 単元設定してある。 ・全学年「持続可能な未来を創るために」という「書く」と「読む」の複合単元を設定し、考えるテーマを学年毎に変えている。 ・各単元に「ここが大事」とポイントを掲載している。 ・1 学年「発言を結びつけて話し合う」では、話題を意識し、他者の意見と結びつけた発言をし、総括しながら話し合っていく学習活動が取り上げられている。 	<p>1 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年「話すこと・聞くこと」が 6 単元ずつ設定してある。 ・全学年、最後の単元は「〇〇を振り返ろう」として「書く」と「読む」の複合単元を設定している。 ・「学習の窓」で学習を通して身に付ける力のポイントを箇条書きで示している。 ・1 学年「話題や展開を捉えて話し合おう グループディスカッションをする」では、話題を決め、自分の考えを付箋に書き根拠を考え、司会と書記を決めた後、模造紙や付箋を使って意見

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>まとめる活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編に「話すこと・書くこと 題材例」や「発想・整理の方法」の解説がある。 	<p>たりし、効果的だった「話し合いのこつ」について話し合いを振り返る学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編で、思考の方法について図を使って解説している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉の自習室」で、アイデアの出し方、レポートの書き方などを説明している。 	<p>をまとめて全体で発表する活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編で、表現活動のテーマ例や情報整理の方法などを解説している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	書写	4	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は3。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆、硬筆それぞれの正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方の写真やイラストで、2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真及びイラストで提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標を確かめよう」という意味の旗の記号と共に、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は4。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、片付け方を、硬筆についても姿勢と構え方、鉛筆の持ち方を、写真やイラストで、5ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は5。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆、ボールペンの持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方、筆の各部分の名称の写真を2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」と明記して、小单元ごとに示している。 ・1学年の目標の数は2。 <p>2 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、後片付け、構え方の写真を2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写の学習の進め方」では、目標、見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返って話そう、生活に広げよう、となる学習の流れを示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校書写で学習したことを、1学年冒頭の「小学校での学習を振り返ろう」では、実際に書いて確かめるように示している。 ・「見つけよう」では、硬筆文字から課題を考えさせている。 ・「書写のかぎ」では、文字を正しく書くためのポイントを掲載し、教材文字の左に「書写のかぎ」を示している。 ・複数単元ごとに「まとめ」と「書写テスト」が設定され、学習内容を確認・評価させている。 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」では、目標を確かめよう、書き方を学ぼう、見つけよう・考えよう、毛筆で書こう、学習を振り返ろう、書いて身につけよう、自分の言葉でまとめよう、と基本となる学習の流れを示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年のはじまりと、3学年の学習の終わりに、自分の文字を比較できるページがある。 ・「書き方を学ぼう」を基に、「見つけよう・考えよう」では、書き方のポイントが他の文字のどこに使われているか考えさせている。 ・「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを字形例とともに、楷書と行書 10 種類で示している。 ・毛筆で習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活で 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」では、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそう、と基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習における学び方を写真等で示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年冒頭で、小学校書写で学習したことを振り返りながら対話するように示している。 ・「考えよう」では、示された観点を基に課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通した学び方を示している。 ・毛筆で習得したことを生かして、硬筆で書き込めるページがある。 ・「振り返ろう」では、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入した 	<p>1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p> <p>○学習過程の示し方と構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」では、考えよう、確かめよう、生かそう、学習を振り返る、と基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 <p>○示し方の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校書写で学習したことが「学習のはじめに」整理され、小学校で学んだことを確認させている。 ・「考えよう」では、考えたり話し合ったりし、課題を見つけさせている。 ・「学習の窓」では、日常生活に欠かせない文字を整えて書くためのポイントを示している。 ・「学習を振り返る」では、評価の観点に沿って自己評価をしたり、「書写ブック」で練習したりする活動が示されている。

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返って話そう」では、目標を達成できたかや「書写のかぎ」や書写用語を使って、学んだことを説明する活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> も活用できるように、硬筆による書き込みページが設けられている。 ・単元末の「自分の言葉でまとめよう」の「振り返ろう」では、学んだことが実際に活用できているかを書いて確認し、「自分で学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> り、試し書きとまとめ書きを比べて、よくなったところを伝え合う相互評価したりする活動が示されている。 	
内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判、 ・ 本編 92 ページ、資料編 38 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 1 学年 (44+折込 1) 2 学年 (30+折込 1) 3 学年 (18+折込 1) 資料編等 (38+折込 1) ・ 毛筆教材数 1 学年 (13) 2 学年 (9) 3 学年 (5) ・ 硬筆記入ページ 1 学年 (19) 2 学年 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判 ・ 本編 67 ページ、資料編 47 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 1 学年 (36+折込 1) 2 学年 (22+折込 1) 3 学年 (9+折込 1) 資料編等 (47+折込 1) ・ 毛筆教材数 1 学年 (8) 2 学年 (8) 3 学年 (3) 補充教材 (12) ・ 硬筆記入ページ 1 学年 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 判 ・ 本編 89 ページ、資料編 41 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 1 学年 (44+折込 1) 2 学年 (32+折込 1) 3 学年 (13+折込 1) 巻末資料 (41+折込 1) ・ 毛筆教材数 1 学年 (10) 2 学年 (9) 3 学年 (7) ・ 補充教材 (13) ・ 硬筆記入ページ 1 学年 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5 判 ・ 本編 77 ページと資料編 48 ページ、「書写ブック」24 ページ 1 単元・教材や資料等の配列 ・ 総ページ数 1 学年 (29+折込 1) 2 学年 (27+折込 1) 3 学年 (19+折込 1) 巻末資料 (41+折込 1) ・ 毛筆教材数 1 学年 (15) 2 学年 (8) 3 学年 (5) ・ 硬筆記入欄 1 学年 (16) 2 学年 (13) 3 学年 (8)

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
	<p>3 学年（1） 資料編等（2）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は、6 単元 9 ページ</p> <p>楷書の書き方を確かめよう 「仮名の書き方と字形」 文字のいづみ 「いろは歌」 「文字の成り立ちと移り変わり」 「伝統的な用具・用材」 「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『竹取物語』」 ・ 3 年間で 17 単元 28 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 各学年末に「文字のいづみ」として、書き初め、書写の歴史や古典を題材とした教材等を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、唐の四大家の文字の比較を扱っている。</p>	<p>2 学年（7） 3 学年（0）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 3 単元 5 ページ</p> <p>楷書と仮名 「仮名の字形と筆遣い」 仮名の字形／文字の大きさと配列 学びを広げる「文字の変遷」 ・ 3 年間で 7 単元 14 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に、書写を日常生活に生かす教材や書き初め、毛筆の補充教材を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、中国や日本の書の古典を扱っている。</p>	<p>2 学年（11） 3 学年（3）</p> <p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 5 単元 10 ページ</p> <p>コラム 「筆、墨、硯、紙について知ろう」 「文字の変遷」 「行書学習のはじめに」 楷書と仮名を調和させて書こう 「楷書に調和する仮名『いろは歌』」 「学習を生かして書く一行の中心ー」 ・ 3 年間で 13 単元 25 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に書写を日常生活に生かす教材や書写のテスト問題、情報の整理の仕方を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、巻末で「芸術としての書道」を扱っている。</p>	<p>2 伝統と文化に関する内容の記述 ・ 1 学年の単元は 3 単元 6 ページ</p> <p>楷書に調和する仮名 コラム「文字の歴史を探る」 季節のしおり 1 ・ 3 年間で 8 単元 15 ページ</p> <p>○ 発展的な学習の扱い ・ 資料編に、書写を日常生活に生かす教材や書き初め等を掲載している。 ・ 高等学校の内容として、中国の書家を扱っている。</p>

発行者 観点	2 東 書	1 5 三省堂	1 7 教 出	3 8 光 村
内容の 表現・表記	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆脈を点線で示している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・右ページに学習のポイントを示し、左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ・「見つけよう」には、楷書と行書を並べて示している。教材文字の下に書き込み欄を配置している。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する目次と該当箇所には、「Dマーク」を示し、全28箇所ある。(1年：11教材、2年：8教材、3年：5教材、書写ブック：4箇所) 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、行書の文字(朱墨)と、楷書(黒字)の文字を並べて示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・右ページに書き方のポイントを示し、左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ・「書き方を学ぼう」では、楷書と行書で書かれた文字を上下に示している <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎編」「学習のはじめに」にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。 ・毛筆の姿勢と構え方、大筆の持ち方、小筆の持ち方・構え方、筆の運び方、用具の扱い方、硬筆の姿勢と構え方、鉛筆の持ち方について掲載している。 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、筆順と筆脈を矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページ ・左ページにポイントを示し、右ページに半紙形の紙面で教材文字を示している ・「試し書き」では、楷書で字形を確認し、その下に行書で書く欄がある。 ・半紙形の紙面には、青色の中心線が示されている。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する箇所には、「まなびリンク」二次元コードのマークを示し、全16箇所ある。(1年：7箇所、2年：5箇所、3年：3箇所、補充教材集：1箇所) 	<p>1 配色、レイアウト等表現・表記の工夫</p> <p>○第1学年「行書 点画の変化」の学習では、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。また、半紙原寸大の教材文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。</p> <p>○紙面構成等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで、学習の進め方を示している。 ・見開き2ページで、半紙原寸大の教材文字を示している。 ・「①考えよう」では、楷書と行書を左右に並べて示している。 <p>○デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当する箇所には、二次元コードを示し、全42箇所ある。(1年：15教材、2年：10教材、3年：7教材、補充教材：10箇所)

発行者 観点	2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村
言語活動の 充実	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりに「生活に広げよう」というページがあり、学習したことを日常の掲示物や記述の場面で活用させている。 ・1学年「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」 ・2学年「本のポップを書こう」「防災訓練に参加しよう」 ・3年「思いを文字で表そう」 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも「やってみよう」を設定している。 ・1学年「グループ新聞を作ろう」 ・2学年「情報誌を作ろう」 ・3学年「名言集を作ろう」 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年「校庭の植物観察をレポートにまとめる」「お薦めの本の帯やポップを作る」等。 ・2学年「新聞を書く」「掲示物(ポスター)に案内を書く」等 ・3学年「三年間の学習の成果を生かそう」「メッセージカード」「書き初めを書く」「未来の自分に向けて手紙を書こう」等 	<p>1 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日常に役立つ書式」という単元があり、「手紙の書き方」「はがきの書き方」「入学願書の書き方」等を掲載している。 ・「文字を使い分ける」という単元があり、様々な書体で書かれた身近な文字を掲載している。 ・「名文を書いてみよう」の単元で古文・現代文を書く活動がある。

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地理）	4	3

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示し、タイトルの右横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、どうしたら～でしょうか。」等の表現形態で示している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の各地域を「自然環境」「交通や通信」「人口や都市・村落」「産業」「生活・文化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。 日本の領域について本文4ページで扱い、そのうち「北方領土・竹島と尖閣諸島」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、地域区分ごとに主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。 基礎的・基本的な技能を身に付けるための「スキル・アップ」コーナーを32カ所設けている。また、学習内容の説明や関連する内容を上げた「地理にアクセス」というコーナーを設けている。 単元の最後に学習内容を確認する「基礎・基本のまとめ」というページを設けている。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「身近なものから見える世界」のようにタイトルを示し、タイトルの下に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、どうして～でしょうか。」等の表現形態で示している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の各地域を「自然環境」「人口や都市・村落」「歴史的な視点」「産業」「交通や通信」「伝統文化と地域の変化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。 日本の領域について本文4ページで扱い、そのうち「日本の領土をめぐる」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、地域区分ごとに主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。 学習内容を説明したコラム「地理の窓」を54カ所設けている。また、「LOOK!」というコーナーを設けている。 単元の最後に学習内容を確認する「学習のまとめと表現」というページを設けている。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示し、タイトル右横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、なぜ～だろうか。」等の表現形態で示している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の各地域を「自然環境」「交通や通信」「環境保全」「産業」「人口や都市・村落」「生活・文化」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。 日本の領域について本文4ページで扱い、北方領土、竹島尖閣諸島を取り上げている。 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、地域区分ごとに主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。 学習内容に関連した「地理プラス+」「共生」「環境」「防災」「解説」の5つのコーナーを設けている。基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」のコーナーを23カ所設けている。 単元の最後に「章の学習を振り返ろう」というページを設けている。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示し、タイトルの左横に1時間の「学習課題」として「どのように、どのような、なぜ～でしょうか。」等の表現形態で示している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の各地域を「自然環境」「人口や都市・村落」「歴史的背景」「産業」「交通や通信」「持続可能な社会づくり」などのテーマに焦点をあてて考察する構成となっている。 日本の領域をめぐる問題について本文4ページで扱い、そのうち「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」のタイトルで北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる問題を2ページで取り上げている。 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、地域区分ごとに主題（地球的課題）に視点をあてて取り上げている。 学習内容を説明した「地理+α」というコーナーを16カ所、技能を習得するための内容を解説した「スキルUP」というコーナーを31カ所設けている。 単元の最後に学習内容を振り返るページを設けている。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において1ページを使い、テーマ、地図や写真、キャラクターの吹き出しを掲載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページに学習の視点や写真などを掲載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、3ページにわたって、写真、イラスト、地図、キャラクターの吹き出しなどを掲載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>	<p>1 単元導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入において、見開き2ページにテーマ、地図、写真、キャラクターの吹き出し、クイズを掲載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するた</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>めの構成上の工夫</p> <p>○SDGsの視点から地域の課題を考え、課題を見つける、課題を調査する、要因を考察する、解決策を構想する、地域の将来像を提案する、という手順で示している。</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・地域の課題のキーワードをあげ、課題をとらえる、課題を調べる、地域に向けて発信する、という手順で示している</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・各地域の課題や持続可能な社会に向けて考えたことを振り返り、課題を把握しよう、地域をとらえよう、課題の要因を考察しよう、課題の解決に向けて構想しよう、構想の成果を発信しよう、という手順で示している。</p>	<p>めの構成上の工夫</p> <p>・日本の諸地域で扱った課題を振り返り、地域の課題と特色をつかもう、地域の課題の要因を考察しよう、課題の解決に向けて構想しよう、まちづくり会議を開こう、という手順で示している。</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 302</p> <p>「世界と日本の地域構成」 27</p> <p>「世界の様々な地域」 107</p> <p>「日本の様々な地域」 142</p> <p>「その他」 26</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「自然災害と防災・減災への取り組み」のタイトルで2ページにわたって、自然災害と防災について記載している。特設ページ「もっと地理」で2ページにわたって災害の原因や仕組み、命を守る取組について記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 304</p> <p>「世界と日本の地域構成」 19</p> <p>「世界の様々な地域」 101</p> <p>「日本の様々な地域」 149</p> <p>「その他」 35</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>○「自然災害に向き合う」のタイトルで2ページにわたって、自然災害について記載している。</p> <p>○「災害から身を守るために」のタイトルで2ページにわたって災害から身を守るための取組等を記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 310</p> <p>「世界と日本の地域構成」 24</p> <p>「世界の様々な地域」 104</p> <p>「日本の様々な地域」 166</p> <p>「その他」 16</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「日本のさまざまな自然災害」のタイトルで2ページにわたって、様々な自然災害について記載している。</p> <p>・「自然災害に対する備え」のタイトルで2ページにわたって防災・減災の取組について記載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量</p> <p>・総ページ数 298</p> <p>「世界と日本の地域構成」 22</p> <p>「世界の様々な地域」 95</p> <p>「日本の様々な地域」 156</p> <p>「その他」 25</p> <p>2 防災教育の充実</p> <p>・「地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分」「気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分」のタイトルでそれぞれ2ページにわたって地震と火山災害、気象災害について記載している。</p> <p>・「災害にそなえるために」のタイトルで2ページにわたって防災・減災の取組を記載し、特設ページで東日本大震災について扱っている。</p>
内容の表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 171</p> <p>・絵図 12</p> <p>・地図 52</p> <p>・図表・グラフ 50</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフ内に文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 132</p> <p>・絵図 6</p> <p>・地図 52</p> <p>・図表・グラフ 39</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 155</p> <p>・絵図 6</p> <p>・地図 41</p> <p>・図表・グラフ 53</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変えている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>○掲載数</p> <p>・写真 145</p> <p>・絵図 8</p> <p>・地図 32</p> <p>・図表・グラフ 63</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <p>・ユニバーサルデザインフォントを使用している</p> <p>・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りしてあり、折れ線グラフはデータごとに色を変え、実践と点線で示している。</p>
言語活動の充実	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・単元のまとめにおいて、テーマについて、自分の言葉でまとめる活動を記載している。</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・各単元のまとめにおいて、「ワードチェック」、「地図を使って確かめよう」、「表現しよう」、「意見を交</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・各単元のまとめにおいて、「特色と課題を整理しよう」、「『節の問い』への考えを説明しよう」、「【発展】</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>・単元のまとめに「アクティビティ」を設け、話し合い、ディベート、関係図づくり、キャッチフレーズ</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動として「小学生への説明原稿」、「サミットでのスピーチ原稿」等、具体的な場面を想定したまとめを取り入れている。 各単元のまとめの最後には「自分の言葉でまとめましょう」という表現活動を記載している。 	<p>換しよう」という一連の流れで表現活動を設定している。</p>	<p>持続可能な社会に向けて考えよう」の3つのステップで示し、課題によって「説明しよう」「話し合おう」などの表現活動を記載している。</p>	<p>づくり等の様々な表現活動を記載している。</p>

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（歴史）	7	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
基礎・基本の 定着	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにタイトルの右横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で各1時間に追究する学習課題を示している。 見開き右ページの下に、「チェック」と「トライ」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにタイトルとその副題を示し、タイトルの下に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で各1時間の追究する学習課題を示している。 見開き右ページの下段に、「確認」と「表現」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> タイトルの右横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で各1時間に追究する学習課題を示している。 見開き右ページの下段に、「確認しよう」と「説明しよう」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> タイトルの下に「どのような」「なぜ」等の問いかけの形態で各1時間に追究する学習課題を示している。 ページの下段に、「ステップアップ」を設定し、さらに深める課題追究に向けた発問や学習活動を示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにタイトルの左横に「どのような」「なぜ」等の問いかけの形態で各1時間に追究する学習課題を示している。 ページの下段に、「確認」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにタイトルの右横に「どのような」や「どのようにして」等の問いかけの形態で各1時間の追究する学習課題を示している。 見開き右ページの下段に、「えんぴつ」マークを示し、学習課題に対応した学習活動を示している。 	<p>1 学習課題の表し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとにタイトルを示し、そのタイトルの右横に学習内容を表す副題を示している。タイトルの下段に「どんな」「なぜ」等の問いかけの形態で各1時間の追究する課題を示している。
	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の見開きに「日本の国宝・重要文化財」を、巻末に「各地の主な跡」等を紹介し、資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形文化遺産」等のマークが付いている。 本文の他に、特設ページ「現代に生きる神話」を2ページにわたって設定し、5点の事例を取り上げ、民俗芸能や「神楽」との関わりを示している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の見開きに「各地の主な遺跡・史跡・できごと」を紹介し、資料「世界遺産」「国宝」「重要文化財」等のマークが付いている。 本文の他に、特設ページ「神話にみる古代の人々の信仰」を2ページにわたって設定し、神話・伝承に関する事例を3点示している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。資料に「世界遺産」「国宝」「世界の記憶」等のマークが付いている。 本文の他に、コラム「『古事記』と『日本書紀』が伝える神話」を設けて、「古事記」と「日本書紀」の内容等について記載している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の見開きに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。資料に「世界遺産」「国宝」等のマークが付いている。 本文の他に、コラム「日本の神話」を設けて、「古事記」、「日本書紀」や「風土記」の内容等について記載している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。資料に「国宝」「世界遺産」等のマークが付いている。 本文の他に、特設ページ「日本の神話」を設定し、1ページを使い、「神話とは何か」「『古事記』『日本書紀』の神話」「さまざまな神話」を記載している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「日本の美の形」、巻末に「世界と日本の世界文化遺産」を設定し、「国宝」「世界遺産」を紹介している。資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 本文の他に、特設ページ「神話に見るわが国誕生の物語」を2ページにわたって設定し、「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を記載している。 	<p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 近世後半の導入ページにおいて「世界遺産に見る世界」を設定し、世界遺産や国宝を写真や地図で紹介している。 本文の他に、コラム「『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」を設定し、常陸国風土記に記された内容等について記載している。
	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>	<p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤とな</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は9点あり、古代(1)、中世(2)、近世(3)、近代(3)の内訳となっている。コラム「歴史にアクセス」という名称で、近世・近代での内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は7点あり、古代(1)、中世(1)、近世(3)、近代(1)、現代(1)の内訳となっている。コラム「歴史を探ろう」という名称で、近世の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は18点あり、古代(4)、中世(4)、近世(3)、近代(7)の内訳となっている。「地域史」「環境」「交流」等に分けられている。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は10点あり、古代(3)、中世(4)、近世(1)、近代(2)の内訳となっている。古代・中世の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラム数は11点あり、古代(2)、中世(2)、近世(4)、近代(1)、現代(2)の内訳となっている。近世での内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラムの数は8点あり、古代(4)、近代(3)、現代(1)の内訳となっている。古代の内容が多い。 	<p>る知識・技能を身に付けさせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に影響を与えた文化交流に関するコラムの数は16点あり、古代(2)、中世(4)、近世(4)、近代(3)、現代(3)の内訳となっている。中世・近世の内容が多い。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、見開き2ページにわたり、時代を象徴的に表す写真や絵図を用い、人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、資料の読み取りやグループでの学習を示している。年表には、小学校時の学習した語句を太字で示すことでつながりをもたせている。また、キャラクターの問いにより各章の学習課題を導くような構成をしている。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史へのとびら」の「2節 身近な地域の歴史」において、調べ学習の「テーマ設定」「調査」「考察」に向けての手順とポイントを示している。 ・各章の終わりに「地域の歴 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、1ページを使い、時代を象徴的に表す絵図や写真を掲載し、年表に日本の時代名、中国・朝鮮の王朝名を掲載して、これから学習する時代を示している。また、見開き2ページにわたり、絵図と絵図に関わるキャラクターの問いをもとに学習へ導いている。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」の「2節 身近な地域の歴史を調べよう」において、調べ学習の「テーマを決めよう」「情報を集めよう」「具体的な調査の課題を決めよう」と 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、特設ページは設定されていない。タイトルの下に学習課題を示している。小単元の導入の際には、「タイムトラベル」という2ページにわたる特設ページを設け、歴史的な事象を示す絵図を示し、前の時代と比べての特色を読み取る学習活動を示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史のとらえ方と調べ方」の「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」において、「歴史の謎を探る～問いを作ろう～」「資料をよく見てヒントを探してみよう」、 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、見開き2ページにわたり、年表上に歴史的な事象を示す絵図を並べ、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて示している。それとともに、単元全体に関する説明を記載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史との対話」の「2節 身近な地域を調べよう」において、「テーマを設定しよう!」「さあ調査だ!」「レポートをつくって発表しよう!」とイラストとともに調べ学習 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、見開き2ページにわたり、時代を象徴的に表す写真や絵図を掲載している。さらに、次の見開き2ページにわたり、年表、イラスト入りの地図を用いて読み取り活動へ導いている。それとともに、単元全体に関する説明を記載している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章に「でかけよう!地域調べ」を設定し、各時代における事例をもとに、現地調査による調べ学習のポイントを示している。 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、1ページを使い、「海洋国家・日本の歩み」と称して、船の絵図や写真等を示すことで、歴史的な特色を示している。また、すべての歴史学習の中でどの期間の学習をするのかを年表を用い、キャラクターの問いを記載している。次の見開き2ページにわたり、「歴史絵巻」で、時代順に人物や出来事のイラストを並べている。さらに、見開き2ページにわたり、絵図から事象を読み取る学習活動を示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序章と第4章に「地域の歴史を調べてみよう」を設定し、それぞれ1つの事例を具体的に調べ学習のポイントを示している。 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入において、見開き2ページにわたり、年表スケールや歴史的な事象を示す写真や絵図を掲載している。また、それぞれの歴史的な事象が関連する位置を、掲載した地図で示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史への案内」を設定し、地域の博物館での調べ学習や現地調査における、学習のポイントを示している。

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	史を調べよう」を設定し、各時代についての調べ学習の例を示している。	6つの例とともに手順とポイントを示している。	「謎解きの答えをまとめよう」と調べ学習の1つの具体的事例を追って手順とポイントを示している。	のポイントを示している。 ・各章に「地域からのアプローチ」を設定し、身近な地域に関する調べ学習の事例を示している。			
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 304、歴史との対話 12、古代 44、中世 36、近世 50、近代 102、現代 32、その他 28</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アクロポリスとパルテノン神殿」、「古代ローマの支配領域」等の資料を掲載している。 [近代]「イギリスとアメリカの革命」、「フランス革命」というタイトルで、4ページにわたって記載し、「ボストン茶会事件」、「造営中のベルサイユ宮殿」等の資料を掲載している。 [現代]「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「日本国憲法前文」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 310、歴史との対話 15、古代 42、中世 36、近世 50、近代 108、現代 36、その他 23</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「すべての道はローマに通ず」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代ギリシャの勢力範囲」、「古代ローマの水道橋」等の資料を掲載している。 [近代]「代表なくして課税なし」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立当時のアメリカ合衆国」、「人権宣言」等の資料を掲載している。 [現代]「敗戦からの再出発」、「平和国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「女性の国会議員の誕生」、「日本の憲法の比較」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 306、歴史との対話 13、古代 44、中世 36、近世 54、近代 108、現代 30、その他 21</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの政治と文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「ギリシャの民会の様子」、「ローマ帝国の貨幣」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命の始まり」、「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言の採択」、「フランス人権宣言」等の資料を掲載している。 [現代]「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「『あたらしい憲法のはなし』」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 総ページ 294、歴史との対話 9、古代 48、中世 40、近世 52、近代 100、現代 30、その他 15</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「地中海文明の発展」というタイトルで2ページにわたって記載し、「重装歩兵」、「ローマ帝国の拡大」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命の時代」というタイトルで4ページにわたって記載し、「独立宣言」、「バスティーユ襲撃」等の資料を掲載している。 [現代]「占領下の日本」、「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページにわたって記載し、「衆議院の女性議員」、「日本国憲法」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 328、歴史との対話 8、古代 50、中世 42、近世 52、近代 102、現代 38、その他 36</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代のギリシャとローマの動き」、「ローマ帝国の支配圏」等の資料を掲載している。 [近代]「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立後に制定されたアメリカの国旗」、「フランスの三つの身分と税の負担に関する風刺画」等の資料を掲載している。 [現代]「占領と改革の始まり」、「平和で民主的な国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「戦後の主な改革」、「日本国憲法公布の祝賀会」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 314、歴史との対話 13、古代 50、中世 34、近世 52、近代 102、現代 33、その他 30</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「ギリシャとローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アテネ民会議場の演壇」、「ローマ帝国の領域」等の資料を掲載している。 [近代]「市民革命と近代社会の成立」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「バスティーユ牢獄に攻め寄るパリ市民」等の資料を掲載している。 [現代]「占領下の日本と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「初めての女性国会議員」、「戦後の諸改革」等の資料を掲載している。</p>	<p>6 単元や資料等の配列・分量 総ページ 306、歴史との対話 6、古代 44、中世 32、近世 50、近代 110、現代 36、その他 28</p> <p>2 主権者育成のための工夫 [古代]「円形競技場の熱狂」というタイトルで2ページにわたって記載し、「紀元前5世紀ごろのギリシアとペルシア」、「ローマ帝国の広がり」等の資料を掲載している。 [近代]「アメリカの大地に生きる」、「バスチーユを攻撃せよ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」、「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。 [現代]「焼け跡からの出発」、「もう戦争はしない」というタイトルで4ページにわたって記載し、「街頭演説をする山口シヅエ」、「『あたらしい憲法のはなし』」等の資料を掲載している。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
内容の 表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(133)・絵図(85)・地図(33)・図表・グラフ(27)・文書資料(44)・年表(5)・人物(56)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ユニバーサルデザインフォントを使用し、ふり仮名の文字濃度を薄くしている。 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 [レイアウト]本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の部分の色分けしている。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(123)・絵図(86)・地図(28)・図表・グラフ(32)・文書資料(21)・年表(7)・人物(51)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ユニバーサルデザインフォントを使用している。 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 [レイアウト]本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(136)・絵図(85)・地図(40)・図表・グラフ(38)・文書資料(2)・年表(4)・人物(53)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ユニバーサルデザインフォントを使用している。 [グラフ]帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 [レイアウト]本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(151)・絵図(86)・地図(35)・図表・グラフ(37)・文書資料(19)・年表(3)・人物(49)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ユニバーサルデザインフォントを使用している。 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 [レイアウト]本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(105)・絵図(78)・地図(35)・図表・グラフ(37)・文書資料(31)・年表(38)・人物(49)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ユニバーサルデザインフォントを使用している。 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 [レイアウト]本文ページのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(89)・絵図(74)・地図(34)・図表・グラフ(36)・文書資料(17)・年表(10)・人物(77)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [フォント]ふりがなにゴシック体を用いて、小さな文字が読みやすいようにしている。 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 [レイアウト]本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用 (「近代の日本」での掲載数) 写真(155)・絵図(72)・地図(33)・図表・グラフ(22)・文書資料(1)・年表(1)・人物(38)</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 [グラフ]円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 [レイアウト]本文ページは、見開き2ページで学習内容をまとめている。</p>
	言語活動の 充実	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世とはどのような特色を持つ時代だったのでしょうか」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四つの視点を示している。 イ. 文章にまとめる前に、思考ツールに考えをま</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 文章でまとめる前に、古代と中世を比較した表を、「政治」「外国との関係」「文化」の視点でまとめる学習活動を</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「この時代はどのような時代だったかを、自分の言葉で説明してみよう。」という問いに対して、自分が重視した歴史的な見方・考え方を明らかにし、2つの学習活動を通じて文章にまとめる。 ア. 身分や職業について、「タテ(支配)とヨコ(対</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 4つの立場(人)を示し、それぞれの立場で問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。 ア. 「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定している。 イ. 自分の考えは、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つに時代区分のそ</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「中世に定められた主な『法』に着目し、古代と比較しながら、中世の特色を考えていきましょう。」という問いに対して、自分の考えを3つのステップでまとめる。 ア. 「古代と中世の主な法にどのような特色があるのでしょうか。」とい</p>	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 「この時代はどのような時代だったといえるのか」といった問いに対して、自分の考えを文章にまとめ、クラスで話合うために5つの活動を設定している。 ア. 年表の空欄に当てはまる言葉を選ぶ。 イ. 戦いについての整理をする。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	<p>とめるように促している。</p> <p>ウ. 意見交換や、自分の考えの修正の方法を示している。</p>	<p>設定している。</p>	<p>等) の関係図を作ってみよう。」という問いに対して、図で自分の考えをまとめる。</p> <p>イ. 「なぜ、『武士』と『庶民』はそれぞれの結び付きを強めていったのか」等の問いに対して、話し合いをする。</p>	<p>れぞれでまとめる。</p>	<p>う問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>イ. 「なぜ、これらの法はつくられたのでしょうか。」という問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>ウ. 中世の特色を、文章にまとめる。</p>	<p>ウ. この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。</p> <p>エ. 歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選ぶ。</p> <p>オ. 暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する。</p>	

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（公民）	6	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
基礎・基本の 定着	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動ごとの体育館使用の割り振りを取り上げ、「問題の状況」「解決のための話し合い」「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」の流れを示し考えさせている。本文中8ページの扱いがある。 活用課題「T市の自転車の使用ルールを考えよう」 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌」というタイトルで本文中に5行の記載がある。 「領土をめぐる問題の現状」というタイトルで見開き2ページを使い、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの下に学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールの練習日の割り振りを取り上げ、「話し合いと決定の主な方法」「効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス」等を絵図で示し考えさせている。本文中4ページの扱いがある。 活用課題「ごみ収集所の新たな設置」 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌」というタイトルで本文中に10行の記載がある。 「領土をめぐる問題」というタイトルで本文中に16行の記載があり竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。竹島と尖閣諸島の写真を掲載している。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの右横に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の新設を考慮することを取り上げ、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」の流れの中で考えさせている。本文中5ページの記載がある。 活用課題「マンションの騒音問題を解決しよう」 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌」というタイトルで本文中に7行の記載がある。 「領土を巡る取り組み」というタイトルで見開き2ページを使い、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げている。尖閣諸島の写真を掲載している。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの左横に学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」「～とは何でしょうか」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 合唱コンクールの練習スケジュールを取り上げ、対立する場面、効率や公正を考慮する場面、決まりを評価する場面を設定し考えさせている。本文中6ページの記載がある。 活用課題はなし <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国家と国家主権」というタイトルの中で、本文中に3行の記載がある。 「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで見開き2ページを使い、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの下に学習課題とし「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動ごとの体育館使用の割り振りを取り上げ、「対立」「合意形成と目的に関する考察」「合意形成後の対立」「決まりをつくる」の流れで考えさせている。本文中4ページの記載がある。 活用課題「魅力ある『まちづくり』を考えよう」 <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌」というタイトルで本文中に7行の記載があるとともに、「国旗と国歌を考えてみよう」という見開き2ページのコラムを掲載している。 「わが国の領域に関する課題」というタイトルで、本文中に14行の記載があり、北方領土、竹 	<p>1 学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きごとのタイトルの右横に学習課題として「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけの文を示している。 <p>2 公民としての基礎的教養を培うための工夫（「対立」と「合意」「効率」と「公正」の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 昼休みのグラウンド使用について取り上げている。本文中4ページの記載がある。 活用課題はなし <p>3 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫（国旗・国家、領土の扱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国旗・国歌」というタイトルで本文中に12行の記載があるとともに、「国歌『君が代』の意味」「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」というコラムを掲載している。 「日本の領土をめぐる問題」というタイトルで本文中に17行の記

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
					島、尖閣諸島を取り上げるとともに「わが国の領土問題」という見開き2ページのコラムを掲載している。	載があり、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、それぞれ写真も掲載している。また、「日本の領土をめぐる問題」という見開き2ページのコラムを掲載している。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の扉の1ページに単元の内容に関する3枚の写真を掲載し、キャラクターによる吹き出しで「どのような」「どのように」「どうものだろう」という問いを示している。 「小学校で習ったことば」を掲載し、小学校の学習との関連を図っている。 次の見開き2ページで「導入の活動」を設定し、大単元の学習を貫く「探究課題」を設定している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 12の課題例を分野ごとの一覧表にして示すとともに、関連する本文のページを示している。 ①「課題把握」（5つのテーマの中から、解決すべき課題を設定しよう）②「課題探究」（資料を集め探究しよう）「意思決定」「提案参加」（アクションプランとしてレポートにまとめよう） 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の扉の1ページに単元の内容に関する3～4枚の写真を掲載し、写真の説明と関係するページを示している。 「まなびリンク」としてQRコードを掲載し、関係する情報を見ることができるようにしている。 次の見開き2ページで「第〇章のはじめに」を設け、導入の活動を設定し、大単元の「学習の見通し」を示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 15の課題例を分野ごとの一覧表にして示している。 ①「テーマを選ぶ」②「私の提案『自分を変える、社会を変える』を実際につくる」 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の見開き2ページに「学習の前に」としてイラストを掲載し、それをもとにした問いが掲載されている。また、問いには関連する本文のページが示されている。 「小学校との関連」のコラムがある。 「第〇部を見通そう」の欄を設け、その単元で何を学習するかを示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 7つの課題例を分野ごとの一覧表にして示すとともに、関連する本文のページを示している。 ①「課題を決めよう（課題の設定）」②「資料を集めよう（資料の収集と読み取り）」③「考察しよう（考察）」④「レポートを書こう（構想とまとめ）」 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の見開き2ページに「学習の始めに」として漫画及び漫画についての説明文を掲載し、内容についての問いを2～4つ掲載している。 「第〇編の学習について」の欄を設け、その単元で何を学習するかを示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 33の課題例を分野ごとにまとめた図表の中に示している。 ①「テーマの設定」②「資料の収集と読み取り」③「考察と構想」④「まとめと評価」 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の扉1ページに人のいる風景のイラストを掲載し、単元名の下に単元の内容についての問いを示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」17項目を掲載している。 ①「課題をみつけよう」②「選択した課題について調べよう」③「解決の方法を考えてみよう」④「卒業論文にまとめる」 	<p>1 単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初の扉1ページに単元の内容に関する3枚の写真及びその説明を掲載し、それぞれにキャラクターが問いかけをしている。 単元に関連し小学校で学習した用語を枠囲みで示している。 次の見開き2ページで、「〇〇の入り口」を設け、イラストや資料をもとに導入の活動をさせるとともに、その単元を学ぶ意義や単元で考えることを示している。 <p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫（持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> 12の課題例を分野ごとの一覧表にして示している。 ①「テーマを決めよう」②「課題探求の計画を立てよう」③「プレゼンテーションしよう」④「内容の見直し」⑤「レポート作成」

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 262、「私たちと現代社会」31、「私たちと経済」52、「私たちと政治」90、「私たちと国際社会の諸課題」40、その他 49</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「S市の市長になって条例をつくろう」を2ページ設け、課題から条例案を議会に提出する活動が示されている。 ・ステップチャートの活用が示されている。 ・章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 272、「私たちと現代社会」26、「私たちと経済」64、「私たちと政治」90、「私たちと国際社会の諸課題」45、その他 47</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「まちづくりのアイデアを提言しよう」を2ページ設け、アイデアを自治体に提言する手順や資料を示している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 246、「私たちと現代社会」26、「私たちと経済」64、「私たちと政治」80、「私たちと国際社会の諸課題」41、その他 35</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」を2ページ設け、予算案を考える活動を示している。 ・K J法の活用が示されている。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 264、「私たちと現代社会」28、「私たちと経済」54、「私たちと政治」88、「私たちと国際社会の諸課題」45、その他 49</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「自分たちのまちの首長を選ぼう」を2ページ設け、公約をまとめて選挙を行う活動を示している。 ・ダイヤモンドランキングの活用が示されている。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 270、「私たちと現代社会」42、「私たちと経済」44、「私たちと政治」78、「私たちと国際社会の諸課題」60、その他 46</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「総合的な安全保障問題を考えよう」を2ページ設け、「食料問題」「防災問題」「防犯問題」等について、調べ、まとめる活動を示している。</p>	<p>1 単元や資料等の配列・分量 ・総ページ数 254、「私たちと現代社会」28、「私たちと経済」52、「私たちと政治」80、「私たちと国際社会の諸課題」43、その他 51</p> <p>2 社会参画への意識を高める工夫（「民主政治と政治参加」） ・章末に「政治のこれから」を2ページ設け、自分たちの住む地域をよりよくするために必要なことを考える活動を示している。 ・K J法及びランキングシートの活用が示されている。</p>
内容の 表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 259、絵図 55、写真 122、地図 3、表・グラフ 53、新聞 12、年表 2、文書資料 12</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。本文ふり仮名の文字濃度を濃くしている。 ・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 255、絵図 54、写真 116、地図 5、表・グラフ 64、新聞 5、年表 3、文書資料 8</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一している。ページの隅の色分けと、下部への記載で、学習内容</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 194、絵図 45、写真 81、地図 1、表・グラフ 54、新聞 7、年表 2、文書資料 4</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一している。ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデ</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 262、絵図 62、写真 106、地図 3、表・グラフ 66、新聞 10、年表 1、文書資料 14</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・円グラフと帯グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一している。ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデ</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 122、絵図 22、写真 77、地図 1、表・グラフ 16、新聞 4、年表 0、文書資料 2</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・重要語句はゴシック体（太字）を使用している。 ・円グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ・複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一している。見開きページの隅の色分けと、見開きページ左下の</p>	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用（「私たちと政治」） ・総掲載数 242、絵図 43、写真 105、地図 3、表・グラフ 36、新聞 17、年表 1、文書資料 37</p> <p>2 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・ふり仮名にはゴシック体を使用している。 ・円グラフではグラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切っている。複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ・本文ページのレイアウトを統一している。ページの隅の色分けと、下部への記載で、学習内容を示している。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	付け、本文と区別している。ページの隅の色分けで学習内容を示している。	を示している。	ックスで、学習内容を示している。	ックスで、学習内容を示している。	文字で、学習内容を示している。	
言語活動の 充実	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「探究のステップの問いを解決しよう」を1ページ設け、単元の内容をまとめながら構造的に捉えられるようにしている。 ・基本的な用語の整理をする「第○章の学習を振り返ろう」を1ページ設けている。 ・「まとめの活動」を2ページ設け、発展的な課題を設けるとともに、単元の導入で示した「探究課題」に対するまとめを行うようにしている。 	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「第○章の学習を振り返って整理しよう」を3ページ設け、1ページ目は用語の理解を促す問い、2ページ目は、資料を見て考える問い、3ページ目に、章全体のテーマについて、説明したり、自分の考えをまとめさせたりする問いを掲載している。 	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「章の学習を振り返ろう」を2ページ設け、1ページ目は、学んだ知識を確かめる問い、2ページ目は、見方・考え方を働かせて考える問いを掲載している。 	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「学習の整理と活用」を1ページ設け、「学習内容と語句の整理」の欄、「ニュースを『見方・考え方』から見てみよう」の欄を設けている。さらに、各章の終わりには、「シンキングツールを使ってみよう」を1ページ設けている。 	<p>1 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「学習のまとめと発展」を1ページ設け、「学習のまとめ」欄で用語を掲載し、「学習の発展」欄では、学習内容の関連する複数の課題を提示し、1つを選択して400字でまとめる課題を設定している。 	<p>10 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「○○のこれから」を2ページ設け、単元の導入において「○○の入り口」で示された課題を受け、資料を活用し、学んだことを生かして取り組む課題が設定されている。また、「学習のまとめ」を1ページ設け、重要語句の確認や、説明させたり、自分の考えをまとめさせたりする問いを掲載している。

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地図）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 6 帝国
基礎・基本の 定着	<p>1 地図の活用をうながす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ・巻頭に「この地図帳の活用方法」を設け、一般図、テーマ地図、グラフ・写真などの資料の見方などの地図帳の使い方や三分野での活用例を記載している。 ・巻末ページに「地図の比較」で地図記号を記載した地勢図を記載している。 ・世界と日本の各地域の一般図において、「注目したい記号」を記載している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 (国土の地理的環境の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・日本全体に関して、地形、気候、災害・環境問題、人口、資源・エネルギー、各産業、交通・通信網、世界との結びつき、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 <p>(歴史的事象の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界との関係（古代～近世）（全2ページ） ・日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料（テーマ数15、全11ページ） ・日本全体についての歴史に関する資料 「旧国名1868（明治元）年」 資料さくいんに歴史の項目を記載 	<p>1 地図の活用をうながす工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ・巻頭に「地図帳の使い方」を設け、地図の要素、一般図、鳥瞰図、資料図などの地図の使い方を記載している。 ・巻頭に地図記号、小学校で学習した地図の約束を記載し、さらに地図活用についての2次元コードを記載している。 ・「地形図の主な記号」を使った「国土地理院の地形図」を記載している。 <p>2 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 (国土の地理的環境の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本のページ」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・日本全体に関して、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、各産業、交通・通信、観光・スポーツ、歴史遺産、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 <p>(歴史的事象の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアと日本の交流の歴史（全2ページ） ・日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料（テーマ数18、全17ページ） ・日本全体についての歴史に関する資料 「日本の歴史遺産」、「日本の生活・文化」、「昔の国名と国境」
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」を設け、地図活用の視点として17のゴールを記載している。 ・「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、吹き出しを設けている。また、「ジャンプ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。 <p>【具体例】</p> <p>①ヨーロッパ州の基本資料 5 混合農業の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一つの畑で、同じ作物を育て続けられないのはどうしてかな」 ジャンプ「十勝平野の畑作」。 <p>②九州地方のテーマ資料 2 九州地方の火山と温泉・地熱発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「温泉や地熱発電所が集まっている地域には、どんな共通点があるのかな」 ジャンプ「火山と地震の分布」 	<p>1 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災、環境、日本との結びつきなどの地図活用のためのヒントとなるマークが記載されている。 ○地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、読図や比較を通して、分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示している。 <p>【具体例】</p> <p>①アフリカ州の資料（2） 8 貧困率と栄養不足の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1日1.90ドル以下で生活する人の割合が高い国は、どのような国だろう。⑦図の鉱産資源に注目して考えてみよう」 <p>②九州地方の資料 12 火山災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島原半島では、火山災害に備えてどのような対策をしているか答えよう」 <p>○資料に「プラチナ」というマークを設定し、別ページの関連性の深い資料を示している。</p>

発行者 観点	2 東書	4 6 帝国
	<p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。 	<p>2 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。
内容の構成・配列・分量	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ数 192 「世界の資料図」20 「世界の諸地域」56 「日本の諸地域」62 「日本の資料図」19 「統計」10 「さくいん・資料さくいん」11 「巻頭・巻末」14 	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 総ページ 188 「使い方・資料」15 「世界の諸地域」58 「日本の諸地域」68 「日本の資料」20 「統計」9 「さくいん」12 「巻頭・巻末」6
内容の表現・表記	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。 インターネットを使った学習ができることを示した「D」マークを各所に記載している。 <p>○地図の種類と縮尺</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域地図、大陸地図 4500 万分の 1～9000 万分の 1 各州地図 1600 万分の 1～3000 万分の 1 日本全体 550 万分の 1、1600 万分の 1 日本の各地方地図 100 万分の 1、200 万分の 1 日本のある地域の拡大図 50 万分の 1、10 万分の 1、5 万分の 1 	<p>1 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図活用の技能を身に付けるための問いとして「地図活用」のマークを記載している。 「地図活用」の解答や学習を深めるためのコンテンツを見ることができるよう、各所に二次元コードを記載している。 資料のページで扱ったテーマに対して、資料を見るときに着目する視点を示すための「学習課題」を設定している。 <p>○地図の種類と縮尺</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域地図、大陸地図 3500 万分の 1～9000 万分の 1 各州地図 1600 万分の 1～3000 万分の 1 日本全体 400 万分の 1、1600 万分の 1 日本の各地方地図 100 万分の 1、200 万分の 1 日本のある地域の拡大図 50 万分の 1
言語活動の充実	<p>1 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○巻頭に「この地図帳の活用方法」として、ヨーロッパ州を例に挙げ、調べ方を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「一般図を見て見よう」 (ページ番号・インデックス、位置図、タイトル、さくいん記号等についての説明を記載している) 「テーマ地図やグラフ・写真などの資料を見てみよう」 (基本資料、テーマ資料を記載し、活用方法を記載している) 「歴史や公民でも活用しよう」 (歴史的分野、公民的分野との関連を示すマークを例に挙げて記載している。) <p>2 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを 51 カ所設けている。 	<p>1 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>○巻頭に「地図帳の使い方(1)」として、オセアニア州を例に挙げ、調べ方を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地図帳を開けたらまず確認しよう」 (タイトルと縮尺、凡例、位置図、同緯度・同経度・同縮尺の日本、インデックスなどの説明を記載している) 「いろいろな地図を使いこなそう」 (一般図、鳥瞰図、資料図の説明を記載している) 「地図帳を使いこなそう」 (さくいん、統計、資料図ページの説明を記載している) 二次元コードの活用例を説明している。 <p>2 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>○「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを 107 カ所設けている。</p>

教科書の調査研究報告書

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	数学	7	14

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標を達成するための工夫 1年 「文字と式」 ○中学校では、「数学のこ ば」として、文字を使って 考え、表現する力を身につ けていくと明記している。 ○学習の流れ 導入 本棚をつくるのに必要 な棒の本数 ・文字の使用 ・文字を使った式の表し方 ・代入と式の値 ・1次式の計算 ・数の表し方 ・数量の間の関係の表し方 ○導入の例題、問について 問) 正方形の個数が1、2、 3…のときの棒の本数を求め</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字と式」 ○小学校では文字を使った式 の表し方を学び、中学校で は文字の表し方や使い方を 広げていくと明記してい る。 ○学習の流れ 導入 タイルは何枚必要？ ・文字を使った式 ・数量を表す式 ・式を書くときの約束 ・式による数量の表し方 ・式の値 ・式の表す意味 ・1次式とその項 ・1次式と数との乗法 ・1次式を数でわる除法</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字式」 ○ストローで正方形をつくる とき、正方形100個で何本 のストローが必要かという 問いかけを導入としている。 ○学習の流れ ・文字を使った式 ・文字式の表し方 ・1次式の計算 ・文字式の利用 ○導入の例題、問について 問) 正方形を20個、30個つ くるときのストローの本数 問) ストローの本数を求める 式 $4 + 3 \times (a - 1)$ を 見て、説明の口に入る数や</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字と式」 ○1辺にキャンドルライトを x個並べるとき、全体の個 数はどんな式で表せるのか を導入としている。 ○学習の流れ ・文字の使用 ・式の表し方 ・数量の表し方 ・式の値 ・式の読みとり ・項と係数 ・1次式の加法、減法 ・1次式と数の乗法、除法 ・文字を使った式の活用 ・数量の関係を表す式 ○導入の例題、問について</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字の式」 ○絵を磁石で固定するとき に必要な磁石の個数を求め ることを導入としている。 ○学習の流れ ・数量を文字で表すこと ・文字式の表し方 ・式の値 ・文字式の加法、減法 ・文字式と数の乗法、除法 ・関係を表す式 ○導入の例題、問について 問) 画用紙が4、5、6枚の とき、必要なマグネットの 個数を表す式を表に書き入 れる 問) 1個135gのボールb個を</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字と式」 ○文字についての学習が始ま る前にアルファベットの確 認している。 ○学習の流れ ・文字を使った式 ・文字式の表し方 ・いろいろな数量の表し方 ・式の値 ・1次式の加法、減法 ・1次式と数の乗法、除法 ・文字式の利用 ・関係を表す式 ○導入の例題、問について 問) ひびきさんの考え方で10 番目の正方形を並べるのに 必要なマグネットの数を求</p>	<p>1 単元の目標を達成するた めの工夫 1年 「文字と式」 ○章の最初のページにこの章 で何を学習するかを明記し ている。 ○学習の流れ ・文字を使った式 ・積の表し方 ・商の表し方 ・式の値 ・いろいろな数量 ・1次式の項と係数 ・1次式の加法と減法 ・1次式と数の乗法 ・1次式を数でわる計算 ・基石の総数を表す式を求め 説明しよう ・等しい関係を表す式</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館	1 0 4 数研	1 1 6 日文
	<p>る式 問) 正方形を 20 個つなげたときの棒の本数 などの 11 問。</p>	<p>・ 1 次式の加法、減法 ・ タイルの枚数を表す式について考えよう ・ 等式と不等式 ○ 導入の例題、問について 問) 星印の枚数が 1、2、3、4、5 枚のときの赤いタイルの枚数を求める式 問) 星印のタイルを □ 枚使うときに必要な赤いタイルの枚数を □ を使った式で表す などの 18 問。</p>	<p>式を考える などの 13 問。</p>	<p>問) キャンドルライトの個数を求める式で x を 150 に置きかえて計算し、計算の結果が何を表しているかを考える 問) 1 本 80 円のボールペン a 本買ったときの代金 などの 7 問。</p>	<p>1500g のボールケースに入れたときの重さ などの 8 問。</p>	<p>める 問) 100 番目の正方形を並べるのに必要なマグネットの数を求める などの 12 問。</p>	<p>・ 大小の関係を表す式 ○ 導入の例題、問について 問) 正方形を 6 個つくるのに必要な棒の本数を表す式 問) 正方形を 20 個つくるのに必要な棒の本数 などの 9 問。</p>
	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 各学習内容の導入で、「Qマーク」を示し、学習の手掛かりになる問いかけを示している。 ○ 例題と類似する問には◆印をつけ、例題を参考できるようにしている ○ 例の横に「ちょっと確認」を配置し、既習事項を確認できるようにしている。 ○ 「まちがい例」を示し、誤りを指摘し、正す活動を促</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 最初に学習のめあてを示して、具体的な学習活動を明記している。 ○ 「プラス・ワン」を「Q」の後に設け、さらに練習するための問題を設けている。 ○ 節末の「練習」、章末において、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ それぞれの節において最初に目標が設定されている。 ○ それぞれの節において終わりに新たな問題発見を設定している。 ○ 章を分けるそれぞれの節のはじめに、この節で何を学習するかを明示している。 ○ 今後の学習等に「見方・考え方」を応用できるように提示している。 ○ 文中の導入問題や例題で、</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 章の最初に確認事項としての問題を設けている。また、アルファベットの書き方の確認をしている。 ○ 例題で説明したことを確認するための問題として、「たしかめ」が明記されている。 ○ 「もどって確認」として既習事項の中で必要なことをまとめている。 ○ 「数学の広場」として学習</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」を設定し、理解を深めたり、学びを広げたりする活動が設定されている。 ○ 既習の内容をもとに新しい学習内容につなぐ「ひろげよう」を設定している。 ○ 例については、具体的に何について学習するかを明記している。 ○ 節末問題の代わりに小さい</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 「Note」としてノートをとるときの具体的な注意点を記載している。 ○ それぞれの単元において、学習する内容が明記してある。 ○ インターネットへリンクマークとして、「補充」、「資料」がある。 ○ 別冊ノートがついており、教科書には探究ノートと関連する内容があることを記</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ○ 次の章の予習として「次の章を学ぶ前に」が明記されている。 ○ それぞれの単元においてめあてが明記されている。 ○ 「問」の後に、「チャレンジ」の問題が明記している。 ○ 例については、具体的に何について学習するかを明記している。 ○ その学習で身につけたい数学的な見方・考え方が明記</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p>している。</p> <p>○節末の「基本の問題」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。</p> <p>○章末問題</p> <p>○巻末の「補充の問題」では、「問」と対応した問題をくり返し練習できるように構成されている。</p> <p>○少し難易度が高い問題については、星印(★)を明記している。</p>	<p>○章末問題</p> <p>○章末問題以外に「力をのばそう」を設けている。</p> <p>○巻末の「補充問題」では学習の見直しをするために、問題の横に学習した場所のページ数が記載されている。</p>	<p>小学校算数やこれまでの学習を適宜振り返ることができるよう、側注として「ふりかえり」を提示している。</p> <p>○節末の「確かめよう」では、理解が不十分な場合には本文に戻れるように関連する例と問を明記している。</p> <p>○章のまとめの問題は、問題の程度によって基本、応用、活用に分かれている。</p> <p>○巻末の「1年の復習」では、基礎・基本となる問題には緑の下線が引いている。</p>	<p>内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に生かすような内容が明記されている。</p> <p>○「たしかめ」の補充問題として、どの巻末問題をすればよいかを明記している。</p> <p>○節末問題ではどこで学習したか例、例題、問の番号が明記してある。</p> <p>○章末には学習のまとめとして、その章で学習した内容について振り返る場ページが記載されている。</p> <p>○巻末問題は、学習した時の内容とリンクしており、ページが記載されている。また「実力アップ問題」が記載されている。</p>	<p>単元ごとに練習問題が明記されており、また帯のところに何についての問題か明記されている。</p> <p>○章末問題の「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」がある。</p> <p>○巻末「もっと練習しよう」の問題については、その章のどこで学習したか問を明記してある。</p>	<p>している。</p> <p>○文字式の表記の仕方での注意すべき内容をまとめている。</p> <p>○例については、具体的に何について学習するかを明記している。</p> <p>○その章の最終ページに内容に関連する話題や、学んだ内容を深める活動を取り上げている。</p> <p>○節末の「確認問題」では、その節で学んだ内容へ振り返ることができるようにページが明記されている。</p> <p>○章末問題は難易度の異なるAとBに分かれている。</p> <p>○巻末の「チャレンジ編」では、理解が不十分な場合には本文に戻れるように関連する箇所を明記している。</p> <p>○巻末問題はその章の内容を確認するための問題と応用力を高める問題に分かれている。</p>	<p>されている。</p> <p>○見開きの右ページの下に「次の課題」として、新たな問題が明記されている。</p> <p>○節末の問題では振り返ることができるように、学習したときのページが明記されている。</p> <p>○巻末の問題では振り返ることができるように、学習したときのページが明記されている。</p> <p>○巻末問題として活用の問題が記載されている。</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館	1 0 4 数研	1 1 6 日文
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…19 ・「データの活用」…14 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…27 ・「データの活用」…18 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…36 ・「データの活用」…24 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…31 ・「データの活用」…18 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…29 ・「データの活用」…14 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…17 ・「データの活用」…18 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○第1学年「比例、反比例」と「データの活用」で取り扱われている日常生活や社会に関わる題材数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比例、反比例」…30 ・「データの活用」…17
	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数13</p> <p>[大切にしたい見方・考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則性に着目して式を表す ・数量の関係に着目して式をつくる ・比例とみなして予想する ・データにもとづいて問題を解決する <p>[数学の自由研究]</p>	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数10</p> <p>[もっと数学の世界へ]</p> <p>—課題学習 数学を生かして考えよう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の芯はどれだけ使える？ ・テーブルは何人で使うことができる？ ・2つのエレベーターの距離 	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数8</p> <p>[さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知らう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう —疑問を考えよう— ・米は何粒？ ・当選するには最低何票？ ・複雑な形の面積は？ 	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数6</p> <p>[数学の広場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラトステネスのふるい ・円周率πの歴史 <p>[学んだことを活用しよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが得かな？ ・進行の計画を立てよう！ ・「動く歩道」の速さは？ ・どちらのほうが長いかな？ 	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数14</p> <p>[学びをいかそう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何時に電話しようかな？ ・最大公約数と最小公倍数 ・お手玉をつくろう ・おにぎりを売ろう ・不等式 ・緊急地震速報 ・ランドルト環 	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数11</p> <p>[数学旅行]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塵劫記 ・ディオファントスの一生 ・封筒で立体をつくってみよう ・地球温暖化問題 <p>[探究ノート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1辺にx個ずつ並べたマグ 	<p>2 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○各学年の巻末及び別冊で取り扱われている各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題</p> <p><第1学年> 問題数5</p> <p>[数学マイトライ]</p> <p>—数学研究室—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小町算 ・地震のP波とS波 ・三角形の内心と外心 ・正多面体が5種類しかない理由 ・多面体の面、頂点、辺の数

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> 素数のひみつを調べよう ゴルフの得点の表し方 円周率πの歴史 グラフを使って考えよう ランドルト環のしくみ 地震のゆれの予測のしくみ エッシャーに挑戦しよう 自動車の死角を考えよう 正多面体は、なぜ5種類？ <p><第2学年> 問題数11 [大切にしたい見方・考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ことがらを予想して説明する 1次関数とみなして予想する 説明の根拠をふり返る 証明をふり返って新たな性質を見いだす <p>[数学の自由研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> 17段目のふしぎ テーブルマジック アメリカホームステイ 四角形の変身 図形の性質を見つけよう パスカルとフェルマーの手紙 点字を読んでみよう 	<p>はどのような？</p> <p>—MATHFUL—</p> <ul style="list-style-type: none"> 素数の力で生き抜いてきたセミ 身のまわりのマイナス 私たちの食料とフード・マイレージ 関数で健康管理 船が安全に進むための工夫 手まり模様の秘密 データを正しく活用するには <p><第2学年> 問題数9 [もっと数学の世界へ]</p> <p>—課題学習 数学を生かして考えよう—</p> <ul style="list-style-type: none"> どの店に注文する？ 考え方の共通点は？ 点を結んでできる図形の面積は？ <p>—MATHFUL—</p> <ul style="list-style-type: none"> まだある！数の世界 さっさ立てに挑戦しよう 関数を使って予想しよう 幾何学の起こり 不思議な錯視の世界 点字を生んだブライユの想 	<ul style="list-style-type: none"> 道路のカーブの半径は？ 立方体の切り口の形は？ <p>—数学の歴史の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> 魔方陣 円周率πの話 <p><第2学年> 問題数8 [さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知ろう—</p> <ul style="list-style-type: none"> フェアトレードからできることを考えよう 疑問を考えよう— 時計の針が重なるのは何時？ 気温は上がっている？ 点字のしくみは？ どちらが有利？ 面積は求められる？ <p>—数学の歴史の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> 鶴亀算 パスカルとフェルマーになってみよう <p><第3学年> 問題数8 [さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知ろう—</p> <ul style="list-style-type: none"> エシカル消費についてできることを考えよう 疑問を考えよう— 	<p><第2学年> 問題数6 [数学の広場]</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上トラック 点の数と面積の関係 <p>[学んだことを活用しよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> 食塩水の濃度はどれくらいかな？ どの順番で勉強したのかな？ どんな図形に変身するのかな？ あいこになる確率はどれくらいかな？ <p><第3学年> 問題数7 [数学の広場]</p> <ul style="list-style-type: none"> 倍数の見つけ方 大気中の二酸化炭素の濃度 黄金比 <p>[学んだことを活用しよう]</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな性質があるのかな？ ロープの長さは何mかな？ 円周上の点を結ぶと… 注文を引き受けることはできるかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> 移動を使って面積を求める おうぎ形の面積 「ヒンメリ」をつくろう ヒストグラムを観察しよう 少子高齢化している国は？ プログラミングで模様をつくろう 社会見学にいこう—回転焼きができるまで— <p><第2学年> 問題数11 [学びをいかそう]</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートの位置はどこ？ つるかめ算 料金が安いのは？ 角の大きさを求める へこみのある図形 問題をつくり変える 点の集合と外心・内心 どちらのくじをひこうかな？ 代表を決めよう プログラミングで数を並べかえよう 社会見学にいこう—明太子ができるまで— <p><第3学年> 問題数15 [学びをいかそう]</p>	<p>ネット</p> <ul style="list-style-type: none"> 不等式の性質はある？ 多面体の規則を見つけよう ランドルト環をつくってみよう 機関庫の模型を作ろう きれいなおうぎ形 日本の伝統的な文様 <p><第2学年> 問題数12 [数学旅行]</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度の単位 LED電球はお得？ 星形の図形の角の和 ビッグデータ 誕生日が同じ日である人がいる確率 <p>[探究ノート]</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続する整数の和 文字が3つの方程式 グラフを左右に移動したら 点Bが動いたときの角の大きさ 四角形の合同条件を考える 長さの感覚を調べよう 動物の年齢を人間に換算する <p><第3学年> 問題数13</p>	<p>の関係</p> <p><第2学年> 問題数6 [数学マイトライ]</p> <p>—数学研究室—</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続する10個の整数の和 さっさ立て 食塩水の濃度 ダイヤグラム 条件を変えて考えよう 点字のしくみ <p><第3学年> 問題数6 [数学マイトライ]</p> <p>—暮らしと数学—</p> <ul style="list-style-type: none"> データから読み取ろう 便利な計算方法 $\sqrt{2}$が無理数であることの証明 黄金比 円周角を動かしていくと… 三平方の定理の証明

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p><第3学年> 問題数10 [大切にしたい見方・考え方] ・証明をふり返って発展的に考える ・図形の形を変えて辺や角の関係を調べる ・図に表し、図形を見いだして問題を解決する [数学の自由研究] ・パスカルの三角形 ・瞬間の速さ ・容積を最大にするには? ・黄金比 ・伊能忠敬の業績を知ろう ・円周角を動かすと? ・三平方の定理のいろいろな証明</p> <p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>い <第3学年> 問題数9 [もっと数学の世界へ] -課題学習 数学を生かして考えよう- ・黄金比と図形の性質の関係は? ・九九表にはどんな規則性がある? ・影はどのように変わる? -MATHFUL- ・2乗すると負の数になる数!? ・リレーのバトンパス ・相似を生かして ・三平方の定理のいろいろな証明 ・日本のことばと数 ・数学から見る芸術の世界</p> <p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>・黄金比って何? ・「三平方の定理の逆」の証明はほかにもある? ・放物線はみな相似? ・バランスのとれる場所はどこ? -数学の歴史の話- ・地球の測り方 ・三平方の定理の証明 ・高校へのかけ橋</p> <p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>・どれが見えるかな? ・$\sqrt{2}$が無理数であることの証明 ・容器をつくろう ・変化の割合の計算 ・グラフの交点の座標 ・全身がうつる鏡 ・三角形の重心 ・円に内接する四角形 ・接線と弦のつくる角 ・方べきの定理 ・曲尺の秘密 ・三平方の定理の証明 ・データを整理するときには? ・災害から身を守ろう ・社会見学にいこう-教科書ができるまで-</p> <p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>[数学旅行] ・ミクロの世界 ・リレーのバトンパス ・皆既日食と金環日食 ・曲尺と数学 ・ピタゴラス [探究ノート] ・土地の形と道の面積 ・平方根の値の増え方 ・放物線と相似 ・ひし形と長方形をつくる ・大きなサイズのパンケーキ ・白銀長方形と黄金長方形 ・円柱の側面を巻き直す ・教科書中の文章の数</p> <p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>	<p>3 見通しをもち論理的に考察するための工夫 第2学年の「多角形の内角の和」における見いだす活動を行うための学習展開</p> <p><導入></p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p>4種類の多角形で、角の和をいろいろな方法で求め、その求め方を説明する。</p> <p><課題> 三角形の内角の和が180°であることを基にして、多角形の内角の和を求める。 「それぞれの多角形について、求め方を説明してみましょう。」 「友達の考えや他の考えをかいてみましょう。」</p> <p><展開> 四角形、五角形、六角形、七角形の求め方を説明させた後、十角形の角の和を求める。四角形、五角形、六角形、七角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「多角形を、1つの頂点から出る対角線で三角形に分けます。頂点の数がnの多角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」 「多角形を、その内部の1つの点から頂点にひいた線分で</p>	<p>五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方を使得、六角形と七角形の内角の和を求める。</p> <p><課題> カルロスさんの三角形分割の考えを示している。 『「三角形の内角の和は180°である」ことをもとにして、多角形の内角の和について調べよう。」</p> <p><展開> 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「辺の数と、1つの頂点から対角線をひいてできる三角形の数との間には、どのような関係がありますか。」 「n角形の内角の和を、nを使った式で表しなさい。」 五角形の内部に点を取る方法を図で示したマイさんの考えを示し、内角の和を求めさせる。</p>	<p>五角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。</p> <p><課題> 拓真さんの考え方（五角形の内角の和の三角形分割の求め方）を示している。 「拓真さんの考え方を使得、いろいろな多角形の内角の和を求めて、次の表を完成させましょう。」</p> <p><展開> 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「多角形の内角の和について、どんな性質があるか調べよう。」 「表で、多角形の頂点の数をnとすると、内角の和はどんな式で求めることができるでしょうか。」 「美月さんは、次のようにして五角形の内角の和を求めました。美月さんの考え方を説明してみましょう。（五角形</p>	<p>1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める。</p> <p><課題> 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「求めた結果をもとにして、下の表を完成させましょう。」</p> <p><展開> 「多角形の頂点の数をnとすると、1つの頂点からひいた対角線によって、多角形は$(n-2)$個の三角形に分けられる。」 これが正しいことを、教科書の図を使得説明する。また、このことから、多角形の内角の和を、nを使った式で表す。 たくみさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける図をかいて考えている。たくみさんの考え方を説明し、たくみさんの考え</p>	<p>多角形の内角の和を求める。</p> <p><課題> 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形までの辺の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「多角形の1つの頂点から対角線をひき、右の表の□にあてはまる数を調べて書き入れなさい。」</p> <p><展開> 「辺の数がnである多角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$個の三角形に分けられます。したがって、n角形の内角の和は、次の式で表すことができます。n角形の内角の和は$180^\circ \times (n-2)$である。」 「十角形の内角の和は何度ですか。」 五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける場合を示している。 「かりんさんは、n角形の内角の和を、右の図のように考</p>	<p>「n角形の内角の和は何度になりますか。nを使得表してみましょう。」</p> <p>まなとさん（小学校の学習の想起） みかさん（三角形分割の想起） ひびきさん（みかさんの考えをもとに、表を作る）</p> <p><課題> 四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。 「n角形を何個の三角形に分けることができるか、考えてみましょう。」</p> <p><展開> 「n角形は、1つの頂点からひいた対角線によって$(n-2)$個の三角形に分けることができます。このことから、次のことが成り立ちます。n角形の内角の和は$180^\circ \times (n-2)$である。」 「十角形の内角の和を求めない。」 n角形の内角の和を求めた3人の図を見て、対応する式を選ばせる。</p>	<p>「n角形の内角の和を求めましょう。」</p> <p><課題> 「陸さんと同じ方法で、五角形の内角の和を求めましょう。（四角形を1つの対角線で分割している。）」 陸さんと同じ方法で六角形と七角形の内角の和を求める。三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n角形までの頂点の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p><展開> 「n角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$個の三角形に分けることができます。このことから、次のことが成り立ちます。n角形の内角の和は$180^\circ \times (n-2)$である。」 「十角形の内角の和を求めない。」 n角形の内角の和を求めた3人の図を見て、対応する式を選ばせる。</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	三角形に分ける方法で、多角形の内角の和の求め方を説明しなさい。」	十角形の内角の和の求め方を例示し、十二角形の内角の和を求める。	の内部に点を取って求める方法)」「美月さんの考え方で n 角形の内角の和を求め、それが、 $180^\circ \times (n - 2)$ と等しいことを確かめてみましょう。」「十二角形の内角の和は何度ですか。」「五角形を三角形に分ける方法として、「1つの頂点で分ける」「内部の点で分ける」「辺上の点で分ける」場合を示し、「点Pを五角形の外部に動かした場合も考えることができます。この図を使って、五角形の内角の和を求めてみましょう。」	方で n 角形の内角の和を求める。十二角形、正九角形の内角の和を求める。	えて、 $180^\circ \times n - 360^\circ$ という式で表しました。かりんさんの考え方を説明しましょう。」	(図形の中に点をとって、三角形分割)十角形の内角の和の求め方を例示する。「十二角形の内角の和を求めなさい。」「正十八角形の1つの内角の和を求めなさい。」「内角の和が 1260° である多角形は何角形ですか。」	陸さん(1つの頂点からひいた対角線で三角形分割)真央さん(辺上に点をとって三角形分割)和也さん(図形の内部に点をとって三角形分割)さらに、3人の考え方の共通点を考えさせる。
内容の構成・配列・分量	1 単元や資料等の配列 <1年> 0 算数から数学へ 8P 1 正負の数 44P 2 文字と式 28P 3 方程式 24P 4 比例と反比例 40P 5 平面図形 34P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 数の世界のひろがり 54P 2 文字と式 34P 3 1次方程式 24P 4 量の変化と比例、反比例 40P 5 平面の図形 38P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 正の数・負の数 54P 2 文字式 28P 3 1次方程式 33P 4 比例と反比例 37P 5 平面図形 28P 6 空間図形 37P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 整数の性質 10P 2 正の数、負の数 45P 3 文字と式 34P 4 方程式 27P 5 比例と反比例 36P 6 平面図形 38P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 正の数・負の数 46P 2 文字の式 30P 3 方程式 26P 4 変化と対応 34P 5 平面図形 32P 6 空間図形 36P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 正の数と負の数 47P 2 文字と式 33P 3 1次方程式 25P 4 比例と反比例 33P 5 平面図形 29P 6 空間図形 37P	1 単元や資料等の配列 <1年> 1 正の数と負の数 49P 2 文字と式 33P 3 方程式 25P 4 比例と反比例 39P 5 平面図形 33P 6 空間図形 25P

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館	1 0 4 数研	1 1 6 日文
	6 空間図形 34P	6 空間の図形 36P	7 資料の活用 29P	7 空間図形 33P	7 データの活用 26P	7 データの活用 24P	7 データ活用 33P
	7 データの分析と活用 24P	7 データの分析 26P	巻末問題 8P	8 データの分析 26P	巻末問題 11P	巻末問題 22P	巻末問題 15P
	巻末問題 14P	巻末問題 12P	・カードゲームの型紙	巻末問題 16P	・プログラミングで模型をつくろう	・暗号と素数	・素数を求めるプログラムを考えよう
	・地震のゆれの予想のしくみ	・船が安全に進むための工夫	・プログラミングを体験してみよう(基石を並べる)	・円周率 π の歴史	・回転焼きができるまで	・立体の切断模型の型紙	・正多面体の型紙
	・正多面体の型紙	・正多面体の型紙	<2年>	<2年>	<2年>	<2年>	<2年>
	<2年>	<2年>	1 式の計算 28P	1 式の計算 29P	1 式の計算 24P	1 式の計算 25P	1 式の計算 25P
	1 式の計算 26P	1 式と計算 28P	2 連立方程式 29P	2 連立方程式 23P	2 連立方程式 24P	2 連立方程式 27P	2 連立方程式 23P
	2 連立方程式 22P	2 連立方程式 26P	3 1次関数 37P	3 1次関数 33P	3 一次関数 36P	3 1次関数 35P	3 1次関数 35P
	3 1次関数 38P	3 1次関数 32P	4 図形の性質の調べ方 38P	4 平行と合同 40P	4 図形の調べ方 30P	4 図形の性質と合同 33P	4 図形の性質と合同 35P
	4 平行と合同 30P	4 平行と合同 36P	P	5 三角形と四角形 39P	5 図形の性質と証明 34P	5 三角形と四角形 31P	4 図形の性質と合同 35P
	5 三角形と四角形 34P	5 三角形と四角形 34P	5 三角形・四角形 31P	6 確率 20P	6 場合の数と確率 14P	6 データとの活用 15P	5 三角形と四角形 29P
	6 確率 18P	6 データの比較と箱ひげ図 14P	6 確率 20P	7 データの分析 18P	7 箱ひげ図とデータの活用 12P	7 確率 12P	6 データの分布と確率 29P
	7 データの比較 16P	7 確率 18P	7 データの分布 15P	巻末問題 14P	巻末問題 10P	巻末問題 20P	巻末問題 20P
	巻末問題 12P	巻末問題 14P	巻末問題 8P	・点の数と面積の関係	・料金が安いのは	・温度の単位	・さっさ立て
	・パスカルとフェルマーの手紙	・暮らしに役立つ関数	・時計の針が重なるのは何時	・エッシャーに挑戦	・プログラミングで数を並べ替えよう	・ビッグデータ	・対話シート
	・くじのカード	・シャッフル再生の不思議	・さいころの型紙	<3年>	<3年>	<3年>	<3年>
	<3年>	<3年>	<3年>	1 式の計算 33P	1 式の展開と因数分解 28P	1 式の計算 25P	1 式の展開と因数分解 29P
	1 多項式 32P	1 多項式 32P	1 式の計算 32P	2 平方根 31P	2 平方根 28P	2 平方根 31P	P
	2 平方根 28P	2 平方根 34P	2 平方根 30P	3 2次方程式 23P	3 二次方程式 24P	3 2次方程式 23P	2 平方根 27P
	3 2次方程式 24P	3 2次方程式 24P	3 2次方程式 25P	4 関数 $y = ax^2$ 31P	4 関数 $y = ax^2$ 30P	4 関数 $y = ax^2$ 31P	3 2次方程式 19P
	4 関数 $y = ax^2$ 34P	4 関数 34P	4 関数 $y = ax^2$ 36P	5 相似な図形 42P	5 関数 $y = ax^2$ 24P	5 相似 39P	4 関数 $y = ax^2$ 33P
	5 相似な図形 38P	5 相似と比 40P	5 相似な図形 42P	6 円 20P	6 関数 $y = ax^2$ 30P	6 円 21P	5 相似な図形 35P
	6 円 20P	6 円 20P	6 円 22P	7 三平方の定理 23P	7 関数 $y = ax^2$ 22P	7 三平方の定理 25P	6 円 17P
	7 三平方の定理 24P	7 三平方の定理 22P	7 三平方の定理 25P	8 標本調査 16P	8 関数 $y = ax^2$ 22P	8 標本調査 15P	7 三平方の定理 21P
	8 標本調査 14P	8 標本調査 18P	8 標本調査 17P	巻末問題 18P	7 三平方の定理 22P	巻末問題 40P	8 標本調査 15P
	巻末問題 22P	巻末問題 22P	巻末問題 16P	・黄金比	8 標本調査とデータの活用	・皆既日食と金環日食	巻末問題 30P
						・三平方の定理で使用する型	・フラクタル図形のアルゴリ

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	卷末問題 14P ・伊能忠敬の業績を知ろう ・カメラの模型 ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、平方根の考え→解の公式→因数分解の配列になっている。	・日本のことばと数 ・因数分解で使用する型紙 ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。	・バランスのとれる場所はどこ ・プログラミングを体験してみよう（斜辺の値を求める） ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。	・三平方の定理で使用する模型 ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。	16P 18P 卷末問題 8P ・全身がうつる鏡 ・災害から身を守ろう ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、平方根の考え→解の公式→因数分解の配列になっている。	紙 ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。	ズムを考えよう ・因数分解で使用する型紙 ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、因数分解→平方根の考え→解の公式の配列になっている。
	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>3問…同類項 <2年>3問…連立三元一次方程式 <3年>6問…分母が多項式の有理化	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>4問…同類項 <2年>4問…連立三元一次方程式 <3年>14問…多項式を累乗とする展開	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>8問… a^0 、 a^1 <2年>7問…連立三元一次方程式 <3年>10問…多項式÷多項式	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>5問…同類項 <2年>4問…学習のつながり（二次式の乗除） <3年>13問…分母が多項式の有理化	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>2問…最大公約数と最小公倍数 <2年>2問…点の集合と外心・内心 <3年>7問… $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明(背理法)	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>5問…薬師算 <2年>3問…誕生日が同じ日である人がいる確率 <3年>9問… $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明(背理法)	2 発展的な学習に関する内容の記述 ※該当学年の学習指導要領に示されていない内容 <1年>3問…三角形の内心と外心 <2年>2問…連立三元一次方程式 <3年>8問…分母が多項式の有理化

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
内容の 表現・表記	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面で球を転がしたときの、1秒ごとの球の位置 ・ピサの斜塔からガリレオがボールを落下させている図など <p>○写真数 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットコースター (3) ・パラボラアンテナ ・噴水 ・花火 ・公園内水飲み口の水の軌跡 ・上記写真とグラフのすり合わせ ・渋滞の様子 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺がx cmの直角二等辺三角形を折り返し、10 cmからx cmをひいた差をy cmとした図 ・同時にスタートし、自転車に乗った1人が、走っているもう一人を追いかける様子など <p>○写真数 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げたボールの軌跡 ・パラボラアンテナ ・ソーラークラッカー ・懐中電灯の反射板 ・振り子の軌跡 ・製薬会社研究員佐藤さんの写真 ・佐藤さんの実験の様子 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートした1人が、走っている1人に追いつく様子 ・正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形など <p>○写真数 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げ上げたボールの軌跡 ・飛行機の先端 ・両端を固定したくさりが自然に垂れ下がった様子 ・パラボラアンテナ ・落下するボールの軌跡 ・リレーのバトンパスの様子 ・観覧車 ・風力発電の風車 ・数学者 岡潔 ・急停車する自動車 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面でボールを転がしたときの、x秒後のボールの位置 ・正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形など <p>○写真数 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴水 ・投げ上げたボールの軌跡 ・パラボラアンテナ ・懐中電灯 ・札幌市中心部 ・ガリレオ・ガリレイ 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同な2つの直角三角形の重なりが変化している様子 ・斜面を転がるボールがx秒後にy mの距離を転がった図など <p>○写真数 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面で転がるボールの0.1秒ごとの位置 ・落下するボールの軌跡 ・カーリングのハウス ・投げたボールの軌跡 (2) ・走り幅跳びの選手の飛んだ軌跡 ・ふりこ時計 ・ピサの斜塔 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底面が1辺x cmで、高さが5 cmである正四角柱 ・長方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形など <p>○写真数 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴水 ・花火 ・斜面で転がるボールの1秒ごとの位置 (2) ・パラボラアンテナ ・宅配の様子 ・観覧車 ・バスの運転手横に設置してある運賃表 ・紙を半分に切る様子 	<p>1 イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用 3年「関数 $y=ax^2$」 ○イラスト数 15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ・台形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形など <p>○写真数 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面にボールを放り投げた様子 ・パラボラアンテナ ・懐中電灯
言語活動の 充実	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○身近な場面の課題について</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○身近な場面から課題を見出す</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○話し合いをベースにして課題を</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○数学を活用して調べたこと</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○「説明しよう」、「話しあおう」</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○事実・方法・理由などを説明する</p>	<p>1 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ○問いの傍に「話し合おう」</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文
	<p>て、数学的な表現を用いながら、対話を通して解決していく場面を設定するとともに、社会とのつながりを知る機会を設けている。</p> <p><具体例> ○2年「データを比較して判断しよう」 ある桜の名所の近くにあるコンビニエンスストアの店長が、花見の時期にどんな商品がよく売れるかを調べたいという場面を設定している。また、ヒストグラムや箱ひげ図などのよさやちがいがいについて話し合う場を設定している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>し、見通しをもちながら情報を収集し、数学的に処理をすることを通して、課題解決をする機会を設けている。</p> <p><具体例> ○2年「データの比較と箱ひげ図」 日本と外国のバレーボール選手の身長を箱ひげ図などを用いて比較し、どのような傾向があるといえるかを説明する場面を設定している、</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>題発見から課題解決の流れを設定している。さらに新たな課題を発見する過程を示すことで、対話的な学びが実現できるようにしている。</p> <p><具体例> ○2年「データの分布」 「1月から3月の間にメルボルンに行く場合、どんな服を準備すればよいか」という課題場面を設定し、その解決のために、5年間の日ごとの最高気温のデータを示し、話し合う活動を設定している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>をレポートにまとめる活動を取り上げ、数学的な表現力を育成するとともに、他者とのコミュニケーションを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。</p> <p><具体例> ○2年「データの分析」 「私たちが住んでいる地域の過去の花粉の飛散量を調べよう。」という課題を例示し、資料収集、目的に合わせた資料の整理、傾向を考察する手順を示している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>う」、「まとめよう」などの活動を設定し、学習した内容や自らの考えをまとめたりふり返ったりするなどして、理解が深められるようにしている。</p> <p><具体例> ○2年「箱ひげ図とデータの活用」 「けいたさんとかりんさんは、昔にくらべて、気温が高くなっているという話を聞きました。けいたさんとかりんさんは、東京について、1958年、1978年、1998年、2018年の7月の最高気温を調べ、図と表にまとめました。」という場面設定をし、箱ひげ図から、かりんさんが考えた意見が正しいかどうかを判断する活動を設定している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を多く設定している。</p> <p><具体例> ○2年「データの活用」 「ある中学校の体育委員会で、生徒の体力が以前と比べて変化しているか調べるため、体力テストのデータの傾向について調査することになった。」という場面を設定し、4カ年間の資料を箱ひげ図などを用いて整理し、理由とともに考えを説明する活動を設定している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>	<p>や「説明できるかな？」のように活動内容を示し、数学的な思考力、判断力、表現力等を養うことができるようにしている。</p> <p><具体例> ○2年「データの分布と確率」 「彩さんの班では、大阪の猛暑日が増える傾向にあるのかどうかを調べる。」という場面を設定し、最小値、範囲、四分位範囲、猛暑日になった日数に注目させながら説明する活動を設定している。</p> <p>2 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ○ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文												
	<p><扱い> ○各学年の巻頭の「大切にしたい数学の学び方」で、ノートづくり方を示している。その具体例として単元途中に「数学マイノート」のページを設け、生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について示している。また、「学びを振り返ろう」で学んだことのまとめ方を例示している。</p> <p><記載例> ○ノート 「板書を書き写すだけでなく、自分や友だちの考え、先生の説明や友だちの発言で大切だと思ったこと、気づいたことや疑問に思ったことなども書いておきましょう。」</p> <p>○レポート作成 「レポートを書くときには、次のような点に注意しよう。」</p> <p>①自分がどのように考えたか、わかりやすく説明す</p>	<p><扱い> ○「研究をしよう」「レポートを書こう」として、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p> <p><記載例> ○ノート 「先生の説明や友だちの考えを聞いて、気づいたことや大切だと思ったことを書いておく。」</p> <p>「学習を振り返り、わかったことや、さらに考えを深めたり、調べたりしたいことを書く。」</p> <p>○レポート 「日常生活や授業で調べたこと、さらにやってみたいことをテーマに、レポートにまとめてまわりの人に伝えよう。」</p> <p><u>研究のしかた</u></p> <p>①テーマを決める。 ②研究の方法を具体的に決め、計画を立てる。 ③調べる。 ④内容を整理する。 ⑤レポートにまとめる。</p>	<p><扱い> ○各学年の巻末に「表現する力を身につけよう」で説明しており、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p> <p><記載例> ○ノート 「あとでふりかえったとき、授業の中でどんなことを考え、どんな筋道で問題を解決したのかがわかるようなノートを目指しましょう。」</p> <p>○レポート 「自分の考えをまとめたり伝えたりするために、レポートをつくってみましょう。レポートにまとめることで、学習したこと以外に新たな発見をしたり、疑問が生まれたりします。それこそが、本当の数学のおもしろさです。」</p> <p><u>レポートの作成</u></p> <p>①興味や関心をもったことをテーマにしよう。 ②資料の収集方法の計画を立てよう。</p>	<p><扱い> ○単元途中に「工夫してノートを書こう」のページを設け、生徒のノートを例示し、書き方の工夫について示している。また、各単元の章末、章の学習の振り返りに関する生徒のノートを例示している。</p> <p><記載例> ○ノート 「問題や課題について、自分で考えたことを残しておこう！」「気になる考えや大切な考えを書きとめよう！」「数学の表現を使おう！」「振り返りやすくするために、レイアウトを工夫しよう！」</p> <p>○レポート 「調べたことをほかの人に伝えるために、レポートを書いてみましょう。」</p> <p>①テーマを選んだ理由と目的 ②方法 ③結果 ④調べてわかったこと</p>	<p><扱い> ○第1学年「データの活用」で調査したことをレポートにまとめた具体例を示している。また、各学年の巻末「自分から学ぼう編」の中で、レポートの具体例を示している。</p> <p><記載例> ○ノート 「ノートには、黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、先生の説明やほかの人の発言でたいせつだったこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。これらのことをノートにまとめると、知識や考えが整理され、理解が深まります。」</p> <p>○レポート 「調べたことや学んだことをレポートにまとめてみましょう。」</p> <p>①考えた理由 ②考えた方法 ③考えた結果 ④感想・わかったこと</p>	<p><扱い> ○「Note」で数学的な表現を書くときの具体的な注意点を示している。また、「調べよう」で、学んだ内容を深める活動を取り上げ、生徒のノートを例示している。</p> <p><記載例> ○ノート 「数学の学習では、前に学習したことを利用して新たな問題に取り組むことがあります。そのため、いつでもふりかえることができるようにノートをくふうして書いておくことが重要になります。」</p> <p>○レポート 「考えたことをほかの人にわかりやすく伝えるために、レポートにまとめるという方法があります。日ごろからさまざまなことに興味・関心をもち、数学で学んだことを使って考えることができそうなものをテーマにしてレポートを書いてみましょう。」</p>	<p><扱い> ○巻末の「対話ノート」は、記入後にノートに貼れるようにしている。</p> <p><記載例> ○ノート 「各自で学習を振り返って、次のようなことをかこう。」</p> <p>①わかったこと ②役に立った考え方 ③よさを感じたこと ④生活との関わり ⑤次にしたいこと、さらに調べたいことなど</p> <p>○レポート 「学んだことや調べたことなどを、レポートにまとめてみましょう。」</p> <p><u>レポートのかき方</u></p> <p>①課題を明確にする ②調べた結果をかく ③まとめや感想をかく</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	5	5	2	5	2	3	5	4
学年	ノート	レポート																	
1	5	5																	
2	5	2																	
3	5	4																	

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	104 数研	116 日文																																																																								
	<p>ること。 ②図や表、式、グラフなどを用いて、読み手がわかりやすいようにくふうすること。」</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	6	2	2	3	2	3	3	3	<p>⑥発表をする・ふり返る。</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	1	3	2	1	2	3	1	2	<p>③資料を集め、整理して分析しよう。 ④自分の考えを整理してまとめよう。 ⑤レポートを発表し、コメントをもらおう。 ⑥よりよいレポートに仕上げよう。</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	5	3	2	4	3	3	5	3	<p>⑤感想」</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	11	1	2	10	1	3	11	1	<p>⑤参考資料」</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	7	3	2	3	2	3	4	2	<p>①テーマをさがす ②資料を集める ③アイデアを出す ④考えを整理する ⑤レポートを書く」</p> <p><記述ページ数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ノート</th> <th>レポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ノート	レポート	1	8	2	2	4	2	3	3	3	
学年	ノート	レポート																																																																													
1	6	2																																																																													
2	3	2																																																																													
3	3	3																																																																													
学年	ノート	レポート																																																																													
1	1	3																																																																													
2	1	2																																																																													
3	1	2																																																																													
学年	ノート	レポート																																																																													
1	5	3																																																																													
2	4	3																																																																													
3	5	3																																																																													
学年	ノート	レポート																																																																													
1	11	1																																																																													
2	10	1																																																																													
3	11	1																																																																													
学年	ノート	レポート																																																																													
1	7	3																																																																													
2	3	2																																																																													
3	4	2																																																																													
学年	ノート	レポート																																																																													
1	8	2																																																																													
2	4	2																																																																													
3	3	3																																																																													

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	理科	5	9

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方 第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強いアルカリ性の湖（タンザニア、ナトロン湖）の写真を掲載。総数3ページで本単元の内容を示している。 ・「これまでに学んだこと」として、3点を示している。 	<p>1 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方 第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県霧島市の大浪池の写真を掲載。総数4ページで本単元の内容を示している。 ・「これまでに学習したこと」として、6点を示している。（写真もあり） 	<p>1 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方 第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水溶液の中の驚異」の1つとして、鍾乳洞の鍾乳石（イタリア）の写真を掲載。総数2ページで本単元の内容を示している。 ・「学びのあしあと」として「酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液を混ぜ合わせると何が起こりますか。図や文章で説明してみましょう。」の問いに対する解答を学習前後で比較させようとしている。 	<p>1 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方 第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津白根山の火口の湖の写真とその湖を水源とする川に石灰岩の粉末を投入している写真を掲載。総数2ページで本単元の内容を示している。 ・「これまでの学習」として「原子・分子（中2）」「静電気と電流（中2）」を再度提示している。 	<p>1 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方 第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾電池2本で長い距離を泳ぐロボットの写真（広島県廿日市市厳島神社）を掲載。総数2ページで本単元の内容を示している。 ・「つながる学び」として、「金属は電気を通す（中1）」「水を電気分解すると水素と酸素に分解される（中2）」等、4点を示している。 <p>※ 動画を見るQRコードあり。</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館
	<p>2 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組を設けている。また各章の関連する内容の横に「これまでに学んだこと」、「(教科名)で学ぶこと」という枠組を設けている。 補充的な学習として単元の中に、基本的な内容を確認するための「学んだことをチェックしよう」、「例題」、「練習」、「確認」を設定している。補充的な問題として単元末に、「確かめと応用」とその「活用編」を設定している。取扱い総ページ数 43.5 (第1学年 14、第2学年 14、第3学年 15.5) 	<p>2 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設けている。また各章の関連する内容の横に「思い出そう」「つながる」という枠組を設けている。 補充的な学習として単元の中に、基本的な内容を確認するための、「例題」、「演習」、「章末問題」を設定している。補充的な問題として単元末に、「単元末問題」と「読解力問題」を設定している。第3学年の巻末に、「学習のまとめ」(1年、2年、3年)を設定している。取扱い総ページ数 41 (第1学年 12、第2学年 12、第3学年 17) 	<p>・「ふり返ろう・つなげよう」として、5点を示している。</p> <p>2 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部に「ふり返ろう・つなげよう」という枠組を設けている。また各章の関連する内容の横に「ふりかえり」「つながり」という枠組を設けている。 補充的な学習として単元末に、「学びを日常にいかしたら」を補充的な問題として設定している。取扱い総ページ数 24 (第1学年 8、第2学年 8、第3学年 8) 	<p>2 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の「学んでいくこと」の中にこれまで学習した内容を示している。また各章の導入部に「これまでの学習」という枠組を設けている。各章の関連する内容の近くに「思い出そう」「ブリッジ算数」「ブリッジ数学」という枠組を設けている。 補充的な学習として単元の中に、基本的な内容を確認するための「例題」、「練習」、「演習しよう」、「要点をチェック」を設定している。補充的な問題として単元末に、「基本問題」を設定し、巻末に、「学年末総合問題」を設定している。取扱い総ページ数 25 (第1学年 8、 	<p>2 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容の横に「つながる学び」という枠組を設けている。また各章の関連する内容の横に「(教科名)と関連」という枠組を設けている。 補充的な学習として単元の中に、基本的な内容を確認するための「例題」、「練習」、「基本のチェック」を設定している。補充的な問題として単元末に「力だめし」を設定している。巻末に、年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。また、第3学年の巻末に、「中学校総合問題」を設定している。取扱い総ページ数 50 (第1学年 16、第2学年 16、

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館
	<p>3 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の総数 85 (1年:25、2年:31、3年:29) 第1学年 身のまわりの気体の性質「二酸化炭素と酸素の性質」での工夫の具体例 基本操作として BTB 溶液の色の変化 実験の安全確保の注意をマークで表示 写真で説明 実験方法をステップ1、2で段階的に提示 結果の見方 考察のポイント 	<p>3 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の総数 76 (1年:23、2年:31、3年:22) 第1学年 身のまわりの気体の性質「二酸化炭素と酸素の性質」での工夫の具体例 着目点を掲載 実験の安全確保を注意として黄色で掲載 イラストで説明 実験を1、2で分けて掲載 結果の整理を掲載 結果から考えよう 	<p>3 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の総数 74 (1年:20、2年:29、3年:25) 第1学年 身のまわりの気体の性質「二酸化炭素と酸素の性質」での工夫の具体例 探究の過程の中で実験を掲載 会話文を活用 実験をA・Bに分けており、二酸化炭素・酸素のどちらが発生するかわからないような提示の仕方 基本操作として7点 安全確保の注意として「ストップ」と表示し、赤と黄色で掲載 写真で説明 結果・考察 この時間のまとめ 	<p>第2学年8、第3学年9)</p> <p>3 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の総数 71 (1年:23、2年:25、3年:23) 第1学年 身のまわりの気体の性質「二酸化炭素と酸素の性質」での工夫の具体例 手順が目的・準備・方法・結果・考察に分かれている 安全確保の注意として「！」マークで表示 イラストで説明 安全確保をマークで提示 考察で2点視点を明記 	<p>第3学年18)</p> <p>3 観察、実験の技能を習得させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の総数 76 (1年:23、2年:28、3年:25) 第1学年 身のまわりの気体の性質「二酸化炭素と酸素の性質」での工夫の具体例 手順が目的・方法・結果・考察に分かれている 安全確保の注意をマークで表示 ステップ1と2で段階的に提示 結果で視点を2つ示す 考察で視点を2つ示す 探究のふりかえり イラストで説明

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ・「つながる科学」「特設ページ」「from Japan 世界につながる科学」というコラムを掲載。</p> <p>2 科学的に探究する力の育成を図る工夫 ・各学年の巻頭に「科学で調べていこう」として探究の過程を示している。</p> <p>1 『『問題発見』レッツスタート！』 2 『『？』課題』 3 『『仮説』課題に対する自分の考えは？』 4 『『構想』調べ方を考えよう』 5 「観察」、「実験」 6 「結果の見方 考察のポイント」「『分析解釈』考察しよう」「『検討改善』解決方法を考えよう」 7 『『！』課題に対する結論</p>	<p>1 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ・「くらしの中の理科」「Science Press」「Professional」「科学のあしあと」というコラムを掲載。</p> <p>2 科学的に探究する力の育成を図る工夫 ・第1学年の巻末の「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <p>1 「問題を見つけよう」 2 「課題をつかもう」 3 「予想や仮説を立てよう」 4 「観察・実験の計画を立てよう」 5 「観察・実験をしよう」 6 「結果を整理しよう」 7 「結果をもとに考えよう」 8 「調べたことをまとめ、発表しよう」 ・「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返る</p>	<p>1 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ・「なぜ理科を学ぶの?」「問題発見」「サイエンスカフェ」「学び続ける理科マスター!」というコラムを掲載。</p> <p>2 科学的に探究する力の育成を図る工夫 ・各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <p>1 「気づき」 2 「課題設定」 3 「仮説」 4 「検証計画」 5 「観察・実験」 6 「結果」 7 「考察」 8 「ふり返り」 9 「伝える」 10 「次の気づき」 ・「問題発見」「しっかり仮説」「しっかり計画」「しっかりふり返り」等のキ</p>	<p>1 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ・「ハローサイエンス」というコラムを掲載。</p> <p>2 科学的に探究する力の育成を図る工夫 ・各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <p>1 「疑問を見つける」 2 「課題を決める」 3 「仮説を立てる」 4 「計画を立てる」 5 「観察する」「実験する」 6 「考察する」 7 「結論を示す」 8 「さらに、新たな疑問を見つける」 ・「疑問から探究してみよう」を各単元に設定し探究の進め方に沿った学習活動を示している。</p>	<p>1 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫 ・「部活ラボ」「お料理ラボ」「防災減災ラボ」「お仕事ラボ」「深めるラボ」「ひろがる世界」「なるほど」というコラムを掲載。</p> <p>2 科学的に探究する力の育成を図る工夫 ・各学年の巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示している。</p> <p>1 「疑問」 2 「課題」 3 「仮説」 4 「計画」 5 「観察」「実験」 6 「結果」 7 「考察」 8 「表現」 ・各単元の1か所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館																																								
	<p>を表現しよう」</p> <p>8 『『ふり返り』探究を振り返ろう』『活用』学びをいかして考えよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ下部に、「問題発見」、「?」、「構想」、「分析解釈」等のキーワードで探究の過程のどの段階を学習しているかを示している。 ・第1学年 巻頭 探究ページ数2 ・イラストを用いて会話文形式で掲載 ・「考察はここをおさえよう」 	<p>う」等のマークの色を変えることで、重点を置く探究の過程を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 巻頭 探究の方法ページ数0.5 ・「理科の学習の進め方」の一部として紹介 ・巻末資料として探究の進め方で2ページ掲載 	<p>ワードで探究の過程の重点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 巻頭 探究の方法ページ数2「探究の進め方」 ・人物のイラストを使用して注意点を示す ・「伝える」、「次の気づき」 	<p>第1学年 巻頭 探究の方法ページ数6.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液を同定する実験の具体例をあげて掲載 ・測定やグラフの書き方。スケッチの方法などもあわせて掲載 	<p>学習活動が行えるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 巻頭 探究の方法ページ数1 ・理科の学習を進める「探究の過程」として掲載 																																								
内容の構成・配列・分量	<p>1 単元の配列の工夫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>270+付録</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>318+付録</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>334+付録</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 学年巻末付録 ページ数2 世界の活火山分布・震源分布ペーパークラフト</p>	学年	総ページ数	1	270+付録	2	318+付録	3	334+付録	<p>1 単元の配列の工夫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>294</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>374</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 学年巻末付録なし</p>	学年	総ページ数	1	294	2	318	3	374	<p>1 単元の配列の工夫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>272+付録</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>288+付録</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>280+付録</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 学年巻末付録 ページ数2 学びの交換 アイデアノート</p>	学年	総ページ数	1	272+付録	2	288+付録	3	280+付録	<p>1 単元の配列の工夫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>314+付録</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>334+付録</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>370+付録</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 学年巻末付録 ページ数2 生物(植物編・動物編)カード</p>	学年	総ページ数	1	314+付録	2	334+付録	3	370+付録	<p>1 単元の配列の工夫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>300+付録</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>316+付録</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>348+付録</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 学年巻末付録 ページ数12 探Qシート</p>	学年	総ページ数	1	300+付録	2	316+付録	3	348+付録
学年	総ページ数																																												
1	270+付録																																												
2	318+付録																																												
3	334+付録																																												
学年	総ページ数																																												
1	294																																												
2	318																																												
3	374																																												
学年	総ページ数																																												
1	272+付録																																												
2	288+付録																																												
3	280+付録																																												
学年	総ページ数																																												
1	314+付録																																												
2	334+付録																																												
3	370+付録																																												
学年	総ページ数																																												
1	300+付録																																												
2	316+付録																																												
3	348+付録																																												

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館																																																												
	2 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫 ものづくりの数、補充的な観察・実験の数	2 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫 ものづくりの数、補充的な観察・実験の数	2 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫 ものづくりの数、補充的な観察・実験の数	2 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫 ものづくりの数、補充的な観察・実験の数	2 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫 ものづくりの数、補充的な観察・実験の数																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくり</th> <th>実験・観察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくり	実験・観察	1	6	33	2	6	39	3	8	34	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくり</th> <th>実験・観察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくり	実験・観察	1	6	35	2	7	44	3	3	34	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくり</th> <th>実験・観察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくり	実験・観察	1	2	18	2	2	21	3	1	16	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくり</th> <th>実験・観察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくり	実験・観察	1	3	39	2	4	42	3	3	28	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくり</th> <th>実験・観察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくり	実験・観察	1	6	45	2	5	48	3	5	33
	学年	ものづくり	実験・観察																																																														
	1	6	33																																																														
	2	6	39																																																														
	3	8	34																																																														
学年	ものづくり	実験・観察																																																															
1	6	35																																																															
2	7	44																																																															
3	3	34																																																															
学年	ものづくり	実験・観察																																																															
1	2	18																																																															
2	2	21																																																															
3	1	16																																																															
学年	ものづくり	実験・観察																																																															
1	3	39																																																															
2	4	42																																																															
3	3	28																																																															
学年	ものづくり	実験・観察																																																															
1	6	45																																																															
2	5	48																																																															
3	5	33																																																															
	発展的な学習の取扱い数	発展的な学習の取扱い数	発展的な学習の取扱い数	発展的な学習の取扱い数	発展的な学習の取扱い数																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>発展的な学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	学年	発展的な学習	1	13	2	26	3	31	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>発展的な学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	学年	発展的な学習	1	19	2	28	3	39	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>発展的な学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	学年	発展的な学習	1	12	2	11	3	13	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>発展的な学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	学年	発展的な学習	1	17	2	29	3	32	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>発展的な学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	学年	発展的な学習	1	19	2	23	3	27																				
	学年	発展的な学習																																																															
1	13																																																																
2	26																																																																
3	31																																																																
学年	発展的な学習																																																																
1	19																																																																
2	28																																																																
3	39																																																																
学年	発展的な学習																																																																
1	12																																																																
2	11																																																																
3	13																																																																
学年	発展的な学習																																																																
1	17																																																																
2	29																																																																
3	32																																																																
学年	発展的な学習																																																																
1	19																																																																
2	23																																																																
3	27																																																																
	1 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ・第1学年の巻頭は、毎日の生活の中にある科学についての紹介、探究の流れと教科書の使い方についての説明、科学の有用性、議論の進め方、発表の仕方についての説明、目次、インターネットを	1 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ・第1学年の巻頭は、象の写真と獣医師の紹介文、目次、理科の学習の進め方、理科室のきまり等の8ページである。また、第3学年の巻末は、自由研究にチャレンジしよう!、行ってみよう!科学	1 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ・第1学年の巻頭は、馬渡川のサクラ並木の写真、目次、「なぜ理科を学ぶの?」として、科学の有用性についての紹介、理科の学び方についての説明、主体的・対話的に深く学ぶことの説明等の	1 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ・第1学年の巻頭は、目次とマークの説明、自然の探究～なぜ理科を学ぶのか～、科学者列伝、探究の進め方、レポートの書き方、理科室のきまりと応急処置等の11ページである。また、第3学年	1 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ・第1学年の巻頭は、アンテロープ・キャニオンの写真、探究の過程の説明、この教科書の使い方、目次の8ページである。また、第3学年の巻末は、学年末総合問題、中学校総合問題、サイエンス資																																																												
	内容の 表現・表記																																																																

発行者 観点	2 東書	4 大日本	1 1 学図	1 7 教出	6 1 啓林館
	<p>活用した学習の紹介、教科書で使われているマークの説明、理科室の決まりの12ページである。また、第3学年の巻末は、理科室の決まり、薬品のとりあつかいの注意、基礎操作、理科の学習を深めよう、科学史年表、さくいん等の16ページである。</p>	<p>館・博物館、科学館で働く人のインタビュー、学習のまとめ(第1～第3学年)、理科室のきまり、基本操作、つながる理科の学習と算数・数学、周期表、ノーベル賞、さくいん、科学のあゆみ等の39ページである。</p>	<p>24ページである。また、第3学年の巻末は、資料学校外で調べよう!(日本国内の動物園、植物園、科学館、博物館、水族館等の紹介)、さくいん、オーロラの写真等の11ページである。</p>	<p>の巻末は、学年末総合問題、自由研究、巻末資料(校外施設の紹介)、基礎技能、教科書に記載されている主な物質・試薬の一覧、理科で使う算数・数学、単位について、探究の歴史、ノーベル賞を受賞した日本人科学者、周期表、さくいん等の35ページである。</p>	<p>料(探究もフェアプレイで、自由研究テーマ例、スマートグリッドのしくみとプログラミング、南海トラフでの地震に向けて、理科でよく使う算数・数学、近代科学・技術の発展、歴代のノーベル賞受賞者年表、教科書に登場するおもな物質や薬品の性質)、さくいん、探Qシートの使い方、探究の流れとふり返り等の33ページである。</p>
言語活動の 充実	<p>1 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ○観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方 ・「構想 調べ方を考えよう」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果の見方」、「考察のポイント」、「分析解釈して考察しよう」等により、分析・解釈する視点として</p>	<p>1 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ○観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方 ・「計画を立てよう」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果の整理」「結果から考えよう」等により、分析・解釈する視点として示している。</p>	<p>1 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ○観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方 ・「計画」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果『結果』の見方・考え方」、「考察『考察』の見方・考え方」等により、分析・解釈する視点として示している。</p>	<p>1 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ○観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方 ・「計画を立てる」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果」、「考察する」等により、分析・解釈する視点として示している。</p>	<p>1 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ○観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方 ・「計画」等で観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察」等により、分析・解釈する視点として示している。</p>

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館																		
	<p>示している。</p> <p>2 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫</p> <p>○レポートの数と作成の示し方及び話合いや説明の学習活動の示し方</p> <p>・各学年で観察・実験の基礎操作として「レポートの書き方」の具体例を示している。項目として、「タイトル」「実施した人や実施日の情報」「目的」「準備した物」「方法」「結果」「考察」を示している。第2学年、第3学年では「私のレポート」としてレポートの具体例を提示している。3年間で示されているレポートの例は、12である。</p> <p>(表) 学年別内訳</p> <table border="1" data-bbox="320 1278 658 1377"> <thead> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年の巻頭に、「考えが異なったら、考えを言葉</p>	第1学年	第2学年	第3学年	2	4	6	<p>2 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫</p> <p>○レポートの数と作成の示し方及び話合いや説明の学習活動の示し方</p> <p>・第1学年の巻末に、「ノートやレポートの書き方」を設定し、「観察・実験ノートの書き方」を示している。項目として、「観察や実験のテーマ」「実験日、天気、氏名など」「目的」「予想や仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」を示している。第1学年の巻末に、「レポートの書き方」として、の具体的なレポートの例を示している。また、第1学年、第3学年で「私のレポート」として、レポートの具体例を提示している。3年間で示されているレポートの例は、6である。</p>	<p>2 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫</p> <p>○レポートの数と作成の示し方及び話合いや説明の学習活動の示し方</p> <p>・第1学年の観察・実験の2か所には、基本操作として「レポート・ノートのかき方」の具体例を示している。観察レポートの項目として、「目的」「準備」「方法」「結果」「考察」を示している。実験レポートの項目として「課題」「仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」「ふり返り」を示している。他にもレポートのはじめには「観察(実験)のテーマ、観察(実験)日、天気、気温、学年・組名前」を書くように示している。</p> <p>・各学年の巻頭においても「レポートのかき方」を</p>	<p>2 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫</p> <p>○レポートの数と作成の示し方及び話合いや説明の学習活動の示し方</p> <p>・各学年の巻頭に、基礎技能として「レポートの書き方」を示している。項目として「目的」「仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」「疑問」を示している。他にも「実験日や観察日、天気、学級、氏名」を書くよう示している。</p> <p>・各学年で「私のレポート」として、レポートの具体例を提示している。3年間で示されているレポートの例は、15である。</p> <p>(表) 学年別内訳</p> <table border="1" data-bbox="1415 1326 1753 1425"> <thead> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・課題や仮説の設定、観</p>	第1学年	第2学年	第3学年	7	4	4	<p>2 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫</p> <p>○レポートの数と作成の示し方及び話合いや説明の学習活動の示し方</p> <p>・各学年で「わたしのレポート」として、レポート全部または一部の具体例を提示するとともに、レポートの書き方として、レポート作成の要点等を提示している。一部の具体例にはレポート作成のチェックリストを提示している。3年間で示されているレポートの例は、18である。</p> <p>(表) 学年別内訳</p> <table border="1" data-bbox="1780 1182 2119 1281"> <thead> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第1学年、第2学年の巻末に、「サイエンス資料」を設定し、「理科における話し合いと発表」にお</p>	第1学年	第2学年	第3学年	5	6	7
第1学年	第2学年	第3学年																					
2	4	6																					
第1学年	第2学年	第3学年																					
7	4	4																					
第1学年	第2学年	第3学年																					
5	6	7																					

発行者 観点	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館												
	<p>にして議論しよう」を設定し「議論の進め方」として6点、「議論のポイント」として4点の視点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭に、「伝わる言葉にしよう 発表のしかた」を設定し、第1学年、第2学年では、「みんなの前で発表するときのこつ」として3点、「プレゼンテーション資料を作るときのコツ」として3点、「情報収集のこつと参考文献」として2点、第3学年では3点の視点を示している。 	<p>(表) 学年別内訳</p> <table border="1" data-bbox="683 263 1023 363"> <thead> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年の巻末に、「探究の進め方」を設定し、「結果をもとに考えよう」において、「話し合いのしかた」として5点、「発表のしかた」として3点の視点を示している。また、「調べたことをまとめ、発表しよう」において、3つの手順を示している。 「話し合おう」というキーワードを用いて、話し合い活動を設定している。 	第1学年	第2学年	第3学年	5	0	1	<p>示している。また全学年で、「実験レポート」等として、レポートの具体例を提示している。3年間で示されているレポートの例は、19ある。</p> <p>(表) 学年別内訳</p> <table border="1" data-bbox="1046 555 1386 655"> <thead> <tr> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭に、「発表のしかた」を設定し、第1学年では5点、第2学年、第3学年では2点の視点を示すとともに、「発表スライドのつくりかたの例」として4つの手順を示している。また、各学年の巻頭に、「主体的・対話的に、深く学ぶ」を設定し、「どうやったら対話的になるの」において、第1学年では7点、第2学年、第3学年では5点の視点を示している。 	第1学年	第2学年	第3学年	3	6	10	<p>察・実験の立案、結果の処理、考察場面において、「話し合おう」というキーワードを用いて話し合い活動を設定している。</p>	<p>いて、4つの手順を示している。「対話する」では、「相手に話す」「相手の考えを聞く」「グループで話し合う」について説明がある。また、「対話の方法の例」として、第1学年では「ブレインストーミング」、第2学年では「ジグソー法」が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」というキーワードを用いて、話し合い活動を設定している。
第1学年	第2学年	第3学年															
5	0	1															
第1学年	第2学年	第3学年															
3	6	10															

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（一般）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	17 教出	27 教芸
基礎・基本の 定着	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に続く学びのユニットのページに、題材を「学びのユニット」として表記し、題材名を「ユニット名」として示している。 <p>2 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の「Let's Sing」で、キャラクターのセリフで留意点等について示している。 <p>3 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音のスケッチ」として、各学年2つずつの創作の活動を取り上げている。 	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。 <p>2 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の「My Voice!」で声の出る仕組みについて、図1、図2を用いて説明している。 <p>3 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Let's Create」「My Melody」として、各学年2つずつの創作の活動を取り上げている。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感じ取った曲想について」及び「表現を工夫したい点について」をまとめる表の横に、キャラクターの吹き出しで「女声パートを男声パートが追いかけるようになっているのね。」「『生命が羽ばたくとき』の強弱は、mp→mf→f しいに強くなっていくんだね。」と示している。 <p>2 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、学習資料等を11か所にわたって掲載している。 	<p>1 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したい点についてまとめる際の注目するポイントとして「リズム、テクスチュア（音の重なり方）、強弱、構成」を示し、キャラクターの吹き出しで、「『翼をください』の歌い出しの旋律は、なだらかな音の動きだから、落ち着いた雰囲気でも歌いたいな。」「そうだね。伴奏も、4分音符のリズムで静かな感じ。」「でも、強弱記号は歌も伴奏もmfだから、弱々しくしないで、旋律を滑らかに歌いたいな。」「そのためには、息の流れに歌声をのせるイメージで歌えるといいね。」と示している。 <p>2 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を、15か所にわたって掲載している。

発行者 観点	1 7 教出	2 7 教芸
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏曲，尺八曲，雅楽，歌舞伎，能，文楽，日本の民謡を，鑑賞教材，歌唱教材として示している。 <p>2 教材の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも，歌唱教材，創作，鑑賞教材の順で配列している。その後，「深めてみよう」の歌唱教材・鑑賞教材，合唱曲集，国歌「君が代」，楽典，資料の順で配列している。 	<p>1 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏曲，尺八楽，雅楽，歌舞伎，能，文楽，日本の民謡を，鑑賞教材，歌唱教材として示している。 <p>2 教材の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は，歌唱教材，鑑賞教材，合唱曲集，楽典，国歌「君が代」の順で配列しており，創作については，関連する歌唱教材及び鑑賞教材の後に配列している。 第2・3学年は，歌唱教材，創作，鑑賞教材，合唱曲集，楽典，国歌「君が代」の順で配列している。
内容の 表現・表記	<p>1 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのユニット」の図において，「学びの手がかりとなるヒント」として，題材で扱う音楽を形づくっている要素を濃い色で示している。 ・第1学年及び第2・3学年上の「どんな特徴があるかな？」のページに，音楽を形づくっている要素の内容を，「きらきら星変奏曲」を用いて文章で説明している。 	<p>1 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を，見開き左ページ下に示している。 ・資料のページに，音楽を形づくっている要素の内容を図や音楽記号で説明し，掲載している。
言語活動の 充実	<p>1 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春」の鑑賞活動で，「ソネットと音楽の関わりで，いちばんおもしろいと思ったところを，みんなに紹介する文章を書いてみよう。」と示している。 ・気がついたことや感じ取ったことを記録する欄がある。 	<p>1 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この曲のどのようなところによさを感じましたか。また，その理由も発表し合いましょう。」と示している。キャラクターの吹き出しでは，「B」でヴァイオリンの独奏が小鳥の鳴いている様子をまねているのが印象的でした。「爽やかな部分と激しい部分の対比がかっこいいと思いました。」と示している。 ・「春」の鑑賞活動で，「音楽を聴き，それぞれの部分について，聴き取ったことと，感じ取ったことを書き入れましょう。」と示し，記入する表がある。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（器楽合奏）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	17 教出	27 教芸
基礎・基本の 定着	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次ページに、「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」と示している。 ・リコーダーのページでは、見開きごとに「学びのねらい」を示し、教材曲ごとに、「学びのポイント」を示している。 <p>2 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の各部の名称、姿勢とかまえ方、奏法等を写真や図で順序立てたり、手を大きく写したりして示している。 	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。 ・リコーダーの「アンサンブルセミナー」のページでは、見開きごとに「学習目標」を示し、教材曲ごとに、「活動文」を示している。 <p>2 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の各部の名称、姿勢とかまえ方、奏法等を写真や図で示している。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「打楽器」、「リコーダーの運指表」、「ギター&キーボード コード表」、「いろいろな用語、記号」を掲載している。 <p>2 和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫（箏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏者を正面から見た角度と上から見た角度の写真を掲載している。親指による基本的な奏法について説明している。 ・「音のスケッチ」として、平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を創作する活動を設定している。 	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本音楽の楽器編成」、「バンドの世界をのぞいてみよう」、「リコーダーの運指表」、「ギター/キーボード コード表」、「楽器の図鑑」、「音楽の約束」、「楽しもう！和楽器の音楽」を掲載している。 <p>2 和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫（箏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏者を正面から見た角度と上から見た角度の写真を掲載している。親指、中指、人さし指による基本的な奏法について説明している。 ・「My Melody」として、都節音階と律音階のどちらかを選んで旋律をつくる活動を設定している。
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 教材の分量及び構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。 	<p>1 教材の分量及び構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。

発行者 観点	17 教出	27 教芸
	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八・打楽器（5種類）を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八・打楽器（15種類）を取り上げている。
内容の 表現・表記	<p>1 [共通事項] の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合わせて演奏しよう」のページでは、曲名の下に「主旋律と他の旋律との関わりを意識して表現を工夫しよう。」「拍子や速度などが生み出す雰囲気味わいながら演奏しよう。」等と示している。 ・唱歌の説明とともに、尺八、箏、三味線、太鼓の唱歌の例を示している。キャラクターによるセリフで、「実際に唱歌を唱えてみましょう。」と示している。 	<p>1 [共通事項] の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンサンブルセミナー」のページでは、曲名の下に「アーティキュレーションを参考にしながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。」と示しており、見開き左ページ下に、学習内容に即した音楽を形づくっている要素を示している。 ・『『六段の調』から“四段”』において、「唱歌を歌ったり楽器を弾いたりしながら、箏の音楽の特徴を感じ取りましょう。」と示している。「唱歌を歌ってみよう」では、歌うときのポイントを3つ示している。
言語活動の 充実	<p>1 器楽分野における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合わせて演奏しよう」（音のスケッチ）では、学びのポイントを「楽器の音色（おんしょく）や響きを生かし、全体の構成を工夫しながら表現しよう。」と示している。また、「グループに分かれて基本形を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合って確認しておきましょう。」「基本形に慣れたら、オプションパート伴奏A～伴奏Dから選んで加えて演奏してみよう。」と言語活動のポイントや演奏の際に工夫する視点を示している。 	<p>1 器楽分野における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう」では活動文で「アーティキュレーションを参考にしながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。」と示している。学習過程①、②が示され、「①で感じ取ったことをもとに、友達と話し合いながら曲全体のアーティキュレーションを決め、2つのパートに分かれて演奏しましょう。」と、キャラクターの吹き出しで「長くのばす音にはどんなアーティキュレーションを使えばいいかな?」「アイデアを楽譜に書いておくと演奏に役立つね。」など示している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	美術	3	10

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
基礎・基本の 定着	<p>1 題材の目標等の示し方 ○題材を通して、身につけたい力を学習の3つの目標として、「知識や技能に関する目標」、「思考力・判断力・表現力に関する目標」、「学びに向かう力に関する目標」をマークとともに示している。</p> <p>2 [共通事項]を視点とした学びの示し方 ○「学習のポイント」や学習の進め方を示すコーナーに、[共通事項]に着目するよう促すコメントを載せている。</p> <p>3 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫 ○巻末の「学びの資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p>	<p>1 題材の目標等の示し方 ○題材名の下に、題材で身につける力を目標として、「表現」と「鑑賞」の領域ごとに示している。 ○活動のきっかけとなる問いや手立てを、「鑑賞」と「表現」のアイコンとともに示している。</p> <p>2 [共通事項]を視点とした学びの示し方 ○[共通事項]を視点とした活動を促す文を、「表現」と「鑑賞」の活動のはじめに載せている。</p> <p>3 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫 ○巻末の「学習を支える資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p>	<p>1 題材の目標等の示し方 ○題材で身につけたい力を3つの「学びの目標」として、「造形的な見方を豊かにする視点や、技能に関する目標」、「発想や構想、鑑賞に関する目標」、「主体的に学習に取り組むための目標」をマークとともに示している。 ○題材名とともに、学習する目的を示している。</p> <p>2 [共通事項]を視点とした学びの示し方 ○題材ごとに、[共通事項]に着目するよう促す文を「造形的な視点」の吹き出しで示している。</p> <p>3 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫 ○巻末の「学びを支える資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。</p>

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○冒頭に、表紙と連動した「発見と創造」【1】「探究と継承」【2・3】と題するページを設けている。</p> <p>○作家や生徒の作品とともに、生徒の活動の様子を写真で示している。</p> <p>○作品全体を大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。</p> <p>2 表現と鑑賞の関連を図った学習活動</p> <p>○表現と鑑賞のページをそれぞれ独立して示している。</p> <p>3 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫</p> <p>○生活や社会とのつながり、美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。</p> <p>○デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸で学ぶこと」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示し</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○1年冒頭及び2・3年冒頭・巻末に谷川俊太郎氏の文章「うつくしい！」を載せている。</p> <p>○作家や生徒の作品とともに、生徒の制作過程を「みんなの工夫」と題して、作品の出来上がりまでを載せている。</p> <p>○作品全体を大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。</p> <p>○「最後の晚餐」のページの前に、消失点を探すためのトレーシングペーパーを添付している。【2・3】</p> <p>○一部の作品を材質の違う紙に印刷している。</p> <p>2 表現と鑑賞の関連を図った学習活動</p> <p>○一つの題材の中で、「表現」と「鑑賞」のアイコンを掲載し、相互に関連した学習の流れを示している。</p> <p>3 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫</p> <p>○生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。</p> <p>○デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインってなんだろう？」の特設ページを設け、生活の中の美術の働きを一日の流れで示し</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○冒頭に「この教科書で学ぶみなさんへ・目次」を掲載している。</p> <p>○作家や生徒の作品とともに、生徒の活動の様子を写真で示している。</p> <p>○作品全体を大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。</p> <p>○「学びを支える資料」の中に、作家の紹介とともに発想・構想の手立てを掲載している。</p> <p>2 表現と鑑賞の関連を図った学習活動</p> <p>○一つの題材の中で、表現と鑑賞の活動を表すインデックスを掲載し、相互の学習の関連を示している。</p> <p>3 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫</p> <p>○生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。</p> <p>○デザインや工芸等の題材のはじめに「人の暮らしを豊かに」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。</p>

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>ている。【1】【2・3】</p> <p>○3年間の学習をまとめとして、「美術の力を生かして社会とかかわる」の特設ページを設け、実例とともに社会における美術の役割等を示している。【2・3】</p>	<p>ている。【1】</p> <p>○「学習を支える資料」の中に、“地域と美術とのつながり”や“美術の力”と題したページを設け、社会における美術の働き等を示している。【2・3】</p>	<p>【1】</p> <p>○「社会に生きる美術の力」の特設ページを設け、異なる分野で活躍する3名の言葉を紹介し、美術の学びと生活や社会とのつながりを示している。【2・3下】</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 題材の配列</p> <p>○「美術1」、「美術2・3」の2冊で構成されている。</p> <p>○A4判よりも横に2cm広いA4ワイド判である。</p> <p>○題材を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 【1】8頁分 【2・3】11頁分 ・「デザインや工芸など」 【1】9頁分 【2・3】14頁分 ・「鑑賞」 【2・3】14頁分 	<p>1 題材の配列</p> <p>○「美術1」、「美術2・3」の2冊で構成されている。</p> <p>○題材を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 【1】9頁分 【2・3】14頁分 ・「デザインや工芸など」 【1】8頁分 【2・3】8頁分 	<p>1 題材の配列</p> <p>○「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3冊で構成されている。</p> <p>○A4判よりも横に2cm広いA4ワイド判である。</p> <p>○題材を分野等に分けて配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻など」 【1】10頁分 【2・3上】9頁分 【2・3下】10頁分 ・「デザインや工芸など」 【1】9頁分 【2・3上】9頁分 【2・3下】7頁分

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
内容の 表現・表記	<p>1 作品等についての示し方の工夫</p> <p>全本共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材のメインタイトルの横に学習の目標の3本柱を示している。 ○美術1、美術2・3に分けている。 <p>美術1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目次には、絵や彫刻で学ぶこと（ピンク）、デザインや工芸で学ぶこと（水色）、学びの資料（薄緑）表現（黄土色）、鑑賞（紫）に分けて示している。また、目次と教科書に使われているマークについての解説を示している。 ○p 2、3 高村光太郎の作品を取り上げ作品の解説を表記している。 ○p 4『図画工作から美術へ』と表記している。 ○p 5～7が続きページになっており、「学びの地図 形と色彩の冒険に出よう！」に絵、彫刻、デザイン、工芸、鑑賞のそれぞれの授業風景の写真と解説を示している。 ○説明文書の出だしに「美術は、形と色彩で自分の世界を創造する学習です。」と表記している。 ○全体を通して、「学習のポイント」を呼びかけの形式で示している。 	<p>1 作品等についての示し方の工夫</p> <p>全本共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材のメインタイトルの下に目標を示している。 ○美術1、美術2・3に分けている。 ○1 題材の学習活動に表現と鑑賞の活動を示すコメントがある。 <p>美術1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目次には、絵や彫刻など（ピンク）、デザインや工芸など（水色）、学習を支える資料（薄緑）に分けて示している。また、教科書の中で使われている主なマークの解説を示している。 ○キャラクター（中学生男女、解説する人物）が吹き出しで美術に関することを示している。 ○p 2～4が続きページになっており、谷川俊太郎氏の文章「うつくしい！」とともに、生徒が撮影した写真とコメント等を掲載している。 ○p 8、9「美術で学ぶこと」には、「中学校3年間で学習すること」、「教科書を活用しよう」、「ノートやスケッチブックを活用しよう」のテーマごとに、生徒の学習の様子と解説文、スケッチブック等を掲載している。 ○図画工作と美術のそれぞれの活動の様子、作品の写真と解説文を掲載している。 	<p>1 作品等についての示し方の工夫</p> <p>全本共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材のメインタイトルの上にサブタイトルで活動や目的を示している。横に学びの目標の3本柱を示している。 ○美術1、美術2・3上、下に分けている。 <p>美術1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目次には、絵や彫刻など（水色）、デザインや工芸など（ピンク）、学習を支える資料（緑）に分けて示している。また、教科書のマークについて解説を示している。 ○p 2～4が続きページになっており、アニメの風景画と解説文を掲載している。 ○p 5～7が続きページになっており、「学びの言葉」では、シンガーソングライター松任谷由美の写真とメッセージを掲載している。 ○p 6、7「中学校美術の世界へようこそ」には、図画工作から中学校美術1～3年の概要を教科書に掲載し、生徒作品と生徒の制作活動の写真を示している。 ○生徒作品の下に見出しとどの教科書に掲載しているかを示している。 ○作品の写真に「造形的な視点」の吹き出しをつけ、コメントを示している。

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>《絵や彫刻など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現の題材と鑑賞の題材に分けて示している。 ○テーマの横に学習の目標として知・思・学の3つを示している。 ○生徒作品、作家の作品を取り上げ、制作風景とともに作者の言葉で示している。 ○絵や彫刻で学ぶことをそれぞれのテーマとして表記している。「見ることからの発見」「心ひかれる風景」「写し取る形」「人の姿・動き」「よみがえる材料」「生命力を感じて」等 ○鑑賞では伊藤若冲の世界を取り上げている。p25～p28 見開きページには、伊藤若冲の樹花鳥獣図屏風の全体及び一部原寸大の写真と解説を示している。 ○「私にとってつくること」では、4人の作家の作品と作家の言葉を示している。 <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最初に学習の流れを提示し、生徒の活動ごとに写真等とコメントを示している。 ○社会、生活の中で使われているデザインや工芸を写真で取り上げ、作者の言葉も同時に掲載している。 ○デザインや工芸で学ぶ意図を表現している。「あったらいいなを形に」「形と色彩のメッ 	<p>《絵や彫刻など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1題材に表現と鑑賞のページに分けて示している。 ○テーマの下に目標を示している。 ○生徒作品の写真、作品制作段階ごとの写真、制作風景の写真と各コメントを掲載している。 ○表現のページにも「鑑賞」と表記し、生徒作品、作家の作品の写真を掲載している。 ○鑑賞p19、20が材質の違う紙に印刷をしている。 ○p31～34見開きページには、俵屋宗達の風神雷神図屏風の写真を掲載している。また、閉じると蓮華王院三十三間堂の風神・雷神の像の写真を掲載している。 <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「デザインって何だろう？」では一日の流れを示し、それに関係するデザインされたものの写真とコメントを掲載している。 ○「生活をいろいろ文様」では、5枚4グループの文様の写真と解説を掲載している。また、文様の制作風景と作品の制作過程の写真とコメントを掲載している。 	<p>《絵や彫刻など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1題材に表現と鑑賞について示している。 ○テーマの横に学びの目標3つを示している。 ○生徒作品・作家の作品と制作風景とともに、作者の言葉を掲載している。 ○「試しながら、発想をひろげよう」では、筆使いの写真とスケッチブックの写真と解説文を掲載している。 ○鑑賞の導入の「鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう」では、作品と活動風景の写真を掲載している。 ○「美のタイムトラベル」のページに遮光器土偶の原寸大の写真と解説文を掲載している。 ○p34～37見開きページで尾形光琳の燕子花図と解説文を掲載している。閉じるとp32、33 俵屋宗達の風神雷神図屏風の写真と解説文を掲載している。 <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに」では、「飾る」、「伝える」、「使う」の3つのグループに分けて、作品と制作風景の写真とコメントを示している。 ○「広がる模様の世界」日本・イギリス・ブラジルの伝統文様の写真、生徒作品、活動風景の写真と解説文を掲載している。

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>ページ「模様のデザイン」「ロゴマークで印象づける」「機能と美しさの調和」「紙でつくる」「木を暮らしに生かす」「祭りの造形」等</p> <p>《学びの資料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料、用具の写真と制作中の写真と使い方の図とともに解説文を示している。 ○美術の制作活動、作品制作の段階ごとの写真を取り上げ、各技法の写真に解説文で示している。 ○p 62～64 続きページで、「色を学ぶ、色を知る」として色彩について季節の違う風景写真や色相環、色の組み合わせを示している。 ○p 65～67 続きページで美術館の外観の写真と紹介文と展示風景の写真を掲載している。 <p>美術2・3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○p 2～4 見開きになっている。 ○「探究と継承」のテーマで日本文化財とそれ 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科とのつながりについて、作品の写真と解説文を掲載している。 p 37、43、45、53、55 ○生徒作品、工芸作品とそれらが使われている様子の写真及び作者の言葉を掲載している。 <p>《学習を支える材料と用具》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料、用具の使い方を写真とコメントで示している。 ○技法と用語を制作の様子の写真と解説で示している。 ○p 76～78 続きページで、「色や光の特徴を知ろう」として、モネの積みわらの作品の写真と色相環、色の組み合わせを示している。 ○美術館の活用方法を写真と解説文で示している。 ○最後のページに、フェルメールの地理学者の作品の写真を掲載している。 <p>美術2・3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○p 2～4 見開きになっている。「うつくしい！」谷川俊太郎の文を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○p 42～45 社会の中で使われている絵文字、ロゴ、シンボルマークの写真と解説文を掲載している。 ○p 48、49「わくわくコミュニケーション」生徒作品とコメントを掲載している。 <p>《学びを支える資料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○材料、用具の写真と制作中の写真と使い方の図を解説文で示している。 ○技法と用語を制作の様子の写真と解説で示している。 ○p 70～72 続きページで、色彩の基本・仕組みについて、ゴッホの種まく人の作品の写真や食品の写真と色相環、色の組み合わせを示している ○p 73～75 続きページである。 ・p 73 は日常の写真と美術の関係を解説文で示している。 ・p 74、75「美術館へ行こう」では、「なんだ?」「取り組み」「いろいろ」に分類し、美術館の写真と生徒の活動の写真と解説文で示している。 <p>美術2・3上、下</p> <ul style="list-style-type: none"> ○p 2～3 続きページになっている。上は、ゴッホ、モネの作品の一部を原寸大の写真、下

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>に携わっている人の仕事の様子を写真で取り上げ、それごとに解説文で示している。</p> <p>○ p 5 目次 1年と同様</p> <p>○ p 6、7 「暮らしに生きる美術」</p> <p>・落語家、保育士、パティシエ、鬼師の写真を掲載し、美術の授業との関わりを自身の言葉で示している。</p> <p>《絵や彫刻など》</p> <p>○作家、生徒の作品を取り上げ、作品解説と作家の言葉で示している。</p> <p>○スタイルの違う作品の写真を取り上げ、それぞれの表現について解説を示している。</p> <p>○表現することをテーマとして表記している。「想像の世界を表す」「形と色彩が織りなすイメージ」「版表現の可能性」「生命感あふれる表現」等</p> <p>○「風景が語るもの」「自分と向き合う」は各4ページ分使っている。生徒作品、作家作品と制作風景の写真を掲載している。</p> <p>○学習のポイントを示している。</p> <p>○ゴッホの自画像の一部を原寸大で示している。</p> <p>《鑑賞》</p> <p>○鑑賞学習の流れを3段階で解説している。</p> <p>○日本と世界の時代ごとの作品の写真を取り上げ、作品の解説を示している。</p> <p>○ p 41～44 見開きページで屏風絵を取り上げ、</p>	<p>・阿修羅像（興福寺 国宝）の全体像、正面（原寸大）と部分の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○ p 5～7 を続きページ、p 5 目次 1年と同様</p> <p>《絵や彫刻など》</p> <p>○風景に思いを重ねて p 6～9</p> <p>・ p 6 パウル・クレーのニーゼン山の作品（原寸大）と実際の写真と解説文を掲載している。</p> <p>・表現、発想構想を写真とコメントで示している。</p> <p>・ p 8 制作段階の写真と制作風景の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○レオナルドとその時代 p 10～p 15</p> <p>・最後の晩餐の部分の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○北斎からゴッホへ p 24～29</p> <p>・ p 26 神奈川沖浪裏（原寸大）の写真を掲載している。</p> <p>・ゴッホの4枚の作品の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○「ゲルニカ、明日への願い」 p 48～55</p> <p>・ p 49～52 見開きページにゲルニカの写真と解説文を掲載している。ページを閉じると、「ゲルニカ」を見る少年の写真を掲載している。</p>	<p>はアントニオ・ガウディのサクラダ・ファミリア聖堂の降誕のファサードの部分の写真と上下それぞれのテーマとコメントを掲載している。</p> <p>○生徒の作品と活動中の写真にコメントを示している。</p> <p>《絵や彫刻など》</p> <p>○ p 10、11 「瞬間の美しさを形に」では、一瞬の動きを示した彫刻作品の写真とコメントで示している。</p> <p>○「視点の冒険」では、いろいろな方向から見た写真と生徒作品にコメントを掲載している。</p> <p>○「動き出しそうな動物たち」では、彫刻の作品に作者の言葉を掲載している。</p> <p>○ p 17 「アイデアスケッチから発想を広げよう」では、生徒作品とコメントを掲載している。</p> <p>○上の p 26～29 見開きページで、p 26 写楽、p 27 歌麿の浮世絵の写真、p 28、29 に神奈川沖浪裏の原寸大の写真を掲載している。</p> <p>○ p 25 浮世絵の制作工程の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○下の p 26～29 見開きページでは、p 26～28 がピカソのゲルニカの写真と女子中学生の</p>

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>金と墨の表現について示している。</p> <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会、生活の中で見るデザインされたものの写真を取り上げ、解説文を掲載している。 ○生徒作品の写真を取り上げ、作者の言葉及び表現意図を示している。 ○題材に伝えたいことをテーマにしているものがある。「ピクトグラムとサイン計画」「ポスターで伝える」「誰にでもわかりやすく伝える」「パッケージで魅力を伝える」等 ○5つの題材 10 ページ分に伝統工芸の作品の写真と解説文を掲載している。 <p>《まとめ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美術の力を生かして社会とかかわることをテーマで示している。 ○p 94～96 が続きページになっている。 ・ p 94、95「ゲルニカで伝えなかったこと」では、ゲルニカに関する資料の写真と解説文を掲載している。 ・ p 96「美術で世界と向き合う」では、池田学の作品と解説文を掲載している。 ・ p 97～100 が見開きページになっている。 ・ p 97、98 は池田学の作品の写真、p 99、100 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピカソとゲルニカに関係する写真と解説文を掲載している。 <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞では、作品の写真と解説文を掲載している。表現では生徒の写真と制作の過程の活動写真とコメントを掲載している。 ○社会の中にあるデザインされたものの写真と解説文を掲載している。 ○分かりやすく情報を伝えるでは、ピクトグラムと解説文を掲載している。 ○「季節感のある暮らしを楽しむ」では、伝統工芸の作品と解説文を掲載している。 <p>《学習を支える材料と用具》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「発想を広げる」では、発想を広げるための4つ方法について、図、写真、スケッチ、イラストと解説文で示している。 ○制作活動について、使う用具と活動の様子の写真、図、解説文で示している。 ○制作方法を制作中の手元の写真と解説文で示している。 ○色の違いで見方が変わることを複数の写真とコメントで示している。 ○美術史年表 p 94～p 96 続きページで写真と 	<p>シルエットを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下の p 14、15 では、生徒の共同作品と制作風景、アイデアスケッチ、絵コンテと解説文を掲載している。 <p>《デザインや工芸など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒、作家の作品と制作風景の写真と解説文を掲載している。 ○社会の中で使われているデザインされた作品、製品と実際に使われている写真と解説文を掲載している。 ○生徒作品と制作風景、学校内展示の写真と解説文を掲載している。 ○「心がほっとなごむもの」では、工芸品と生徒作品の写真を掲載している。 <p>《学びを支える資料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用具、材料の写真と制作中の写真と使い方の図を示し、解説文で示している。 ○技法と用語を制作工程の写真と解説文で示している。 ○p 60～p 63 美術史年表と時代ごとの美術作品の写真と解説文を掲載している。 ○「色彩の特徴を深く知る」日本の伝統色では、四季に合わせた日本の伝統色と名称を掲載している。

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<p>はダミアン・ハーストの作品と展示会場の写真を掲載している。</p> <p>《学びの資料》</p> <p>○作品制作に必要な技法と用具を写真と図で示している。</p> <p>○美術の歴史年表にその時代の作品の写真と解説文を示している。</p> <p>○最後のページに「未来に向かって」の文章を掲載している。</p>	<p>解説文で示している。</p> <p>○日本の伝統工芸 p 97～ p 99 続きページで全国各地の工芸品の写真と県名を掲示している。</p> <p>○最後のページに谷川俊太郎の「うつくしい！」の文章を掲載している。</p>	<p>○下の p 48、49 火焰型土器の原寸大の写真と解説文を掲載している。</p> <p>○下の最後のページの「あなたへ明日への巣立ち」では、桜と鉄道の写真、文章を掲載している。</p>
言語活動の 充実	<p>1 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>美術 1</p> <p>○美術作品、生徒作品とともに作者の言葉を示している。</p> <p>○デザイナーの仕事について、デザイナーへのインタビューを載せている。 p 34、35</p> <p>○作品と作家の写真とともに作家自身の言葉を載せている。 p 30、31</p> <p>○「デザインや工芸で学ぶこと」の学習の流れでは、仲間との意見交換の仕方を示している。 p 32</p> <p>○クラスのシンボルマークをデザインしようでは、仲間との話し合いでの言葉やスケッチのまとめ方を示している。 p 41</p> <p>○「美術の用語」解説が 10 箇所ある。</p> <p>美術 2・3</p>	<p>1 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>全本共通</p> <p>○谷川俊太郎の「うつくしい！」の文章を掲載している。</p> <p>美術 1</p> <p>○ p 2～4 写真とともに生徒の書いたコメントを掲載している。</p> <p>○作品制作の段階で、生徒同士が話し合っている写真とコメントを掲載している。</p> <p>○作品の感想をイラストと吹き出しのコメントで示している。</p> <p>○生徒の作品の解説を作者の言葉で示している。</p> <p>美術 2・3</p> <p>○作家の発想・構想について作家自身の文章で示している。</p> <p>○ p 58 作品制作の段階で、生徒同士が話し合っ</p>	<p>1 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p> <p>全本共通</p> <p>○学びの言葉と題して、著名人の文章を掲載している。</p> <p>○作品の側に作者の言葉を掲載している。</p> <p>美術 1</p> <p>○発想、構想を練る時に、考えたことのアイデアスケッチと生徒の文章を実際のスケッチブックの写真で示している。</p> <p>○「わくわくコミュニケーション」の p 49 生徒作品とともに生徒の書いた文章の写真を掲載している。</p> <p>美術 2・3 上、下</p> <p>○上 p 6、7 生徒が撮った写真に生徒自身が書いたコメントを掲載している。</p> <p>○生徒の話し合いの様子を写真で示している。</p> <p>○ p 44、45 生徒書いた文章の写真を掲載して</p>

発行者 観点	9 開隆堂	38 光村	116 日文
	<ul style="list-style-type: none"> ○ p 64～73 デザインで「伝える」をテーマにしている。 ○ 「暮らしに生きる美術」として、落語家、保育士、パティシエ、鬼師4名のインタビューの文章を掲載している。 ○ 「校内の安全を考えよう」では、仲間と調査し、考え、話し合う過程を写真で示している。 ○ 最後のページに「未来に向かって」の文章を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ している写真とコメントを掲載している。 ○ 生徒の作品の解説を作者の言葉で示している。 ○ p 59 国語とのつながりとして「コピーを考える」では、ポスターに入る短い言葉について解説文と写真で示している。 ○ 最後のページに谷川俊太郎の「うつくしい！」の文章を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いる。 ○ 上 p 47 メーカーの会議の様子を写真で示している。 ○ 下 p 39 生徒が発表をしている写真を掲載している。 ○ 下 p 46、47 デザイナーのインタビューを3つの見出しに分けて文章で示している。 ○ 下 p 58、59 「社会に生きる美術の力」3名の著名人の文章を掲載している。 ○ 最後のページに「あなたへ 明日への巣立ち」の文章を掲載している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	保健体育	4	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
基礎・基本の 定着	<p>1 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポイント」マークで資料を読み取るためのポイントを示したり、「他教科」マークを入れ、他教科との関連性を示したりしている。 ・「リンク」で、参考になるウェブサイトへのガイドを示している。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習課題と一緒に示し、本文中で強調表記にするとともに、巻末に「キーワードの解説」を掲載している。 ・各章末に「学習のまとめ」として「確認の問題」「活用の問題」「日 	<p>1 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ知識」マークを入れ、理解がより深まる学習に関連した情報を掲載している。また、「リンク」「他教科」で関連した内容を学習するページや他教科との関連性を示している。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として示し、本文中で強調表記にし、各章末の「学習のまとめ」で「重要な言葉」として解説している。 ・各章末に「学習のまとめ」として重要語句や要点の再確認ができる 	<p>1 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よみ取る」で、資料を読み取るためのポイントを示したり、「関連」「他教科」で関連した内容を学習するページや他教科との関連性を示したりしている。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として示し、本文中で強調表記にし、巻末には「用語解説」を掲載している。 ・各章末に「章のまとめ」として「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かっ 	<p>1 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報サプリ」で、学習内容に関連したミニ知識を掲載したり、「関連」では、関連した内容を学習するページや他教科との関連性を示したりしている。 ・「リンク」で、参考になるウェブサイトへのガイドを示している。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として示し、本文中で強調表記にしている。 ・各章末の「章のまとめ」として「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」を掲載している。

発行者 観点	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
	常生活に生かそう」を掲載している。	ようにしている。 ・ウェブサイトの「まとめの問題」で学習ができるようにしている。	て」「学習の振り返り」を掲載している。	
主体的に学習に取り組む工夫	1 興味・関心を高めるための工夫 ・「読み物」として、学習内容に関連する資料を掲載している。 2 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫 ・「D」マークで、インターネットを使った学習を示している。 ・1時間の流れの最後に「広げる」で自他の生活に当てはめる活動を掲載している。	1 興味・関心を高めるための工夫 ・「トピックス」として、学習内容と関連するデータや読み物資料を掲載している。 2 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫 ・「WEB」マークで、インターネットを使った学習を示している。 ・「活用して深めよう」で自分の生活に活かす、学びをより深める活動を掲載している。	1 興味・関心を高めるための工夫 ・「コラム」「事例」「体育の窓」「保健の窓」に分けて、学習内容の理解を補助する話題を掲載している。 2 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫 ・「web保体情報館」で、参考になる情報を調べることができるようにしている。 ・各章のはじめに小学校、中学校、高校の学習内容を示し、つながりがわかるようにしている。	1 興味・関心を高めるための工夫 ・「コラム」として、学習内容に関連する資料を掲載している。 2 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫 ・「教科書サイト」で動画や関連サイトで学習できるようにしている。
内容の構成・配列・分量	1 単元・題材や資料等の配列 2 発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ・本文、「巻頭・巻末資料」、「章末資料」、「読み物」、「技能・実習資料」の5部構成で、「章末資料」には、各章の内容についての補助的・発展的な教材を掲載している。 ・各学年の学習内容を、「保健編」、	1 単元・題材や資料等の配列 2 発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ・本文、「口絵・資料」、「章末資料」、「学びを活かそう」、「学習のまとめ」の5部構成で、「学びを活かそう」には、各章の学習内容をもとに議論するための教材を掲載している。 ・各学年の学習内容を、「体育編」、	1 単元・題材や資料等の配列 2 発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ・本文、「巻頭・巻末資料」、「特集資料」、「コラム／事例／体育の窓／保健の窓」の4部構成で、「特集資料」には、各章の内容についての補助的・発展的な教材を掲載している。 ・各学年の学習内容を、「体育理	1 単元・題材や資料等の配列 2 発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ・本文、「口絵」、「探究しようよ!」、「章のまとめ」、「コラム」の5部構成で、「探究しようよ!」には、各章の内容についての補助的・発展的な教材を掲載している。 ・各学年の学習内容を、「体育編」、「保健編」の順で配列している。

発行者 観点	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
	<p>「体育編」の順で配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防について、インフルエンザによる緊急事態宣言の有効性について掲載している。 ・自然災害から身を守るために、警報や注意報でとるべき行動の確認について最新の情報で掲載している。 	<p>「保健編」の順で配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防について、インフルエンザ予防のためにできることを掲載している。 	<p>論」、「保健」の順で配列している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防について、「コラム」でマスクをつける理由や3つの咳エチケットを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防について、学級閉鎖の時にどのように過ごすか掲載している。 ・自然災害から身を守るために、警報や注意報ととるべき行動の確認を最新の情報で掲載している。
内容の 表現・表記	<p>1 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活用する」では、学習内容と実生活とを結びつけて考えさせる課題を示している。 ・本文を補足するための資料として、写真や図表を掲載している。 	<p>1 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学習内容において、はじめに「学習のねらい」を表記し、最後に重要語句を「キーワード」として表記している。 ・見開き2ページの左ページに本文、右ページに資料を載せている。 	<p>1 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では、本文で学習したことと実生活とを結びつけて考える課題を提示している。 ・資料に掲載しているグラフのいくつかは、グラフからわかることを「よみ取る」として付け加えて示している。 	<p>1 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」では、「判断する・交流する」など、どのような活動を行うか提示している。 ・各学習内容について、本文のはじめに、学習内容に関する問いを提示している。

発行者 観点	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 学研
言語活動の 充実	<p>1 思考し判断したことを、言葉や文章および動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題の解決」の「活用する」で、既習事項を活用し自分の考えをまとめ表現できるようにしている。 ・单元ごとに「学習のまとめ」の中に「活用の問題」「日常生活に生かそう」など自分の生活に活用できる学習活動を記載している。 	<p>1 思考し判断したことを、言葉や文章および動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活用して深めよう」で、課題解決に向け思考力・判断力・表現力を育むよう設定している。 ・单元ごとに「学びを活かそう」を設定し、自分の生活に活用できるよう記入欄を設けている。 	<p>1 思考し判断したことを、言葉や文章および動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」で、課題解決に向け思考力・判断力・表現力を育むよう設定している。 ・单元ごとに「章のまとめ」を設定し、評価の3観点と同様、「思考・判断・表現」の問題を取り入れている。 	<p>1 思考し判断したことを、言葉や文章および動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で、課題解決に向け思考力・判断力・表現力を設定している。 ・单元ごとに「探究しようよ！」を2ページにわたって設定している。 ・「章のまとめ」の中に「生かそう」を取り入れ、自分の生活に活用できる学習活動を記載している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県郡教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	技術・家庭(技術分野)	3	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
基礎・基本の定着	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも、項目ごとに、「目標」マークが付けられ、目標が示されるとともに、「キーワード」マークが付けられ、関連する語句が示されている。 ・目標の数 100 個 ・キーワードの数 133 個 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記されている。 (記述例)・漏電、感電・ショート(短絡) ・ブレーカ(遮断器)・アース線 ・トラッキング現象・定格値・定格電流 ・定格電圧 ・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」の囲みが62か所、「テックラボ」として、工程ごとの基礎 	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付けられ、目標が示されるとともに、「キーワード」マークが付けられ、関連する語句が示されている。 ・目標の数 91 個 ・キーワードの数 166 個 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記されている。 (記述例)・定格値・漏電・短絡・分電盤・遮断器 ・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「基礎技能」の囲みが42か所、ハンドブックにおいては20個の基礎技能が掲載されている。 ・「安全」マークが45か所(内、ハンドブ 	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みが設けられ、目標が示されている。 ・目標の数 99 個 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記されている。 (記述例)・定格電流・定格電圧・定格時間・定格消費電力・許容電流・分電盤 ・接地線・ヒューズ ・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「動作のポイント」マークが21か所、学習の参考になる内容や資料・解説として、「参考」の囲みが100か所掲載

	<p>的・基本的な技能が24ページ掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全」マークが25か所、「衛生」マークが13か所表示され、実習などにおける安全や衛生のポイントがまとめられ、生徒の注意が喚起されている。 ・教育のICT化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「D」マークが21か所表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。 	<p>ック20か所)、「衛生」マークが8か所(うちハンドブック1か所)表示され、実習などにおける安全や衛生のポイントがまとめられ、生徒の注意が喚起されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育のICT化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」が58か所(うちハンドブック15か所)表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。 	<p>されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全」マークが23か所表示され、実習などにおける安全のポイントがまとめられ、生徒の注意が喚起されている。 ・教育のICT化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」が56か所表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。
<p>主体的に学習に取り組む工夫</p>	<p>1 「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容の最初のページ見開きで、左ページに「技術の見方・考え方」、右ページに「発見！技術の最適化」が掲載され、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示されている。また、各内容第1章の最後に、「チェック 技術の見方・考え方」が掲載され、気付いた技術の見方・考え方について、まとめることができるように示されている。 ・技術の最適化について意識できるよう、「技術の天秤」マークが18か所表示され、技術の最適化について具体的な事例が掲載されている。 ・身の回りにある製品が取り上げられ、製品に込められた技術の工夫について示されている。 	<p>1 「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容の最初のページ見開きで、各内容における技術の発展の具体例が取り上げられるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について記載されている。 ・各内容とも、問題を解決する工夫や技術の工夫について調べたり、考えたりする項目が設けられ、技術の最適化について具体的な事例が掲載されている。 ・身の回りにある製品が取り上げられ、製品に込められた技術の工夫について示されている。 (具体例) A 材料と加工の技術 ・ペットボトルに込められた材料や形状の工夫 [着目の視点]・安全性、使いやすさ・耐熱性・利便性・管理、運営、販売・資 	<p>1 「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」が掲載され、電気ストروبにおける技術の工夫やしくみを通して、「技術の見方・考え方」が示されている。 ・技術の最適化について意識できるよう、「トレードオフ」マークが14か所表示され、技術の最適化について具体的な事例が掲載されている。 ・身の回りにある製品が取り上げられ、製品に込められた技術の工夫について示されている。 (具体例) A 材料と加工の技術 ・着目すべき問題解決の工夫の視点 [着目の視点]・社会からの要求・安全性・耐久性・機能性・環境への負荷

	<p>(具体例) A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルによる問題解決の例 [着目の視点]・機能性・丈夫さ・環境への配慮・経済性 <p>2 学習過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスにおいて、「問題の発見、課題の設定」、「設計・計画」、「製作、制作、育成」、「成果の評価、改善・修正」、「新たな問題の発見」という技術による問題の解決の学習過程が示され、社会での技術による問題の解決の過程の具体例が掲載されている。 ・各内容において、技術による問題の解決の学習過程ごとに、「問題解決カード」が示され、問題の解決の進め方の具体例が掲載されている。 ・各内容の製作実習例が「問題解決例」として33事例取り上げられ、「問題の発見」、「課題の設定」の具体例が示しめされるともに、製作・制作・育成の手順が掲載されている。 	<p>源の節約</p> <p>2 学習過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各内容の設計・計画において、「問題を見出す」、「目的や条件をもとに構想（育成計画）を考える」、「構想（育成計画）を具体化する」、「設計（育成計画）をまとめる」という技術の問題の解決の学習過程が示され、学習過程ごとに具体例が掲載されている。 ・各内容の設計・計画において、技術による問題の解決の学習過程に沿った計画表の具体例が掲載されている。 ・各内容の製作実習例が「題材例」として18事例取り上げられ、製作・制作・育成の手順が示されるとともに、8事例において、技術による問題の解決の学習過程の具体例が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有限性・経済性 <p>2 学習過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスにおいて、「知識や技能を身につける」、「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」、「学習したことを社会に生かす」の学習過程が漫画で解説され、社会でのものづくりの過程の具体例が掲載されている。 ・各内容において、「問題解決の流れ」の項目が示され、「問題の発見と課題の設定」、「設計と試作」、「製作」、「成果の評価と改善」などの技術による問題の解決の学習過程の具体例が掲載されている。 ・各内容の製作実習例が「実習例」として28事例取り上げられ、技術による問題の解決の学習過程の具体例が掲載されている。 																														
<p>内容の構成・配列・分量</p>	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の配列と分量 <table border="0"> <tr> <td>「ガイダンス的内容」</td> <td>19 ページ</td> </tr> <tr> <td>「A 材料と加工の技術」</td> <td>66 ページ</td> </tr> <tr> <td>「B 生物育成の技術」</td> <td>46 ページ</td> </tr> <tr> <td>「C エネルギー変換の技術」</td> <td>56 ページ</td> </tr> <tr> <td>「D 情報の技術」</td> <td>62 ページ</td> </tr> </table>	「ガイダンス的内容」	19 ページ	「A 材料と加工の技術」	66 ページ	「B 生物育成の技術」	46 ページ	「C エネルギー変換の技術」	56 ページ	「D 情報の技術」	62 ページ	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の配列と分量 <table border="0"> <tr> <td>「ガイダンス的内容」</td> <td>8 ページ</td> </tr> <tr> <td>「A 材料と加工の技術」</td> <td>72 ページ</td> </tr> <tr> <td>「B 生物育成の技術」</td> <td>38 ページ</td> </tr> <tr> <td>「C エネルギー変換の技術」</td> <td>60 ページ</td> </tr> <tr> <td>「D 情報の技術」</td> <td>80 ページ</td> </tr> </table>	「ガイダンス的内容」	8 ページ	「A 材料と加工の技術」	72 ページ	「B 生物育成の技術」	38 ページ	「C エネルギー変換の技術」	60 ページ	「D 情報の技術」	80 ページ	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の配列と分量 <table border="0"> <tr> <td>「ガイダンス的内容」</td> <td>18 ページ</td> </tr> <tr> <td>「A 材料と加工の技術」</td> <td>70 ページ</td> </tr> <tr> <td>「B 生物育成の技術」</td> <td>42 ページ</td> </tr> <tr> <td>「C エネルギー変換の技術」</td> <td>50 ページ</td> </tr> <tr> <td>「D 情報の技術」</td> <td>68 ページ</td> </tr> </table>	「ガイダンス的内容」	18 ページ	「A 材料と加工の技術」	70 ページ	「B 生物育成の技術」	42 ページ	「C エネルギー変換の技術」	50 ページ	「D 情報の技術」	68 ページ
「ガイダンス的内容」	19 ページ																																
「A 材料と加工の技術」	66 ページ																																
「B 生物育成の技術」	46 ページ																																
「C エネルギー変換の技術」	56 ページ																																
「D 情報の技術」	62 ページ																																
「ガイダンス的内容」	8 ページ																																
「A 材料と加工の技術」	72 ページ																																
「B 生物育成の技術」	38 ページ																																
「C エネルギー変換の技術」	60 ページ																																
「D 情報の技術」	80 ページ																																
「ガイダンス的内容」	18 ページ																																
「A 材料と加工の技術」	70 ページ																																
「B 生物育成の技術」	42 ページ																																
「C エネルギー変換の技術」	50 ページ																																
「D 情報の技術」	68 ページ																																

	<p>「総合的な問題解決」 6 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料について 「技術の扉」には、生徒の興味・関心、学校の実態に応じて、学習をさらに広げたり、深めたりすることができる資料が掲載されている。 小学校での学習の振り返りを兼ね、コンピューターの使い方を10ページにわたり示している。「今すぐできる！プログラミング手帳」が掲載されている。 教科書の末尾に「技術分野の学習を終えて」として、4領域のまとめや「学んだことを社会に生かす」として4ページ掲載している。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例 <table border="0"> <tr><td>「A 材料と加工の技術」</td><td>8 例</td></tr> <tr><td>「B 生物育成の技術」</td><td>8 例</td></tr> <tr><td>「C エネルギー変換の技術」</td><td>5 例</td></tr> <tr><td>「D 情報の技術」</td><td>12 例</td></tr> <tr><td>「総合的な問題の解決」</td><td>6 例</td></tr> </table>	「A 材料と加工の技術」	8 例	「B 生物育成の技術」	8 例	「C エネルギー変換の技術」	5 例	「D 情報の技術」	12 例	「総合的な問題の解決」	6 例	<p>「E 夢をかなえる技術」 14 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料について 実習の基礎技能が別冊の「技術ハンドブック」にまとめられるようになっている。 未来の社会像「Society5.0」やSDGs、伝統技術や日本の文化について考えるコラムが掲載されている。 発展的な学習内容として「発光ダイオード(LED)が発光するしくみ」、「音声のデジタル化のしくみ」が掲載されている。 教科書の末尾に、4領域に関わる「夢をかなえる技術」が14ページで示されている。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例 <table border="0"> <tr><td>「A 材料と加工の技術」</td><td>9 例</td></tr> <tr><td>「B 生物育成の技術」</td><td>6 例</td></tr> <tr><td>「C エネルギー変換の技術」</td><td>6 例</td></tr> <tr><td>「D 情報の技術」</td><td>9 例</td></tr> <tr><td>「総合的な問題の解決」</td><td>2 例</td></tr> </table>	「A 材料と加工の技術」	9 例	「B 生物育成の技術」	6 例	「C エネルギー変換の技術」	6 例	「D 情報の技術」	9 例	「総合的な問題の解決」	2 例	<ul style="list-style-type: none"> 資料について 写真やイラスト、図表、コラムなどが掲載されている。 状況に応じた学習活動が選ぶことができるように実践的・体験的な学習活動や実践例が掲載されている。 教科書の末尾に、「技術分野を振り返り、私たちの未来へつなげよう」として4ページ設けている。 巻末に「日本各地の伝統的な技・材料・工芸MAP」を掲載している。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例 <table border="0"> <tr><td>「A 材料と加工の技術」</td><td>7 例</td></tr> <tr><td>「B 生物育成の技術」</td><td>8 例</td></tr> <tr><td>「C エネルギー変換の技術」</td><td>5 例</td></tr> <tr><td>「D 情報の技術」</td><td>8 例</td></tr> <tr><td>「総合的な問題の解決」</td><td>1 例</td></tr> </table>	「A 材料と加工の技術」	7 例	「B 生物育成の技術」	8 例	「C エネルギー変換の技術」	5 例	「D 情報の技術」	8 例	「総合的な問題の解決」	1 例
「A 材料と加工の技術」	8 例																																
「B 生物育成の技術」	8 例																																
「C エネルギー変換の技術」	5 例																																
「D 情報の技術」	12 例																																
「総合的な問題の解決」	6 例																																
「A 材料と加工の技術」	9 例																																
「B 生物育成の技術」	6 例																																
「C エネルギー変換の技術」	6 例																																
「D 情報の技術」	9 例																																
「総合的な問題の解決」	2 例																																
「A 材料と加工の技術」	7 例																																
「B 生物育成の技術」	8 例																																
「C エネルギー変換の技術」	5 例																																
「D 情報の技術」	8 例																																
「総合的な問題の解決」	1 例																																
<p>内容の表現・表記</p>	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連について、「他教科」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(26) 	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連について、「リンク」マークが用いられ、教科が示されている。(5) 	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連について、「他教科」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(13) 																														

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の各教科等の学習内容との関連について、「小学校」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(11) ・中学校や小学校の各教科等との学習に関連する内容の教科書紙面を見ることができる「Dマークコンテンツ」マークが示されている。(15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の各教科等の学習内容との関連について、「小学校」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(11) ・中学校や小学校の各教科等との学習に関連する内容の教科書紙面を見ることができる「Dマークコンテンツ」マークが示されている。(15) <p>2 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の書体はユニバーサルデザインフォント、ふり仮名は丸ゴシック体が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・内容ごとに基本色を設定し、全見開き右側にインデックスが示されている。 ・キャラクターのせりふは、文節改行に統一されている。 ・導線は色だけでなく、色名表記がされている。 ・導入やまとめの活動内容が全見開き、同じ位置に配置されている。 ・問題解決例は、「問題の発見」、「課題の設定」が同じ位置に配置され、製作、制作、育成の手順については、手順ごとに番号と写真を用いて示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の各教科等との学習内容との関連について、「リンク」マークが用いられ、教科が示されている。(10) <p>2 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の書体はユニバーサルデザインフォントが使用され、文字サイズは12ポイントに統一されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・ページ番号の文字が大きく、内容ごとに基本色を設定され、全見開き上側及び右側にインデックスが示されている。 ・重要語句等は、青色の太字で強調されている。 ・資料マークが黄色の網掛けで強調され、本文中にも同じものが示されている。 ・「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」を基本配列とし、レイアウトされている。 ・題材例は、製作、制作、育成の手順について、手順ごとに番号と写真を用いて示されている。 ・ガイダンスに特別支援学校での実習の事例が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の各教科等の学習内容との関連について、「小学校」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(9) <p>2 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の書体はユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・内容ごとに基本色が設定されている。 ・文字間を調整し、本文は単語の途中で改行が行われないうに統一されている。 ・図中の矢印や円印は、縁取りが付けられている。 ・導入の活動内容は、全見開きで同じ位置に配置され、活動内容をマークと太字、枠囲いをもちいて強調されている。 ・実習例は、「身近な問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」などの学習の過程ごとに枠囲いがされ、流れが図示されている。
--	--	---	---

<p>言語活動の充実</p>	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで比較や検討など対話的に進める学習場面としての「活動」が取り上げられている。 ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「活動」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」で示される活動が取り上げられている。 <p>【活動例数】 「活動」(26), 「調べてみよう」(9) 「やってみよう」(9) 「考えてみよう」(32) 「話し合ってみよう」(8)</p>	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「やってみよう」で示される活動が取り上げられている。 <p>【活動例数】 「やってみよう」(61)</p>	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」で示される活動が取り上げられている。 <p>【活動例数】 「課題」(37), 「調べてみよう」(25) 「話し合ってみよう」(19) 「確認してみよう」(1) 「やってみよう」(3)</p>
----------------	--	--	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	技術・家庭 (家庭分野)	3	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

<div style="text-align: center;">発行者 観点</div>	2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
基礎・基本の 定着	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5編 12章と「選択 生活の課題と実践」で構成されており、1つの章は2～9つの項目が設定されている。 ・ 1つの編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成されている。 ・ 各内容とも、項目ごとに、「目標」マークを付け、目標が1つ又は2つ示されるとともに、「キーワード」マークを付け関連する語句が示されている。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記されている。 ・ 「安全」マーク、「衛生」マークが本文中に表示され、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意が喚起され 	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3編 10章と「選択 生活の課題と実践」で構成されており、1つの章は1～8つの項目を設定されている。 ・ 1つの編は、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成されている。 ・ 各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を1つ又は2つ示されるとともに、「キーワード」マークを付け関連する語句が示されている。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な用語のうち、重要語句は青色の太字で表記されている。 ・ 「安全」マーク、「衛生」マークが本文中に表示され、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意が喚起され 	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの学習内容 23章と「生活の課題と実践」で構成されており、1つの章は2～6つの項目を設定されている。 ・ 1つの学習内容は、「わたしの興味・関心」「導入の課題」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成されている。 ・ 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の欄を付け、目標を1つ又は2つ示されている。 <p>2 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記されている。 ・ 「安全」マーク、「衛生」マークが本文中に表示され、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意が喚起され

発行者 観点	2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるようにしているように、「D」マークが44か所表示されている。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるように「QRコード」が55か所表示されている。 	<p>れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるように、「QR」マークが示されているとともに、「QRコード」が64か所表示されている。
<p>主体的に 学習に 取り組む 工夫</p>	<p>1 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭分野のガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方がマークやイラストを用いて解説されている。 ・各編の導入において、関連する見方・考え方をマークやキーワードで例示されている。 ・キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付く支援がされている。 <p>2 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編末の「学習のまとめ」において、学習したことを振り返り、興味・関心を持ったこと、自分や家族の生活で改善できることなどを記述する欄を設け、キャラクターの吹き出しとして「生活の課題と実践にも取り組もう。」と示されている。 	<p>1 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学習の導入において、生徒や教師との対話の場면을「見つめる」で示され、吹き出しを用いて、生活の営みに係る見方・考え方の視点が例示されている。 ・各章末の「学びを生かそう」において「課題設定のヒント」を示され、見方・考え方の視点で振り返りができるよう支援されている。 <p>2 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章のまとめごとに「学びを生かそう」を設定し、ここまでの学習を生かして課題に取り組む例が記載されている。「問題解決学習の流れ」に即した実践事例とともに、「さらに『生活の課題と実践』にも取り組んでみよう！」と示されている。 	<p>1 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭分野のガイダンス」において、「生活の見方・考え方」として生活の営みに係る見方・考え方が解説されている。 ・「家庭分野のガイダンス」において、「本書の特色」として生活の営みに係る見方・考え方を各内容において働かせる例が示されている。 ・各章末の「ふり返り」において、章内の学習を基に見方・考え方を働かせて生活を捉えるための問いが設定されている。 <p>2 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」として、生活の課題と実践についての説明を見開きで示されている。 ・「生活の課題と実践」として、生活の課題と実践の進め方、実践のまとめ方、実践例(合計12事例)が示されている。

発行者 観点	2 東 書	6 教 団	9 開隆堂
	<ul style="list-style-type: none"> ・「選択 生活の課題と実践」として、生活の課題と実践の進め方、課題の決め方、まとめと発表の仕方、実践例（合計 12 事例）が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」として、生活の課題と実践のポイント、学習の流れ、実践例（合計 8 事例）が示されている。 	
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス 6 項目」 12 ページ ・「A 家族・家庭生活」 52 ページ ・「B 衣食住の生活」 152 ページ ・「C 消費生活・環境」 24 ページ ・「選択事項(生活の課題と実践)」 6 ページ ・ガイダンス、食生活、衣生活、住生活、消費生活・環境、家族・家庭生活、選択事項(生活の課題と実践)の順に配列されている。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B 衣食住の生活」の日常食の調理における調理実習例が、52 例掲載されている。 ・「B 衣食住の生活」の布を用いた物の製作例が、16 例掲載されている。 ・例示は、写真やイラストを使って示されている。 	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス 1 項目」 4 ページ ・「A 家族・家庭生活」 52 ページ ・「B 衣食住の生活」 157 ページ ・「C 消費生活・環境」 41 ページ ・「選択事項(生活の課題と実践)」 8 ページ ・ガイダンス、家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費生活・環境、選択事項(生活の課題と実践)の順に配列されている。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B 衣食住の生活」の日常食の調理における調理実習例が、49 例掲載されている。 ・「B 衣食住の生活」の布を用いた物の製作例が、7 例掲載されている。 ・例示は、写真やイラストを使って示されている。 	<p>1 題材や資料等の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ガイダンス 6 項目」 12 ページ ・「A 家族・家庭生活」 52 ページ ・「B 衣食住の生活」 146 ページ ・「C 消費生活・環境」 36 ページ ・「選択事項(生活の課題と実践)」 8 ページ ・ガイダンス、家族・家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費生活・環境、選択事項(生活の課題と実践)の順に配列されている。 <p>2 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B 衣食住の生活」の日常食の調理における調理実習例が、43 例掲載されている。 ・「B 衣食住の生活」の布を用いた物の製作例が、9 例掲載されている。 ・例示は、写真やイラストを使って示されている。
内容の表現 ・表記	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の各教科等の学習内容との関連については「他教科」マークが示され、教科名、単元概要が示されている。また、関連する他教科内容をコンテンツとして見ることができるものにDと丸を重ねたマークが示さ 	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の各教科等の学習内容や小学校の各教科等の学習内容との関連、および家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークで示されている。各教科等の学習内容については、教科 	<p>1 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の各教科等の学習内容や技術分野との関連については、「他教科・他分野」との関連マークが右頁上部に示され、教科名、単元概要が示されている。 ・家庭分野の他の学習項目や技術分野などに

発行者 観点	2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
	<p>れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術分野や家庭分野の他の章などに、関連する内容があるものについては「リンク」マークが示され、掲載ページと内容が示されている。 各編の導入ページで、小学校家庭科での学習内容をキーワードで示されている。小学校の各教科等の学習内容との関連については「小学校」マークが示され、教科名、単元・題材概要が示されている。 関連させて学習を進める具体例が「C消費生活・環境」では、18事例掲載されている。 <p>2 発展的な学習の扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発展」のマークが付されている。「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と説明されている。 具体例が8か所掲載されている。 <p>3 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 内容ごとに基本色を設定し、見開き右側上部にインデックスが示されている。 教育漢字以外の漢字にはすべて丸ゴシック 	<p>名、単元概要が示されている。小学校の各教科等の学習内容との関連については、教科名、単元・題材概要が示されている。家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては、掲載ページと内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各編の導入ページで、小学校家庭科での学習内容とのつながりが「リンク」マークで示されている。 関連させて学習を進める具体例が「C消費生活・環境」では、12事例掲載されている。 <p>2 発展的な学習の扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発展」のマークが付されている。「学習指導要領に示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は、必要に応じて取り組んでみましょう。」と説明されている。 具体例が6か所掲載されている。 <p>3 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 内容ごとに基本色が設定され、見開き左側上部及び右側にそれぞれインデックスが示されている。 	<p>関連する内容があるものについては、「リンク」マークが示され、掲載ページと内容が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目の冒頭に、「小学校での学び」を設け、小学校家庭科での学習内容が解説されている。 関連させて学習を進める具体例が「C消費生活・環境」では、15事例掲載されている。 <p>2 発展的な学習の扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発展」のマークが付されている。「発展的な学習の内容（『発展』で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない）」と説明されている。 具体例が9か所掲載されている。 <p>3 ユニバーサルデザインへの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 内容ごとに基本色が設定され、見開き左側上部にインデックスが示されている。 中学校以降で学習する漢字には、見開きペ

発行者 観点	2 東 書	6 教 図	9 開隆堂
	<p>体でふり仮名が付されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一されている。 ・食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示され、その食品で作成した1日分の献立例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校以降で学習する漢字には、見開きページごとの初出でふり仮名が付されている。 ・実習・製作の作業手順を縦向きの配置に統一されている。 ・食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示され、その食品で作成した1日分の献立例が示されている。 	<p>ージごとの初出箇所にふり仮名が付されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一されている。 ・食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示され、その食品で作成した1日分の献立例が示されている。
言語活動の 充実	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に「活動」のマーク及び「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークが示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が103か所取り上げられている。 ・言語活動を取り入れた学習の示し方（活動例数） 「活動」(50) 「話し合ってみよう」(5) 「考えてみよう」(20) 「やってみよう」(23) 「調べてみよう」(5) 	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークが示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が109か所取り上げられている。 ・言語活動を取り入れた学習の示し方（活動例数） 「話し合ってみよう」(25) 「考えてみよう」(32) 「やってみよう」(18) 「調べてみよう」(18) 「体験してみよう」(1) 「聞いてみよう」(3) 「発表してみよう」(3) 	<p>1 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークが示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が51か所取り上げられている。 ・言語活動を取り入れた学習の示し方（活動例数） 「話し合ってみよう」(18) 「考えてみよう」(14) 「やってみよう」(13) 「発表しよう」(6)

発行者 観点	2 東 書	6 教 函	9 開隆堂
		「比べてみよう」(1) 「つくってみよう」(1) 「観察してみよう」(1) 「思い出してみよう」(3) 「試してみよう」(1) 「まとめてみよう」(2)	

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	英語	6	18

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
基礎・基本の 定着	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を提示している。 ○単元である Unit ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.83】 ○Unit6 Research Your Topic [題材]身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 [活動]身近なことに</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である PROGRAM ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.49】 ○PROGRAM 4 High-Tech Nature 1 大きさや程度を比べることについて表記する。 2 生物をヒントにして作られたものに</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Lesson の活動ごとに領域別の目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.71】 ○Lesson 5 Things to Do in Japan [USE Read]日本を訪れる予定のニュージーランドの中学校の先生から届いたメールを読もう。</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Lesson 中の Part ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.66, 68, 70】 ○Lesson 6 Castles and Canyons Part 1 高さや古さなどを比べて、違いを伝えよう。 Part 2 日本の城に</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Unit ごとに関連する領域別の目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.31】 ○Unit 3 Plans for the Summer [Reading]メールから、予定や希望などを読み取ることができる。</p>	<p>1 単元の目標の示し方 【目標の示し方】 ○単元である Unit の Part ごとに目標を提示している。</p> <p>【目標の表記と具体例 (第2学年) p.91】 ○Unit 7 Let's Compare [Part 1]人やものについて、比較して説明することができる。 [Part 2]つづりの長い形容詞を使って、比較</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>ついて、特徴を比較しながら説明することができる。</p>	<p>ついて話す。 3 インタビュー活動などに意欲的に取り組む。</p>	<p>[USE Write]日本の中学生に人気のあるものを調べてレポートを書こう。</p>	<p>ついて伝えよう。 Part3 自分の住んでいるところについて伝えよう。</p>	<p>[Writing]予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。</p>	<p>して説明することができる。 [Part 3]人やものについて、「〜と同じくらい…」と言うことができる。 [Read & Think]人気のあるスポーツについての対話文を読んで、概要を理解し、内容について考えることができる。 [Express Yourself]睡眠時間を比較して発表することができる。</p>
	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>
	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit1 : A Trip to Singapore ○Unit2 : Food</p>	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Program3 : Taste of Culture Program5 : Work</p>	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Lesson2 : My Dream ○Lesson5 : Things to</p>	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Lesson2 : Our Energy Sources ○Lesson3 : Design in</p>	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit2 : Basketball Tournament ○Unit3 : Plans for</p>	<p>【文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名】 ○Unit2 : Traveling Overseas ○Unit3 : In Case of</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	1 6 三省堂	1 7 教出	3 8 光村	6 1 啓林館
	<p>Travels around the World</p> <p>○Unit3 : My Future job</p> <p>○Unit4 : Homestay in the United States</p> <p>○Unit5 : Universal Design</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Unit2 : Food</p> <p>Travels around the World</p> <p>I <u>want to</u> go there sometime.</p> <p>I <u>want to</u> eat curry pilaf.</p>	<p>Experience</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Program3 : Taste of Culture</p> <p>I <u>want to</u> see your performance.</p> <p>I <u>want to</u> eat an “American dog.”</p> <p>What do you <u>want to</u> have?</p> <p>I <u>want to</u> have something sweet.</p>	<p>Do in Japan</p> <p>○Lesson6 : Tea from China</p> <p>○Lesson7 : <i>Rakugo</i> Goes Overseas</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Lesson2 : My Dream</p> <p>I <u>want to</u> work at a farm.</p> <p>I <u>want to</u> go with you.</p> <p>I <u>want to</u> grow better vegetables and bring more happiness to people.</p> <p>I <u>want to</u> be a farmer.</p> <p>So I <u>want to</u> grow healthy and organic</p>	<p>Our Life</p> <p>○Lesson4 : Workplace Experience</p> <p>○Lesson5 : How to Celebrate Halloween</p> <p>○Lesson6 : Castles and Canyons</p> <p>○Lesson8 : <i>Rakugo</i> in English</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Lesson6 : Castles and Canyons</p> <p>What place do you <u>want to</u> visit next?</p> <p>I <u>want to</u> see Himeji Castle.</p>	<p>the Summer</p> <p>○Unit4 : Tour in New York City</p> <p>○Unit6 : Work Experience</p> <p>○Unit7 : Amazing Australia</p> <p>○Unit8 : Staging a Musical</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Unit4 : Tour in New York City</p> <p>I <u>want to</u> see the Statue of Liberty.</p> <p>I also <u>want to</u> see a musical and go to Central Park.</p> <p>What do you <u>want to</u> see in New York?</p> <p>I <u>want to</u> see Aladdin!</p>	<p>Emergency</p> <p>○Unit4 : My Future Dream</p> <p>○Unit6 : Unique Animals</p> <p>○Unit7 : Let’s Compare</p> <p>○Unit8 : Working Overseas</p> <p>【具体例 (第2学年) want to】</p> <p>○Unit4 : My Future Dream</p> <p>I <u>want to</u> help people, too.</p> <p>I <u>want to</u> write stories in the future.</p> <p>I <u>want to</u> develop a useful robot and help people with it.</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
			vegetables for everyone. I <u>want to learn</u> technology to improve farming			
主体的に学習に取り組む工夫	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Write」で日常生活の場面を設定し、Step 1～3で「話すこと」「聞くこと」「書くこと」などの活動を設定している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○ホテルでのトラブル</p> <p>○機内放送</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Power Up」の「Listening」「Listening & Speaking」「Speaking」「Listening & Speaking」「Writing」で日常生活の場面を設定し、4技能の活動を設定している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○天気予報を聞こう</p> <p>○電話をかけよう</p> <p>○レストランで食事</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Take Action!」の「Listen」と「Talk」で、日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○図書館の案内</p> <p>○どんなストーリーなの？</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Useful Expression」で日常的な場面を設定し、そこで使われる表現を紹介している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○校舎案内</p> <p>○買い物</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Daily Life」で日常生活を設定し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を設定している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○電話</p> <p>○アナウンス</p> <p>○レストラン</p>	<p>1 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>【日常生活の場面を設定した言語活動の示し方】</p> <p>○「Let's Talk」「Let's Listen」で日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。</p> <p>(例：第2学年)</p> <p>【テーマ】</p> <p>○待ち合わせ</p> <p>○旅行の準備</p> <p>○体調</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>○ていねいなお願い ○インタビュー ○留守番電話のメッセージへの返信 ○天気予報 ○ホームステイのお礼状 ○電車の運行状況 ○電車の乗りかえ ○留守番電話 ○買い物 ○商品のコマーシャル ○電話でのやり取り ○店内のアナウンス</p> <p>【具体例】 ○「Let's talk 2」でいねいなお願い Asami : Excuse me. May I ask you a favor? Woman : Sure. Asami : Could you take our picture? Woman : All right. Say cheese!</p>	<p>をしよう ○空港アナウンスを聞こう ○メールで近況報告をしよう</p> <p>【具体例】 ○「Power Up2」電話をかけよう Matt : Hello? Keho : Hello. This is Kaho. May I speak to Matt? Matt : Speaking. What's up? Kaho? Keiko : Hi, Matt. We have a meeting</p>	<p>○チャリティーのお知らせ ○それはいい案だね ○空港のアナウンス ○何が起きたの? ○イベントの紹介 ○一緒に遊園地に行かない? ○ラジオニュース ○お手伝いしましょうか ○プレゼントの相談 ○それもいい案だと思うけど</p> <p>【具体例】 ○「Take Action!」 「Talk6」 それもいい案だと思うけど Hana : What should we get for Mayumi? Dinu : I have an idea. How about flowers? Hana : Well, that's not a bad idea, but</p>	<p>○道案内 ○イベントのお知らせ ○体調不調 ○観光案内 ○音声ガイド</p> <p>【具体例】 ○「Useful Expressions」校舎案内 ALT : Excuse me. Where's the teacher's room? Aya : It's on the second floor. Go up the stairs and turn right.</p>	<p>○道案内 ○イベントのお知らせ ○体調不調 ○観光案内 ○音声ガイド</p> <p>【具体例】 ○「Daily Life3」 「Scene3」レストラン 店員 : Shall I take your order? 客 : Yes, please. Can I have a large-size pizza with three toppings? 店員 : Sure. What kind of topping?</p>	<p>○天気予報 ○レストラン ○機内 ○道案内 ○搭乗案内 ○ショッピング ○電話 ○場内アナウンス</p> <p>【具体例】 ○「Let's Talk 3」体調 アオイ : What's wrong? Are you all right? チェン : I have a headache. アオイ : That's too bad. You should go to the nurse's office.</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>Asami : Could you take another one, please? Woman : OK. No problem.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○「GOAL」として、単元の最初に目標を設定し、単元末に「CHECK」として、「題材」と「活動」について4段階で評価するようにしている。 ○巻末に「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学</p>	<p>tomorrow, right? Could you bring your sketchbook? We'll need it. Matt : Sure. Thanks for calling. Kaho : See you tomorrow. Bye.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○"Goal"として、単元の最初に目標を、単元内に振り返りを設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 ○巻末資料に「英語で『できるようになったこと』リスト」として、5領域別に学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>	<p>cookies might be better. I think she likes sweets better than flowers. Dinu : You're right. Let's make them.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○巻末に、「What Can I Do?」として、CAN-DO リストを示し、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>	<p>ALT : Turn right on the second floor? Aya : That's right. It's the second room. ALT : I see. Thank you. Aya : You're welcome.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○単元末に振り返りを設定している。 ○付録に「Can-Do 自己チェックリスト」を示し、5領域別の学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。</p>	<p>客 : Tomatoes, onions, and sausage, please. 店員 : Would you like some drinks? 客 : Oh, yes. Three sodas, please. Will you bring them now? We're thirsty. 店員 : I'll be right back with your drinks.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 「Goal」として、単元の最初に領域別の目標を、設定している。単元の最後に、振り返りを設定している。 ○巻末付録に、CAN-DO List を示し、5領域別に学習到達目標を設定し、4段階で評価するように</p>	<p>チェン : All right. I will. Thanks.</p> <p>2 単元等における振り返りの充実 【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】 ○単元の最初に単元の目標を設定している。 ○巻末に「Can-Do リスト」として、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>年の5領域別の学習到達目標を Stage 1～Stage 3まで示し、4段階で評価するようにしている。</p> <p>【具体例（第3学年）p.16, 巻末】 ○Unit1 Sports for Everyone 「GOAL」及び「CHECH」 [題材]障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結び付けるスポーツの力について考える。 [活動]これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 ○中学3年の目標 (例)聞くこと Stage1 クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話で</p>	<p>達目標を設定し、達成していれば日付を記入するようにしている。</p> <p>【具体例（第3学年）p.9, 13, 14の右下】 ○PROGRAM1 Bentos Are Interesting! Goal 1 「人が…するのは～だ」などを表現する。 2 日本や海外の弁当文化について話す。 3 自分の大事なもののなどについて、意欲的に表現する。 ○英語で「できるようになった」リスト (例)聞くこと 1 アルファベットを聞いて、どの文字かわかる。</p>	<p>【具体例（第3学年）巻末】 What Can I Do? (例) Listen 聞くこと 必要な情報を聞き取る ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ることができる。 →Listen1,3</p>	<p>【具体例（第3学年）p.17, 巻末】 ○Lesson1 Aya Visits Canada Lesson1 をふり返ろう ・現在完了形の文を理 解して、使うことができ る。 ・ホームステイでのさ まざまな体験につい て、英語で理解した り、伝えたりすること ができる。 ・ホームステイでのさ まざまな体験につい て、会話を演じたり、 まとまった文を書い たりすることができる。</p>	<p>している。</p> <p>【具体例（第3学年）p.17, 174】 ○Unit1 School Life Around the World 「Goal」及び「振り返り」 ・学校紹介の記事か ら、日本の学校との違 いを読み取ることが できる。(R-1) ・読んだ記事につい て、意見を発表するこ とができる。(SP-3) ○CAN-DO List (例)聞く Listening L-1 はっきりと話され れば、日常的な話題に ついて、必要な情報を 聞き取ることができ</p>	<p>【具体例（第3学年）p.7 142】 ○Unit1 Food Cultures Unit1 の目標 ・Part1 これまでに 経験したことを言う ことができる。 ・Part2 これまでに 経験したことをたず ねることができる。 ・Part3 現在までに やり終えたことを言 うことができる。 ・Read & Think ハ ラール・フードについ ての文章を読んで、概 要を理解し、内容につ いて考えることがで きる。 ・Express Yourself</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>あっても、必要な情報や概要を理解することができる。</p> <p>→U 1, LL 2, LL 3, SA 1</p>			<p>○Can-Do 自己チェックリスト</p> <p>(例) 聞くこと①</p> <p>社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。</p>	る。	<p>好きな食べ物・苦手な食べ物を伝えることができる。</p> <p>○Can-Do リスト</p> <p>(例) 聞くこと ア</p> <p>はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報をききとることができる。</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Unit 0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面の活動をしよう ・英語の音と文字 <p>*Unit 1～小学校の既習事項には「小」のマークがついている (p.10「小学校の単語」)</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Get Ready1-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ようこそ！みらい中学校へ ・みらい中学校の仲間たち ・新しい仲間インタビューしよう ・自分のことを友だちに知ってもらおう 	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Hello, Everyone!</p> <p>○Starter1～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字と音 ・コミュニケーションを楽しもう (1) (2) <p>*Lesson1～3 小学校で体験した場面で話される会話を聞</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Springboard1・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Nice to meet you! ・さまざまな会話 ・音声から文字へ ・Sugoroku <p>*Lesson1・3 身近な生活に即したコミュニケーション活動を</p>	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Let's Be Friends!1-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で人とつながろう ・好きなものでつながろう ・世界のどこかへ行ってみよう ・数字を聞いて動物を 	<p>1 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列</p> <p>【小学校外国語との接続と図った箇所と内容】</p> <p>○Let's Start1-7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での会話を聞こう ・町での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・英語の文字が表す音を聞こう ・英語の文字が表す音

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>*p. 121 までは小学校 外国語教育教材と同じ フォントを使用してい る</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○Unit0 Welcome to Junior High School 「小学校で習った英 語表現を①～④の場 面で使ってみよう！」 ①はじめて出会うク ラスメイトとあいさ つをしよう ②先生の指示に合わ せて動こう</p>	<p>○PROGRAM 0 ・アルファベットを確 かめよう ・つづり字と発音 *1年生の前半は (p.52 まで), 小学校 外国語教育教材と同 じフォントを使用し ている</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○新しい仲間にイン タビューをしよう ①ミラー先生へのイ ンタビューを聞いて、 わかったことをメモ しましょう。 ②「なりきりインタビ ューゲーム」をして、 たくさん質問し合い ましょう。</p>	<p>く・話すから始まっ ている (p.17)</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○コミュニケーション を楽しもう (1) 聞いてみよう ①ケイトと丘先生が、 わかば中学校の行事 予定表を見ながら話 しています。いつ、ど んな行事があるのか 聞いてみよう。 ②ケイトがバースデー</p>	<p>重視している。 *Word List (p. 148～ p. 151) の中に, 小学 校で学習したとみな した語を意味別グル ープで示している。</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○小学校で学んだ表 現を使ってすごろく ゲームを楽しみまし ょう。 (例) When is your birthday? Talk about your treasure. What time do you get</p>	<p>探し出そう ・誕生日をたずね合お う ・アルファベットを聞 いて書こう ・英語の音とつづりを 確かめよう *Unit3 までを, 準備 期間として文字を読 む負担を減らしてい る。 *Word List (p. 158) の 中に, 小学校で学習し た語を花びらマーク で示している。</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○世界のどこかへ行 ってみよう Kazuki : Where do you want to go? Nick : I want to go to ... Speak 自分の言っ て行っ てみたい国に✓を入</p>	<p>に慣れよう ・数字を聞いて使っ てみよう ・英語を聞いて使っ てみよう *小学校英語でも採 用されている 5 : 6 : 5 の4線を使用</p> <p>【具体例（第1学年）】 ○英語を聞いて使っ てみよう (例) 小学校の思い出 の行事を言ってみま しょう My favorite memory is the <u>school trip</u>. It was great. あなたが参加したい 部活動や, してみたい</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>③好きなものをたずね合おう (例) A: What food do you like? B: I like curry and rice.</p> <p>④入りたい部活動について話そう</p>	<p>〈質問カード〉 Do you like~? Can you play~? Are you~? When is your birthday? What do you want to be? Where are you from? ③先生に英語でたくさん質問をして、わかったことをメモしましょう。 ④友だちにたくさん質問をしましょう。例を参考に、聞きとったことを下の表に記入しましょう。</p>	<p>一パーティーの写真を見せながら丘先生と話しています。それぞれの誕生日について聞いてみよう。 話してみよう ペアやグループで、学校行事や、あなたの誕生日について話してみよう。</p>	<p>up? Where do you want to go? What sports do you like? What can you do?</p>	<p>れましょう。グループになってたずね合い、いちばん人気のあった国名を書きましょう。 Write 自分の行ってみたい国を下に書きましょう。</p>	<p>ことを言ってみましょう。 I like <u>tennis</u>. I want to <u>join the tennis team</u>.</p>
<p>内容の表現・表記 (例：第2学年)</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「資料編」として、次の資料を掲載している。(pp.128~159: 32 ページ分) 1 Optional Reading①・②</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.126~159: 34 ページ) 1 Scenes のまとめ 2 クイック Q&A</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(付録1~50: 50 ページ分) 1 Songs 英語の歌 2 Further</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。(pp.130~167: 44 ページ分) 1 語形変化のまとめ</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(p.3 参照: 9 ページ分) 1 Your Coach ・リスニングを得意に</p>	<p>1 巻末等資料の工夫 【巻末資料等の内容】 ○「付録」として、次の資料を掲載している。(p.3 参照: 4 ページ分) 1 こんなときどう言うの?</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	2 名作鑑賞 3 小学校の単語 4 Word List 5 形容詞・副詞比較 変化表 6 不規則動詞変化 表 7 2年 Key Sentence・Today's Point 一覧 8 1・2年 表現の まとめ ○「巻末資料」として、 次の資料を掲載して いる。 ・Word Room	3 英語の音声 4 英語のつづり字 と発音 5 短縮形のまとめ 6 数の言い方 7 アイディアの広 げ方 8 不規則動詞活用 表 9 形容詞・副詞比較 変化表 10 台所 11 単語や熟語 12 英語で「できる ようになったこと」リ スト 13 Try のまとめ 14 いろいろな職 業 15 日本の祝日・学 校行事 ○「付録」として、次 の資料を掲載してい る。 ・アクションカード1 ～4	Listening English Rakugo 3 Further Reading1 Houses and Lives 4 Further Reading2 Courage 5 Sounds つづり と発音 6 基本文のまとめ 7 いろいろな単語 8 不規則動詞活用 表 9 形容詞・副詞比較 変化表 10 数の表現と数 の読み方 11 単語の意味 12 会話表現 13 Role-Play Sheet ロールプレイ シート 14 Audio Scripts スクリプト	2 形容詞・副詞比較 変化表 3 不規則動詞変化 表 4 重要構文復習リ スト 5 辞書についてい っしょに学ぼう！ 6 Word List 7 筆記体 ○「巻末付録」として、 次の資料を掲載して いる。 1 Tips④活動用カ ード 2 つづりと発音 3 Can-Do 自己チェ ックリスト	しよう ・話す内容を詳しくし よう ・英文を読むコツをつ かもう ・得意な話題を増やそ う 2 Sing a Song ・You'll Never Walk Alone ・I Just Called to Say I Love You ・A Whole New World ○「巻末付録」として、 次の資料を掲載して いる。 1 Let's Read More ・The Statue of Liberty ・Aboriginal Art 2 英語のしくみ 3 数字の読み方/ 短縮形のまとめ 4 音声のまとめ 5 不規則動詞活用 表/形容詞・副詞の変	2 メール 3 ジェスチャー 4 英語の歌 ・Top of the World ・I Just Called to Say I Love You 5 2年基本文のま じめ 6 英語のつづりと 発音 7 不規則動詞変化 表 8 形容詞・副詞比較 変化表 9 数の読み方 10 Word Box 11 Word List 12 Can-Do リスト 13 ローマ字表 [へ ボン式]

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○小学校の外国語科でふれた主な語を一覧にしている。</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で出てきた語と意味を一覧にしている。 ・特に覚たい語を太字で表記している。 ・その意味が初めて出たページと数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。 ・その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○単語と熟語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この教科書で初出の単語及び連語を太字で表記している。 ・この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。 ・特に重要な語を*印で表記している。 ・その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを太字の数字、初めて出た学年を四角囲みの数字で表記している。 ・辞書で熟語などを調べるとき、まず調べる 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・()の中は省略できることば, []の中は置き換えられることば, ()の中の言葉は解説が表記されている。 ・数字は2年で初めて出るページを表記している。(イタリック体の数字は1年までに学習したことを表す。) ・①は1年で学習した語を表記している。 ・大切な語をゴシック体で表記している。 ・特に大切な語をゴシック体の太字で表記 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てきた語と小学校で既出とみなした語の発音と意味を表記している。 ・活動や Further Reading で出てきた語で、未習のものは後掲している。 ・特に覚たい単語を太字で表記している。 ・その意味が最初に出たページを数字で表記している。 ・小学校で既習とみなした語と中学校1年で既出の語は数字をイタリック体で表記している。 	<p>化表</p> <p>6 Word List</p> <p>7 基本文のまとめ</p> <p>8 CAN-DO List</p> <p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った語を花びらの記号で表記している。 ・数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを表記している。 ・①は1学年で既出の意味を表記している。 ・特に重要な語は太字で表記している。 	<p>【語彙リストにおける表記の仕方と具体例】</p> <p>○Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に覚えておきたい語を太字で表記している。 ・2年の教科書で初出の単語や連語を数字で表記している。そのうち、Let's Listen, Project で出たページをイタリック体の数字で表記している。 ・その後や連語が Let's Listen, Project で先に出たときは、となりに後掲ページを示している。 ・①は1年でその語や連語が出たことを表記している。2年でも

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>・「小学校の単語」に・ (赤点) を付けてい る。</p> <p>(例) as [æZ/ðZ] 接 前 接 ①【時】…のとき、 …するにつれて ②【比較】～と同じく らい… [ふつう as...as ～の形で用いられる。 前の as は副詞] 前 ①…として ②…のような as for…について言え ば twice as...as～ ～よ り2倍</p>	<p>とよい単語を本の記 号で表記している。</p> <p>(例) *as [æZ/ðZ] 副 (as ～as...の形 で) …と同じくらい～ 前 ～として not as ～as... …ほ ど～ない</p>	<p>している。 ・覚えておくと便利な 語を印字体で表記し ている。</p> <p>(例) as [æZ] 前 1. …として、… の時に、 —my goal as a farmer. 2. [such as ...] …の ような、 —visitors such as families, students, and tourists. 接 1. [比較] [as...as A] A と同じ くらいに… (前の as は「それと同じだけ …」の意味で副詞, あ との as が「(A が) … である[する]ように」 の意味で接続詞)。 —My cat is as cute</p>	<p>・小学校で既出とみな しているが, 中学校2 年の教科書では未出 のものは白抜きで① で表記している。 ・①は中学校1年で既 出の語を表記してい る。</p> <p>(例) as [ðZ] 接 ①→such ②(～ する) ように as you know ご存じのように ③ [as ～as...で] …と 同じくらい～ as well as～ ～と同様に 前 ～として</p>	<p>(例) as [æZ/ðZ] 前 ～として 副 同じくらいに as ～as... …と同 じほど～ 接 ～するように</p>	<p>新出語句として取り 上げている語や語句 については, ①のとな りにページを表記し ている。</p> <p>(例) as 前 ～として 接 [as ～as...で] …と 同じくらい～</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「学習を振り返ろう CAN-DO リスト」</p> <p>○Stage 1～Stage 3 として、段階ごとに各領域の1学年学習到達目標を設定し、それぞれを4段階で自己評価できるよう示し</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末資料「英語で『できるようになったこと』リスト」</p> <p>○領域毎に3年間を通してがの学習到達目標を設定し、できるようになったことには日付の下に○を付けるようにしている。</p>	<p>as yours.</p> <p>2. [時間] (…する) 時に; …しながら</p> <p>—The Little Prince said, “That’s sad.” as he left.</p> <p>副 [as...as A] A と同じくらいに…</p> <p>—My cat is as cute as yours.</p> <p>such as...たとえば…のような</p> <p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「What Can I Do?」</p> <p>○領域毎に2～4項目の1学年学習到達目標を設定し、できるようになったことにチェックするようにしている。</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末「Can-Do 自己チェックリスト」</p> <p>○領域毎に1～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。</p> <p>○2学年, 3学年の各領域の学習到達目標</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末付録「CAN-DO List」</p> <p>○領域毎に2～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるように示している。</p>	<p>2 学習到達目標の設定</p> <p>【学習到達目標の設定場所】</p> <p>○巻末付録「CAN-DO リスト」</p> <p>○領域毎に3項目 (ア・イ・ウ) の学習到達目標が「中学校3年生までに行えるようになること」として設定し、できるようになった項目にチェッ</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>ている。</p> <p>○2学年末, 3学年末の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○関心のある事柄や体験したことなどについて, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○社会的な話題(外国の文化, 国際協力, 社会問題など)について, 聞いたり読んだりした内容に関して感じたことや考えたこと, その理由などを書くことができる。</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○正確に書く 自分を紹介する短い文章を書くことができる。</p> <p>○まとまりのある文章を書く 学校行事や町について, 短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。</p>	<p>を参照できるようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○自分のことについて, 日記, 手紙, スピーチ原稿などの短い文でまとめることができる。</p> <p>○聞いたり読んだりして把握した内容を, 短い文章でまとめることができる。</p>	<p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>○読まれた文字や語句を活字体で書いたり, 簡単な語句や表現を書き写したりすることができる。</p> <p>○自分のことや興味のあることについて, 教科書や辞書などを参考にして, 書くことができる。</p> <p>○日常的话题について, 事実や気持ちを整理して, 簡単な語句や文を使って, まとまりのある文章を書くことができる。</p>	<p>クするようにしている。</p> <p>【具体例(第1学年末「書くこと」)】</p> <p>ア 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</p> <p>イ 日常的话题について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて, 考えたことや感じたこと, その理由などを, 簡単な語句や文を用いて書くことができる。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
言語活動の 充実	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit2 : Food Travels around the World</p> <p>・Practice 自分が難しいと思う教科について、「…は難しいと思います」という文を言い、ノートに書く。</p> <p>・Unit Activity</p> <p>STEP1 自分の好きな食べ物やお気に入りのレストランについて、表にまとめる。</p> <p>STEP2 ペアになり、STEP1 で作った表をもとに自分のお気に入りのレストランを紹介し合う。ま</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○PROGRAM2 : Leave Only Footprints</p> <p>・Try 自分たちの学校についてどう思うかを話す</p> <p>・Interact</p> <p>以下の二つのテーマについて、グループなどで自分の考えを伝え合う。</p> <p>①Our School Trip 修学旅行の自由行動では、どこに行ってみたいか。</p> <p>②A Good Pet ペットにするならどんな動物がよいと思うか。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Lesson1 : Fun with Books</p> <p>・Speak & Write</p> <p>おすすめの本や漫画、映画などを紹介し、紹介したことを書く。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Lesson1 : Service Dogs</p> <p>・Think & Try!</p> <p>会話を演じた上で、その英文をヒントに、質問したり、自分の考えを言ったりするなど、自由にやり取りを加える。</p> <p>Bob : There aren't enough guide dogs.</p> <p>Aya : Why not?</p> <p>Bob : These dogs live with puppy walkers for about a year.</p> <p>Then, they need training for another year.</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit2 : Basketball Tournament</p> <p>・Speak. Write</p> <p>一番良い季節、難しい教科について、自分の考えをペアで伝え合い、そのうちの1つを選んで英語で書く。</p>	<p>1 対話的な学びを促す言語活動の工夫</p> <p>【自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容】</p> <p>(例) 第2学年「複文 (I think that～等)」を扱った単元</p> <p>○Unit3 : In Case of Emergency</p> <p>・Use</p> <p>質問 (Do you think that fast food is good?) に対して、自分がどう思うかを理由も加えて言い、言ったことを英語で書く。</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>た、相手の紹介を聞いて、重要だと思う情報はメモを取る。</p> <p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Unit Activity ○Stage Activity 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Stage Activity1 : My Activity Report (pp.48~50)</p> <p>(テーマ) これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。 ・STEP1: 二人の活動報告を聞いてメモを取る。 ・STEP2: 自分の活動について報告したいことを表にまとめ、即</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Our Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Our Project8 : あなたの町を世界にPRしよう (pp.85~89)</p> <p>(テーマ) 世界にPRしたい町にあるものや場所を発表する。 ①モデルPR動画を聞いたり、台本を読んだりする。 ②PRするものを表にまとめ、台本を考える。</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project1 : 日本限定アイスクリームを提案しよう (pp.32~33)</p> <p>(テーマ) 日本限定アイスクリームのアイデアを考え、提案する。 1. Listen : 二つのグループのモデル提案を聞く。 2. Think & Talk : 新しいアイスクリーム</p>	<p>Aya : I see. It takes time and effort.</p> <p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project1 : CMをつくって発表しよう！ (pp.40~41)</p> <p>(テーマ) あったら良いと思う商品やサービスについてCMを作り、発表する。 ①CMを聞いて、商品やサービスの特徴などについてメモを取る。 ②あったら良いと思</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○各単元の Goal (pp.16~17) ○You Can Do It! 【テーマと具体例（第3学年）】 ○You Can Do It!2 : 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう (pp.48~49)</p> <p>(テーマ) 学校に必要なものについて考え、ディスカッションする。 ・Reading : 二人の中学生の提案を読み、賛成か反対かを考える。 ・Thinking : 二つの提</p>	<p>2 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫 【設定場所】 ○Project 【テーマと具体例（第3学年）】 ○Project2 : 日本の伝統行事を紹介しよう (pp.90~91)</p> <p>(テーマ) 紹介したい日本の伝統行事について、紹介文を書く。 ①日本文化を紹介するウェブサイトの記事を読んで、内容を表にまとめる。 ②日本の伝統行事を</p>

発行者 観点	2 東書	9 開隆堂	16 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	<p>興で発表する。</p> <p>・STEP3: 自分が話した文を書き起こした上で、グループでアドバイスを伝え合い、それを参考に活動報告の原稿を書き直す。</p> <p>・STEP4: もう一度活動報告を発表し合う。</p>	<p>③台本を基にPRを演じる練習をする。</p> <p>Go!</p> <p>他のグループとPRを聞き合ったり、質問し合ったりする。PRを聞き終わったら、一番良いPRをしたペアをディスカッションして決める。</p>	<p>のアイデアを話し合い、表にまとめる。</p> <p>3. Read: モデルとなる提案原稿を読む。</p> <p>4. Write: 提案するための発表原稿を書く。</p> <p>5. Speak: 日本限定アイスクリームについて発表する。</p>	<p>う商品やサービスについて話し合い、表にまとめ、CMの原稿を英語で書く。CMを発表する。</p>	<p>案のどちらかを議題として選び、立場とその理由を整理する。</p> <p>・Speaking: 賛成派と反対派に分かれ、ディスカッションを行う。</p>	<p>1つ選び、ウェブサイトに載せる紹介文を書く。書いた原稿を交換して読み合い、アドバイスをする。</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	特別の教科 道徳	7	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
基礎・基本の 定着	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折り込み3ページに、学習の流れを示している。また、巻頭折り込み1ページで「話合いの手引き」を示している。「1年間で学ぶこと」とし、見開き2ページで4つの視点ごとに1年間</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学びを深めるために」とし、見開き2ページに授業でどのように学んでいくのかを4つの視点で示している。また、見開き2ページで「この教科書で学んでいくテーマ」とし、道徳科で考えていきたいテーマを7つ、教材名</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳の授業を始めよう!」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目とともに「何を学ぶのか」、続く見開き2ページに、「どのように学ぶのか」を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」とし、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは、「新しい扉を開く」とし、見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、考えを深めるステップを4つで示している。また、見開き2ページに4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは「自分を見つめよう」とし、見開き2ページに道徳の時間について5つの視点で示している。また、巻末の見開き2ページ、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>1 道徳科の学び方等の示し方</p> <p>・オリエンテーションのタイトルは「道徳科って何を学ぶの?」とし、見開き2ページに4つの視点ごとに内容項目を、多様な考えを知るための6つの方法を示している。また、1ページに、教科書の使い方を5点示している。</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<p>で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えてみよう！」「自分を見つめよう」のコーナーにマークと共に記載し、発問を2～3示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは、なぜだろう」「社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、なぜだろう」の2つを示している。 	<p>とともに示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、冒頭の教材名の下に1つ、また、教材文の終わりに「学びの道しるべ」として、3つ示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。」「姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。」「きまりや 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、マークと共に「見方を変えて」で各1～2程度示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんは、規則を知っていながら、どうして姉弟を動物園の中に入れてのだろう」「元さんが『この年になって初めて考えさせられ』たのは、どんなことだっ 	<p>の3つで示している。</p> <p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えてみよう」「自分に+1」で1つずつ示している。 3年生「二通の手紙」では、「元さんが、二通の手紙を並べて見比べながら、初めて考えさせられたこととはなんだらう。」「法やきまりについて、どのように考えればよいかまとめよう。」 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考えよう」のコーナーに、マークと共に1～2程度示している。 3年生「二通の手紙」では、「二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう」「この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか」という2つを示している。 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「学習の手がかり」というめあてとともに2～3、「考えを広げる・深める」として1～2示している。 3年生「元さんと二通の手紙」では、「元さんはどう思って、姉弟を入園させたのか」「二通の手紙を見比べて元さんが考えたこととはなんだろう。」「元さんはどうして晴れ晴 	<p>2 発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問は、教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」と表示し、1～3示している。 2年生「二通の手紙」では、「二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。」「この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったでしょう。」「元さんが晴れ晴れとした顔で身の回

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	る。	法は、なんのためにあるのだろう。」の3つを示している。	たのだろう」「もし、入園終了時間直後の姉弟がやってきた場面に戻れたとしたら、元さんは、どうするのだろう。」という3つを示している。	「姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。」「②で考えたことをグループで話し合おう。また、この動物園のきまりは何のためにつくられたのかもあわせて考えてみよう。」の4つを示している。		れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。」「規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう」という4つを示している。	りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。」という3つを示している。
主体的に学習に取り組む工夫	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・2つの教材を配置し、教材冒頭にテーマを示している。 【2年 P129～134】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。 【2年 P22】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「てびき」を設けている。 【2年 P13】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・目次、該当ページ、巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに「学習の進め方」のページを設けている。 【2年 P168～173】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。 【2年 P14, 15】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。 【2年 P12】	1 問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」のコーナーを設けている。 【2年 P15】

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 廣あかつき	2 3 3 日科
	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を、掲載すると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している <p>【3年 P100・P101】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。 <p>【3年 P99】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。 <p>【3年 P25】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している。 <p>【3年 P18・P19】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。 <p>【3年 P61】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材を掲載している。 <p>【3年 P69】</p>	<p>2 体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を促す教材を掲載している。 <p>【3年 P56・P57】</p>
内容の構成・配列・分量	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 196～204 ページある。教材数は、C が 43 教材、その他は、A21, B22, D25 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 202～218 ページある。教材数は、C が 43 教材、その他は、A21, B20, D21 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 197～205 ページある。教材数は、C が 41 教材、その他は、A29, B27, D27 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 198 ページと別冊 42 ページ、合計 240 ページある。教材数は、C が 46 教材、その他は、A18, B20, D21 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 186～198 ページある。教材数は、C が 37 教材、その他は、A24, B22, D22 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、AB版 166～186 ページと別冊 52 ページ、合計 218～238 ページ。教材数は、C が 36 教材、その他は、A24, B21, D24 と配分されている。 	<p>1 分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量は、B5版 194 ページある。教材数は、C が 47 教材、その他は、A20, B23, D21 と配分されている。

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、3つの教材で構成されたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を4～5月に設け、目次に桃色の枠囲みで示している。 <p>【1年 P22～32】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的に扱った教材といじめ許さない心の育成を間接的に支えるための教材を、コラムページを組み合わせているユニットを設け、体系的に配置している。 <p>【1年 P40～55】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、複数の教材からなるユニット「いじめを許さない心について考える」を学年の前半に設け、目次に緑色の下線で示している。 <p>【1年 P30～41】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ問題を直接的・間接的に扱った教材をコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。また、いじめを扱うユニット『いじめ』と向き合うは、目次に橙色の下線で示している。 <p>【1年 P28～49】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめ防止につながる教材を選定するとともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」を設けている。 <p>【1年 P115, P153】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭において、「いじめをなくすために」をテーマとした教材を示している。 <p>【1年 P24～27】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを直接的に扱った教材とともに、教材の学びを深める特集「thinking」を設けている。 <p>【1年 P41】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。 <p>【1年 P174～175】</p>	<p>2 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題等を踏まえ、いじめを正面から取り上げている教材と生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。 <p>【1年 P47～54, P104～107, P162～165】</p>
内容の 表現・表記	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「話し合いの手引き」「道徳の 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科で学びを深めるため 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「本書で学ぶ皆さんへ」を1 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年「この教科書で学ぶテーマ」 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年の目次の前に「道徳で学ぶこ 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「一道德の時間とはー」を見 	<p>1 巻頭等、巻末等の取扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、各学年、「道徳科って何を学ぶの？」

発行者 観点	2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 廣あかつき	2 3 3 日科
	<p>授業はこんな時間に」と折り込みページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「テーマで振り返ろう」とし、6つのテーマで教材を分類して示している。また、切り取り式のホワイトボード用紙、心情円を設けている。 	<p>に」を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を6ページと「これからを生きるみなさんへ」を1ページ示している。 	<p>ページ示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、見開き2ページに各学年テーマ別教材一覧を示している。また、各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで示している。 	<p>を見開き2ページで示し、『『いじめ』と向き合う』のテーマには囲みがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、内容項目別教材一覧を示し、テーマや教科等との関連等を示している。 	<p>と・考えること」を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年「心の四季」を1ページで示し、各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 	<p>開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 	<p>を見開き2ページで示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、全ての教材名を示している。
	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクション」「プラス」のマークやDマーク、教科関連マーク、心情円等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの道しるべ」、「問い」「やってみよう」等のマークを示している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」「深めたいむ」等のマークを設定し、問いを「・」で示している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」、「自分に+1」「プラットホーム」、「参考」、「わたしの生き方」等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」、「クローズアップ」、「クローズプラス」「深めよう」等のマークを設けている。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える・話し合う」、「学習の手がかり」、「考えを広げる・深める」「thinking」等のマークを設定している。 	<p>2 教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」等のマークを設定している。

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
言語活動の 充実	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳の授業はこんな時間」の中に、「話し合いの手引き」を示すと共に、ショートストーリーを例に話し合いの具体的な流れを示している。 <p>【1年P3～6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の中に、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P86～87】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科で学びを深めるために」の中に、話し合いの方法を示している。 <p>【1年P4, 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P13】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳の授業を始めよう！」の中に対話のポイントを示している。 <p>【1年P8, 9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深めたいむ」のページに、話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P34～35】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科での学び方」の中に、学習の流れを示している。 <p>【1年P3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「学習の進め方」のページに、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P26～27】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「新しい扉を開く」に、話し合う学習活動を提示し、「考えを深める4つのステップ」を示している。 <p>【1年P2, 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「深めよう」のページに「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P15】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「自分を見つめようー道徳の時間とはー」の中に、話し合いのポイントを示している。 <p>【1年P2, 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P5】</p>	<p>1 考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 <p>【1年P4, 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 <p>【1年P25】</p>
	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>	<p>2 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</p>

発行者 観点	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 廣あかつき	233 日科
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卷末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来期の取り組み方等を記録する、振り返りのページ「自分の学びを振り返ろう」を設けている。 【3年 P193～197】 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卷末に、毎時間の学習を通してためになったこと、勉強になったこと等の感想を記入する欄を設けている。 【3年 P190～191】 【教材ごと】 ・ 卷末に、心に残った教材や自分が成長したと思うこと等を記入する、振り返りのページを設けている。 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卷末折り込みに、毎時間の学習を通して考えたことや感じたこと等を振り返り記録する折込を設けている。また、卷末に自分の将来を想像し、人生目標を年表に書く欄「人生目標年表を書こう」を設けている。 【3年 P186～187】 【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。 【教材ごと】 ・ 別冊「道徳ノート」の卷末に、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者の記入欄付きの振り返りのページを設けている。 【3回】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での取組や心に残った授業等を記録する、振り返りのページを設けている。 【3年 P189～195】 【4回分】 ・ 卷末に、未来への自分に手紙を書く欄「未来への扉」を設けている。 【3年 P187】 【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の卷末に、心に残っている授業の記録を書く欄を設けている。 【3年 P44】 【3回分】 ・ 別冊「中学生の道徳ノート」の卷末に学習の記録を書く欄を設けている。 【3年 P26～43】 【36回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卷末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。まとめとして「3年生の心の成長を振り返りましょう」を内容項目ごとに設けている。 【3年 P190】 ・ 卷末に、3年間の道徳の授業について振り返るページ「私の道徳記録」を設けている。 【3年 P191】 【1回分】